

大阪府地域医療構想策定に向けた  
医療情報調査分析及び策定支援委託業務

「支援ツール及び NDB データ等  
による大阪府の医療需要の検討」  
最終報告書

大阪がん循環器病予防センター  
平成 28 年 3 月 31 日

## はじめに

我が国における医療提供体制の整備を推進のため、終戦後に医療法が制定されてから、これまでに6度にわたる改正が行われてきた。医療提供体制の整備状況を反映して、医療法とそれに基づく医療計画の改正が繰り返されていく中で、今日においては十分な数の医療機関が設置され、医療機関の機能分化も進められてきた。しかしながら、地域・診療科による医療資源の偏りが大きいことや2025年には団塊の世代が75歳以上に到達するなど我が国における少子高齢化の進展により求められる医療需要・医療提供体制の変化が予想されることなどが課題とされていた。

これらの背景を受け、社会保障制度改革国民会議において、客観的データに基づいて、医療機能ごとの医療の必要量を示す地域医療構想を都道府県で策定することが求められた。これを受け、平成26年6月18日に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（以下、医療介護総合確保推進法）に基づき、医療法の改正により「地域医療構想」を平成27年度以降に都道府県が策定することとなった。

医療介護総合確保推進法による医療法の改正に基づき、地域における医療機能別の医療需要を踏まえ、医療機能のさらなる分化・連携を推進することを目的として、地域医療構想を大阪府では本年度（平成27年度）に策定することとなった。大阪府では高度な医療を提供する大学病院や国立循環器病研究センターなどの特定機能病院の充実をはじめ、医療提供体制が充実していること、加えて、交通網が発達しており、大阪府内および隣接府県からの医療需要の流入が予想されることから、大阪府の医療需要および医療提供体制について詳細な分析・検討が必要と考えられた。すなわち、大阪府の地域医療構想策定に当たり、厚生労働省が提供する医療需要および必要病床数に係るデータおよび追加資料等による大阪府の医療需要・医療提供体制などの詳細な分析・検討が必要であり、本委託業務として、これらの分析・検討について大阪がん循環器病予防センターが受託することとなった。

目次

第1章 支援ツールに基づく大阪府の医療需要および必要病床数の状況 (第1回地域医療構想策定WGでの検討事項)	・・・ 1
Ⅰ. 地域医療構想の策定プロセス	・・・ 2
Ⅱ. 地域医療構想の策定及び実現に必要な情報(データ)	・・・ 3
Ⅲ. 地域医療構想策定支援ツールについて	・・・ 5
1. 地域医療構想策定支援ツールの内容	・・・ 5
2. 医療需要・必要病床数の推計方法	・・・ 6
3. 医療需要の推計方法	・・・ 8
4. 2025年医療需要および必要病床数の推計のまとめ	・・・ 9
Ⅳ. 地域医療構想策定支援ツールの課題と対応	・・・ 15
1. 地域医療構想策定支援ツールの問題点	・・・ 15
2. 今後のデータ分析として考えられる方法(案)	・・・ 16
第2章 追加データ分析による支援ツール結果の検証および補足 (第2回地域医療構想策定WGでの検討事項)	・・・ 17
Ⅰ. データ分析の方法	・・・ 18
1. データ分析における検討課題	・・・ 19
2. NDBデータ利用における制約事項	・・・ 20
3. 医療需要の推計方法	・・・ 21
Ⅱ. データ分析の結果(第2回WGに向けた追加分析)	・・・ 22
1. 市町村別入院医療需要および入院患者の受療動向	・・・ 23
2. 疾病別等の医療需要	・・・ 27
3. 医療需要の年内変動	・・・ 29
4. 病床稼働率	・・・ 30
5. 必要病床数推計の救急医療への影響	・・・ 31
Ⅲ. 大阪府における平成37年(2025年)に見込まれる医療需要および 医療提供体制	・・・ 33
1. 平成37年(2025年)医療需要のまとめ	・・・ 34
(1) 医療需要の推計値	・・・ 34
(2) 医療需要の流出入	・・・ 36
(3) 傷病別等による検討(5疾病5事業などの状況)	・・・ 38
2. 二次医療圏における医療提供体制の状況および構想区域の設定	・・・ 40
(1) 二次医療圏における医療提供状況	・・・ 40
(2) 構想区域の設定	・・・ 40
3. 慢性期パターンの選択について	・・・ 41
4. 平成37年(2025年)医療需要、必要病床数について	・・・ 42
(1) 医療需要・必要病床数算定の方法	・・・ 42
(2) 医療需要・必要病床数の算定	・・・ 42
(3) 病床の整備・機能分化	・・・ 43
第3章 大阪府における医療需要予測のための基礎的分析	・・・ 45
Ⅰ. 特定健診・特定保健指導データによる大阪府民の健康評価	・・・ 46
1. 特定健診・特定保健指導データ分析	・・・ 46
2. 特定保健指導実施による前後での健康指標の変化の分析	・・・ 65
資料 地域医療構想策定に係る支援ツールおよび追加資料	・・・ 74

## 第1章

# 支援ツールに基づく大阪府の 医療需要および必要病床数の状況 (第1回地域医療構想策定WGでの検討事項)

# I. 地域医療構想の策定プロセス (地域医療構想策定ガイドラインより抜粋)

1. 地域医療構想の策定を行う体制の整備※
  - ※ 地域医療構想調整会議は、地域医療構想の策定段階から設置も検討
- ↓
2. 地域医療構想の策定及び実現に必要なデータの収集・分析・共有
- ↓
3. 構想区域の設定※
  - ※ 二次医療圏を原則としつつ、①人口規模、②患者の受療動向、③疾病構造の変化、④ 基幹病院までのアクセス時間等の要素を勘案して柔軟に設定
- ↓
4. 構想区域ごとに医療需要の推計※
  - ※ 4機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとの医療需要を推計
- ↓
5. 医療需要に対する医療供給（医療提供体制）の検討※
  - ※ 高度急性期… 他の構想区域の医療機関で、医療を提供することも検討（アクセスを確認）
  - 急性期… 一部を除き構想区域内で完結
  - 回復期 } … 基本的に構想区域内で完結
  - 慢性期 }

主な疾病ごとに検討
- ↓
6. 医療需要に対する医療供給を踏まえ必要病床数の推計
- ↓
7. 構想区域の確認
  - 必要病床数と平成 26 年度の病床機能報告制度による集計数の比較
- ↓
8. 平成 37（2025）年のあるべき医療提供体制を実現するための施策を検討

支援ツールの範囲

## II. 地域医療構想の策定及び実現に必要な情報（データ） （地域医療構想策定ガイドラインより抜粋）

### 1. 推計の前提となる現状の入院受療に関する基礎データ（支援ツール）

平成 37 年（2025 年）における病床の機能区分（高度急性期機能、急性期機能、回復期機能及び慢性期機能）ごとの医療需要（推計入院患者数）を推計するために、構想区域ごとの基礎データを厚生労働省が示す。基本となるデータは、平成 25（2013）年度の NDB のレセプトデータ及び DPC データに基づく構想区域ごとの性年齢階級別入院受療率である。病床の機能区分ごとの入院受療率を求めるために、高度急性期、急性期及び回復期については、患者に対して行われた診療行為を診療報酬の出来高点数で換算した値（「医療資源投入量」という。）を主に用い、また慢性期については、療養病床の入院受療率を主に用いる。

### 2. 平成 37 年（2025 年）における二次医療圏別の人口推計

※出典：国立社会保障・人口問題研究所による

『日本の地域別将来推計人口（平成 25 年（2013 年）3 月中位推計）』  
構想区域の設定や、病床の機能区分ごとの医療需要の推計の基礎となる。  
また、平成 52 年（2040 年）の人口推計も掲載する。

### 3. 病床機能報告制度に基づく医療提供体制の状況

医療機関が選択した現在及び将来にわたって担うとしている病床の機能区分ごとの病床数、構造設備や人員配置、具体的な医療の内容について、病床機能報告制度により報告された内容をもとに地域別、医療機関別に示す。

### 4. 病床の機能区分ごとの医療需要に対する医療供給（医療提供体制）の状況（支援ツール）

病床の機能区分（高度急性期機能、急性期機能、回復期機能及び慢性期機能）ごとに、平成 37 年（2025 年）における医療需要に関して、患者住所地別の需要及び現在の医療提供体制が変わらないと仮定した推定供給数を示すこととする。

なお、同一都道府県内においては、現在の二次医療圏別の上記の状況の把握が可能なマトリックス表を提供するとともに、都道府県別にも同様のマトリックス表を提供することが必要となる。

### 5. 疾病別の医療需要に対する医療供給（医療提供体制）の状況（支援ツール）

医療計画においては、がん、脳卒中、急性心筋梗塞に関して、地域連携パスの作成等による医療提供体制の構築を促しているところであるが、これを更に推進するためには、各医療機関が自主的に取り組む際に参考となる主な疾病に関する情報が必要となる。

## 6. 疾病別のアクセスマップと人口カバー率

がん、脳卒中、急性心筋梗塞の3疾病について、治療を行っている医療機関までの移動時間を解析したアクセスマップを示す。これにより、入院医療へのアクセスのしやすさを検討することが可能となる。

## 7. 介護保険関係の整備状況

医療提供体制は、単に入院医療の機能の分化や連携だけではなく、地域包括ケアシステムとの一体的な整備によって、住民にとって安心なものとなるだけではなく、関係者にとっても効率的な医療の提供が可能なものとなる。

このため、介護保険施設の整備状況等についてのデータを介護担当部局と連携して把握しておく必要がある。また、小児や障害者など介護保険の対象でない患者に関しても、福祉担当部局と連携して同様に整備することを目指す必要がある。

### Ⅲ. 地域医療構想策定支援ツールについて

#### (厚生労働省提供ツールの内容・推計方法およびその結果)

##### 1. 地域医療構想策定支援ツールの内容

###### ①必要病床数等推計ツール

NDB データ、DPC データ等により算出した二次医療圏ごとの医療需要に基づき、将来の医療需要、必要病床数、患者受療動向を推計する支援ツール

###### ②構想区域設定検討支援ツール

NDB データ、DPC データ等により推計した二次医療圏ごとの医療需要を将来推計人口により市町村単位に按分し、構想区域の設定のための参考値を提供する支援ツール

表 1. 医療需要算出での利用データ

利用データ		病名
医療需要	①NDB (National Database) のレセプトデータ	有
	上記のうち慢性期、回復期リハビリテーション病棟入院料	無
	②DPC データ	有
	③公費負担医療分医療需要 (医療費の動向)	※
	④医療扶助受給者数 (被保護者調査)	※
	⑤訪問診療受療者数 (生活保護患者訪問診療レセプト数)	無
	⑥分娩数 (人口動態調査)	有
	⑦介護老人保健施設の施設サービス受給者数 (介護給付費実態調査)	無
	⑧労働災害入院患者数 (労働災害入院レセプト数)	無
⑨自賠責保険入院患者数 (自賠責保険請求データ)	無	
人口	住民基本台帳年齢階級別人口	—
将来推計人口	国立社会保障・人口問題研究所 性・年齢階級別将来推計人口	—

##### データの特徴

①：国へ報告されるすべての医療機関のレセプトデータ (患者住所地情報なし)

②：DPC 対象病院の患者臨床情報および診療行為に関するデータ  
(患者住所地情報あり)

※①、②はデータ公表の制約上、個人が特定されうる少数集計値を公表できない

③～⑤：公費医療データ

⑥：分娩のデータ

⑦：介護老人保健施設サービス受給者データ

⑧：労災保険医療データ

⑨：自賠責保険医療データ



## 2. 医療需要・必要病床数の推計方法 [厚生労働省が示した推計方法]

地域医療構想策定における必要病床数等の算定式は表2に、医療機能の定義および算定基準は表3に示した通りである。

表2. 必要病床数等の算定式 [厚生労働省が示した推計方法]

ア) 必要病床数の算定式	$\text{必要病床数} = \frac{\sum ([2013 \text{ 年入院受療率}] \times [2025 \text{ 年推計人口}]^{\text{注}} + [\text{流入}] - [\text{流出}])}{\text{病床稼働率}}$ 注：性・年齢階級別に機能別入院受療率と推計人口を掛け合わせたものの合計
病床稼働率	高度急性期：75% 急性期：78% 回復期：90% 慢性期：92%
イ) 2013年入院受療率（人/日）	$2013 \text{ 年入院受療率} = \frac{[\text{①} \sim \text{⑨} \text{ の総和}]}{365} \div [2013 \text{ 年人口}]$
ウ) 慢性期病床の補正率	<p>右図における a、b、X、Y の関係から、各条件は次の通りである。</p> <p>補正率：a = <math>\frac{\text{最小値} + bY}{X}</math></p> <p>パターン A：b = 0</p> <p>パターン B：b = <math>\frac{\text{中央値} - \text{最小値}}{\text{最大値} - \text{最小値}}</math></p> <p>特例：b = <math>\frac{\text{中央値} - \text{最小値}}{\text{最大値} - \text{最小値}} + \frac{1}{3} \left[ 1 - \frac{\text{中央値} - \text{最小値}}{\text{最大値} - \text{最小値}} \right]</math></p> <p>特例要件：①パターン B により入院受療率の目標を定めた場合における当該構想区域の慢性期病床の減少率が全国中央値よりも大きい                  ②当該構想区域の高齢者単身世帯割合が全国平均よりも大きい</p>
療養病床の都道府県別入院受療率※	最大値：391（高知県） 中央値：114（滋賀県） 最小値：81（山形県） ※医療区分1の患者の70%に相当する者および回復期リハビリテーション病棟入院料を算定するものを除き、性・年齢構成の影響を補正した都道府県別の入院受療率（2013年、人口10万人当たりの入院患者数、患者住所地ベース）

図. 入院受療率と補正率の関係

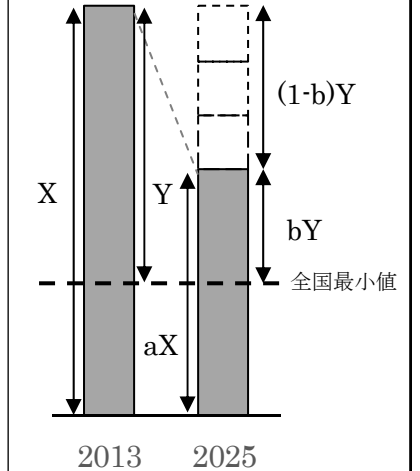


表 3. 地域医療構想における医療機能の定義および算定基準 [厚生労働省が示した基準]

医療機能	病床機能報告	支援ツール等における算定基準
高度急性期	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能	医療資源投入量 <sup>1</sup> ：3000点以上
急性期	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能	医療資源投入量 <sup>1</sup> ：600～2999点
回復期	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）	①医療資源投入量 <sup>1</sup> +リハビリテーション料：225（175）～599点 <sup>2</sup> ②回復期リハビリテーション入院料を算定している患者
慢性期	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能。長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む。）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能	①一般病床の障害者数・難病患者数 <sup>3,4,5</sup> ②療養病床入院患者 <sup>4</sup> ③療養病床で医療区分1の患者の30%相当および医療区分2、3の患者 <sup>5</sup> ④療養病床入院受療率の地域差解消分（減算） <sup>5</sup>
在宅医療等		①一般病床で医療資源投入量225（175）点未満の患者数 <sup>4,5</sup> ②在宅医療を受けている患者数 <sup>4,5</sup> ③療養病床で医療区分1の患者の70%相当 <sup>5</sup> ④療養病床入院受療率の地域差解消分（加算） <sup>5</sup>

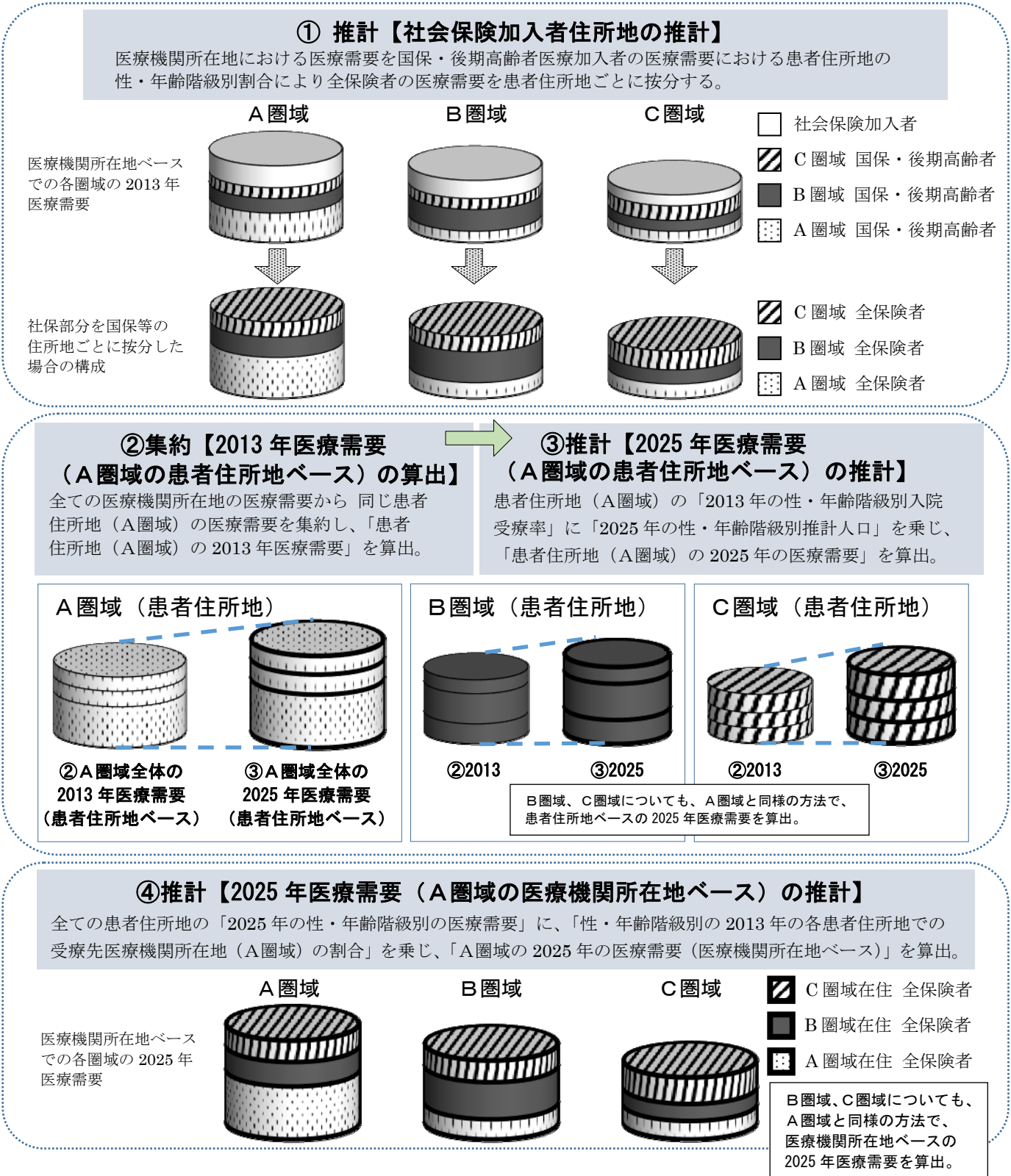
1. 医療資源投入量：1日当たりの診療報酬の出来高点数（入院基本料相当分及びリハビリテーション料の一部を除く）
2. 医療機能区分は225点以上で定義されるが、支援ツールにおける算定では在宅復帰に向けた調整を要する幅を見込み、175点で区分。
3. 障害者施設等入院基本料、特殊疾患病棟入院料及び特殊疾患入院医療管理料を算定している患者数
4. 2013年医療需要の算定基準
5. 将来推計時の算定基準

### 3. 医療需要の推計方法 [厚生労働省が示した推計方法]

支援ツールにおける医療需要の推計は、(1)NDB データには患者住所情報が含まれておらず、2013年医療需要は医療機関所在地ベース以外算出できない、(2)将来推計人口は市区町村人口に対する推計値のみが得られることから、図1に示すとおり、次のように算出されている。

保険者所在地と患者住所地が同一である圏域内の「市町村国保」及び「後期高齢者医療制度」における医療需要から患者住所地ベースの2013年医療需要を推計し、将来推計人口を用いて2025年の医療需要を推計した後、医療機関所在地ベースの2025年医療需要を推計している。

図1. 医療需要の推計方法（3圏域（A～C）間での流出入の場合）



#### 4. 2025年医療需要および必要病床数の推計のまとめ

(1) 2025年における医療需要（医療機関所在地）および必要病床数の推計値  
（資料 図 1-1、図 1-2、表 2-1、表 3）

（表 4）

2025年医療需要は2013年と比べて、

- ・高度急性期で1～2割増、急性期で2～3割増、回復期3～4割増である。
- ・慢性期では、豊能、三島、北河内、中河内では1～3割増であるのに対し、南河内、堺市、泉州、大阪市では1～3割減となっている。
- ・在宅医療等では、6～9割増となっている。

（表 5）

平成 26（2014）年度病床機能報告の結果と比較すると、

- ・高度急性期、慢性期では、必要病床数を報告病床数が上回っている二次医療圏と下回っている二次医療圏が混在している。
- ・急性期では、すべての二次医療圏で必要病床数を報告病床数が上回っている。
- ・回復期では、すべての二次医療圏で必要病床数を報告病床数が大きく下回っている。

表 4. 平成 37 年（2025 年）医療需要（医療機関所在地）及び必要病床数の推計（概要）

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期 <sup>1</sup>	小計	在宅医療等 <sup>1,3,4</sup>	合計
大阪府	2013 年医療需要（人/日）	7,921	21,962	21,369	22,221	73,473	92,009	165,482
	2025 年医療需要（人/日）	8,842	27,335	28,228	21,074 (21,411)	85,479 (85,816)	160,848 (160,491)	246,327 (246,307)
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.12	1.24	1.32	0.95(0.96)	1.16(1.17)	1.75(1.74)	—
	2013 年必要病床数（床）	10,562	28,156	23,744	24,157	86,619	/	86,619
	2025 年必要病床数（床）	11,789	35,047	31,364	22,907 (23,274)	101,107 (101,474)		101,107 (101,474)
豊能	2013 年医療需要（人/日）	970	2,577	2,473	1,995	8,015	10,930	18,945
	2025 年医療需要（人/日）	1,077	3,154	3,219	2,227	9,677	18,650	28,327
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.11	1.22	1.30	1.12	1.21	1.71	—
	2013 年必要病床数（床）	1,294	3,304	2,748	2,169	9,515	/	9,515
	2025 年必要病床数（床）	1,436	4,044	3,577	2,421	11,478		11,478
三島	2013 年医療需要（人/日）	639	1,759	1,750	1,743	5,891	7,009	12,900
	2025 年医療需要（人/日）	717	2,309	2,507	2,217	7,750	12,740	20,490
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.12	1.31	1.43	1.27	1.31	1.82	—
	2013 年必要病床数（床）	852	2,255	1,944	1,895	6,946	/	6,946
	2025 年必要病床数（床）	956	2,961	2,786	2,410	9,113		9,113
北河内	2013 年医療需要（人/日）	746	2,517	2,835	2,340	8,438	10,562	19,000
	2025 年医療需要（人/日）	897	3,369	4,060	2,837	11,163	20,066	31,229
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.20	1.34	1.43	1.21	1.32	1.90	—
	2013 年必要病床数（床）	994	3,227	3,150	2,543	9,914	/	9,914
	2025 年必要病床数（床）	1,197	4,319	4,511	3,083	13,110		13,110
中河内	2013 年医療需要（人/日）	421	1,449	1,774	1,062	4,706	9,175	13,881
	2025 年医療需要（人/日）	493	1,890	2,483	1,173	6,039	15,409	21,448
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.17	1.30	1.40	1.10	1.28	1.68	—
	2013 年必要病床数（床）	562	1,857	1,971	1,155	5,545	/	5,545
	2025 年必要病床数（床）	657	2,424	2,759	1,275	7,115		7,115
南河内	2013 年医療需要（人/日）	556	1,629	1,321	1,981	5,487	6,714	12,201
	2025 年医療需要（人/日）	611	1,962	1,688	1,750	6,011	11,897	17,908
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.10	1.20	1.28	0.88	1.10	1.77	—
	2013 年必要病床数（床）	741	2,089	1,468	2,154	6,452	/	6,452
	2025 年必要病床数（床）	814	2,515	1,875	1,902	7,106		7,106
堺市	2013 年医療需要（人/日）	646	1,973	1,763	3,631	8,013	9,795	17,808
	2025 年医療需要（人/日）	744	2,440	2,314	2,814 (2,945)	8,312 (8,443)	18,308 (18,182)	26,620 (26,625)
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.15	1.24	1.31	0.77(0.81)	1.05(1.06)	1.87(1.86)	—
	2013 年必要病床数（床）	861	2,529	1,959	3,947	9,296	/	9,296
	2025 年必要病床数（床）	991	3,128	2,571	3,059 (3,202)	9,749 (9,892)		9,749 (9,892)
泉州	2013 年医療需要（人/日）	692	1,772	1,781	3,027	7,272	8,754	16,026
	2025 年医療需要（人/日）	745	2,198	2,361	2,115 (2,321)	7,419 (7,625)	15,795 (15,564)	23,214 (23,189)
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.08	1.24	1.33	0.70(0.77)	1.03(1.06)	1.80(1.78)	—
	2013 年必要病床数（床）	923	2,271	1,979	3,291	8,464	/	8,464
	2025 年必要病床数（床）	993	2,818	2,623	2,299 (2,523)	8,733 (8,957)		8,733 (8,957)
大阪府	2013 年医療需要（人/日）	3,251	8,286	7,672	6,442	25,651	29,070	54,721
	2025 年医療需要（人/日）	3,558	10,013	9,596	5,941	29,108	47,983	77,091
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.09	1.21	1.25	0.92	1.14	1.65	—
	2013 年必要病床数（床）	4,335	10,624	8,525	7,003	30,487	/	30,487
	2025 年必要病床数（床）	4,745	12,838	10,662	6,458	34,703		34,703

1 慢性期、在宅医療等はパターン B 条件で算出。堺市、泉州のカッコ内は特例条件の値である。

2 2013 年比＝2025 年医療需要（医療機関所在地）／2013 年度医療需要（医療機関所在地）  
ただし、合計については 2013 年比を算出してない。

3 在宅医療等は患者住所地ベースを記載。

4 在宅医療等の医療需要については、在宅医療等を必要とする対象者を表しており、実際には全員が 1 日に医療提供を受けるものではない。その患者の受ける医療の頻度等によって医療提供体制は異なる。

表5. 病床機能報告による機能別病床数と支援ツールによる必要病床数推計値の比較

[必要病床数は医療機関所在地ベース]

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期 <sup>1</sup>	無回答	合計
大阪府	必要病床数 (2013)	10,562	28,156	23,744	24,157		86,619
	病床機能報告数 (2014)	11,587	43,635	7,262	22,987	604	86,075
	必要病床数 (2025)	11,789	35,047	31,364	23,274		101,474
豊能	必要病床数 (2013)	1,294	3,304	2,748	2,169		9,515
	病床機能報告数 (2014)	1,802	3,960	854	1,971	314	8,901
	必要病床数 (2025)	1,436	4,044	3,577	2,421		11,478
三島	必要病床数 (2013)	852	2,255	1,944	1,895		6,946
	病床機能報告数 (2014)	947	3,296	858	1,494	15	6,610
	必要病床数 (2025)	956	2,961	2,786	2,410		9,113
北河内	必要病床数 (2013)	994	3,227	3,150	2,543		9,914
	病床機能報告数 (2014)	894	5,710	863	2,487	8	9,962
	必要病床数 (2025)	1,197	4,319	4,511	3,083		13,110
中河内	必要病床数 (2013)	562	1,857	1,971	1,155		5,545
	病床機能報告数 (2014)	163	3,527	427	1,375	0	5,492
	必要病床数 (2025)	657	2,424	2,759	1,275		7,115
南河内	必要病床数 (2013)	741	2,089	1,468	2,154		6,452
	病床機能報告数 (2014)	1,061	3,452	192	1,953	1	6,659
	必要病床数 (2025)	814	2,515	1,875	1,902		7,106
堺市	必要病床数 (2013)	861	2,529	1,959	3,947		9,296
	病床機能報告数 (2014)	804	3,449	971	3,793	67	9,084
	必要病床数 (2025)	991	3,128	2,571	3,202		9,892
泉州	必要病床数 (2013)	923	2,271	1,979	3,291		8,464
	病床機能報告数 (2014)	612	3,647	935	3,409	39	8,642
	必要病床数 (2025)	993	2,818	2,623	2,523		8,957
大阪市	必要病床数 (2013)	4,335	10,624	8,525	7,003		30,487
	病床機能報告数 (2014)	5,304	16,594	2,162	6,505	160	30,725
	必要病床数 (2025)	4,745	12,838	10,662	6,458		34,703

1. 慢性期は堺市、泉州は特例条件、その他の二次医療圏ではパターンB条件で算出。

※留意すべき点

病床機能報告については、平成26年度から開始された。現在、国において適切な報告に向けた検討が進められており、今後、これらの点も踏まえ、必要病床数との比較検討を行う必要がある。

## (2) 2025年における二次医療圏間での患者流出入の推計値

(資料 図 2-1-1～2-8-4、表 6-1～6-5)

患者流出入の評価の前提として、

「流出>流入」の二次医療圏を「流出先」

「流出<流入」の二次医療圏を「流入元」

と定義する。

全体の傾向として

- ・高度急性期、急性期、回復期の医療機能の間で各二次医療圏における主要な患者流出先・流入元の大きな違いはない。
- ・慢性期では、急性期での流出先から流入し、流入元へ流出する傾向にある。

都道府県間の流出入は、

- ・高度急性期～回復期では、主に兵庫県、奈良県から流入し、和歌山県へわずかに流出している。
- ・慢性期では、主に和歌山県、奈良県から流入し、兵庫県へ流出している。

支援ツールの結果から大阪府の特徴として以下の点が挙げられる。

- ・大阪市は、大阪府内二次医療圏および兵庫県、奈良県からの流入が多い。
- ・泉州は、和歌山への流出が多い。

また、上記2点の特徴を除くと、次の二次医療圏の組合せの中で、主要な疾患の医療需要は概ね賅われている。

- ・豊能、三島
- ・大阪市、北河内、中河内
- ・南河内、堺市、泉州

表 6. 2025 年における二次医療圏間での患者流出入推計値（概要）<sup>1</sup>

	流出入 区分	高度急性期～回復期	慢性期
豊能	流入	流出先：大阪市 流入元：三島、兵庫県、北河内	流出先：三島、兵庫県、北河内 流入元：大阪市、中河内
三島	流出	流出先：豊能、大阪市 流入元：北河内、兵庫県、中河内	流出先：北河内、堺市 流入元：豊能、大阪市、兵庫県
北河内	流出	流出先：大阪市、豊能、京都府 流入元：中河内	流出先：大阪市、豊能 流入元：中河内、三島、奈良県
中河内	流出	流出先：大阪市、豊能、北河内 流入元：	流出先：大阪市、北河内、奈良県 流入元：
南河内	流入	流出先：大阪市 流入元：堺市、泉州、和歌山県	流出先：堺市 流入元：和歌山県、中河内、豊能
堺市	流出	流出先：南河内、大阪市、豊能 流入元：泉州	流出先：大阪市、泉州、中河内 流入元：
泉州	流出	流出先：堺市、和歌山県、大阪市 流入元：	流出先：堺市 流入元：和歌山県、大阪市、中河内
大阪市	流入	流出先： 流入元：中河内、豊能、北河内	流出先：堺市、三島、豊能 流入元：泉州、中河内、北河内

1. 「流出＞流入」の二次医療圏を「流出・流出先」  
「流出＜流入」の二次医療圏を「流入・流入元」と定義する。

### （3） 年齢階級別の医療需要等の推計値

（資料 表 4-2～4-5）

年齢階級別の結果から、高齢になるにつれて、居住地以外の二次医療圏で入院する患者の割合は減少する傾向にある。

表 7. 居住地以外の二次医療圏で入院する患者の割合（患者流出割合）<sup>1</sup>

	0～14 歳	15～59 歳	60～74 歳	75 歳以上
大阪市	2 割強	2 割	1 割強	1 割強
中河内	5 割	4 割	3 割強	3 割弱
その他	北河内、南河内、堺市：3～4 割 豊能、三島、泉州：1～2 割	3～4 割	2～3 割	1～2 割

1. 患者流出割合＝[流出者数（人/日）]÷[在住者（患者住所地）の医療需要]（表 4-2～4-5）



#### (4) 疾病別の医療需要等の推計値

(資料 表 7-1～7-38、表 8-1～8-8)

疾病別の医療需要については5疾病5事業を中心として表8にまとめている。

また、MDC診断群別の医療需要・必要病床数は資料表7-11～7-28に掲載している。

表8. 支援ツールによる5疾病5事業等の医療需要の検討

		特徴
5 疾 病	がん	豊能、南河内、大阪市（特に大阪市）への流出が多い。
	脳卒中	中河内を除いた二次医療圏では圏域内で医療需要が概ね賅われている。中河内では大阪市への流出が多い。
	急性心筋梗塞	医療需要・必要病床数の大部分が10未満でマスクされているため、評価が困難である。 代替として、循環器系疾患全体として評価すると、中河内を除いた二次医療圏では圏域内で医療需要が概ね賅われている。中河内では大阪市への流出が多い。
	糖尿病	MDC診断群分類による医療需要の算出に限られているため、糖尿病による医療需要を評価できない。
	精神疾患	精神病床は地域医療構想の範囲外である
5 事 業	救急医療	MDC診断群分類による医療需要の算出に限られているため、救急医療による医療需要を評価できない。
	周産期医療	MDC診断群分類による医療需要の算出に限られているため、周産期医療による医療需要を評価することは困難である。 代替として、MDC12、14で0～4歳、15～59歳の高度急性期・急性期の条件により周産期医療を想定した場合、すべての二次医療圏の圏域内で医療需要が概ね賅われている。
	小児医療	北河内、中河内では、大阪市への流出が多い。 堺市では、泉州、南河内への流出が多い。 その他の二次医療圏では圏域内で医療需要が概ね賅われている。
	災害医療 へき地医療	非常時および二次医療圏より詳細な地域差の検討は、支援ツールの範囲外である。
そ の 他	成人肺炎	すべての二次医療圏の圏域内で医療需要が概ね賅われている。
	大腿骨頸部骨折	

## IV. 地域医療構想策定支援ツールの課題と対応

### 1. 地域医療構想策定支援ツールの問題点

#### ①少数データのマスキング

NDB データ、DPC データの公表に関する規定により二次医療圏単位で 10 未満、市町村単位で 100 未満は公表されない。

#### ②市町村別の推計値

構想区域設定検討支援ツールによる市町村別必要病床数は、二次医療圏単位で算出した必要病床数を推計人口で按分した値であり、各市町村別に推計した値ではない。

#### ③疾病別等での詳細な推計

MDC 診断群分類別・手術の有無別での評価までが可能であるが、がん、急性心筋梗塞、脳卒中、成人肺炎、大腿骨頸部骨折を除き、疾病別等の詳細な検討はできない。

#### ④MDC 診断群分類別の慢性期・在宅医療等の推計

MDC 診断群分類別に高度急性期～回復期の推計値を算出できるが、慢性期および在宅医療等の推計値は算出されない。

#### ⑤社会保険加入者の受療動向

集計データの一部に住所情報が含まれているのみであり、市町村国保、後期高齢者医療制度加入者のデータから全人口の状況を逆算しているため、社保加入者の受療動向を反映できていない可能性がある。

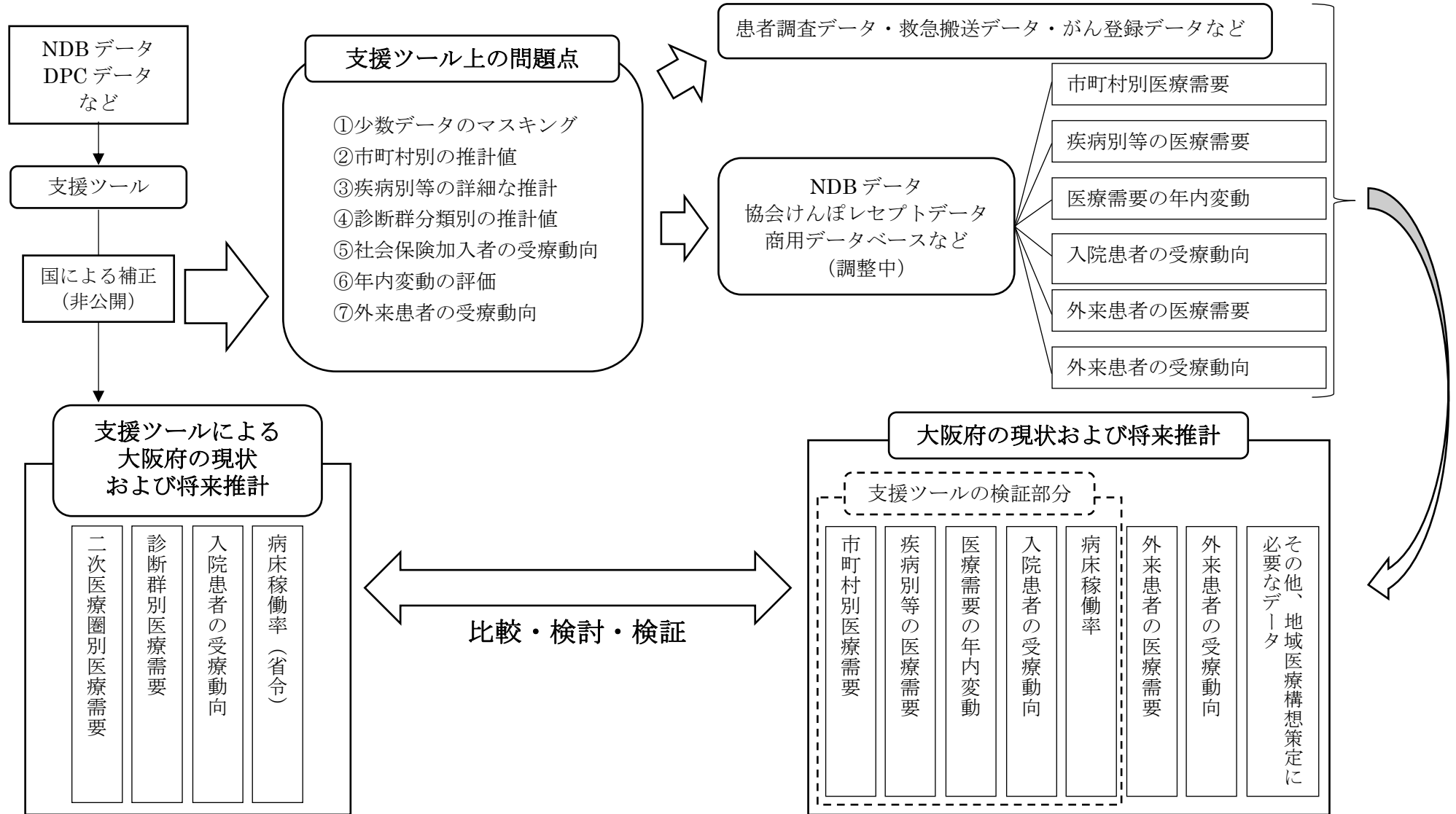
#### ⑥年内変動の評価

急性心筋梗塞、脳卒中などの年内変動（季節性変動など）があることが知られている疾患についての年内変動は評価できない。

#### ⑦外来患者の受療動向

一般病床および療養病床についての推計であり、外来患者については算出できない。

## 2. 今後のデータ分析として考えられる方法（案）



第2章  
追加データ分析による  
支援ツール結果の検証および補足  
(第2回地域医療構想策定WGでの検討事項)

# I . データ分析の方法

## 1. データ分析における検討課題

第1章「IV. 地域医療構想策定支援ツールの課題と対応」での検討結果から、地域医療構想策定支援ツールの問題点（15 ページ）と今後のデータ分析として考えられる方法（16 ページ）に基づいて、分析を検討したデータの取得等の調整（表9）を行い、表10の9項目についてデータ分析を行った。

表9. 分析を考慮したデータの状況

データの種類	状況
NDB データ	厚生労働省保険局より 8 月に取得。抽出条件、制約条件については次項に記載。
協会けんぽレセプトデータ	協会けんぽ大阪支部と調整を行ったが、個人情報保護等の面でデータ提供に関する体制が整っておらず、今回の活用は見送った。
商用レセプトデータ	商用データベースの健保組合レセプトデータは被保険者数のカバー率が低く、客観性の担保が難しいため、活用を見送った。
患者調査データ	病床稼働率の検証にあたり、二次医療圏単位の 1 日当たりの「推定入院患者数」「推定退院患者数」を活用した。
厚生労働省データブック	NDB データに基づいた 5 疾病 3 事業（災害・へき地医療除く）に関連した資料が利用可能。今回は急性心筋梗塞、精神疾患、救急医療等の評価にあたって当該データブックを活用した。
消防庁救急搬送データ	消防庁の二次医療圏・市区町村単位のデータが公表されていないため、代替対応として、データブック内の患者受療動向可視化ツールにより救急医療の評価を行った。
がん登録データ	がん登録データは確定診断時の患者状況を把握できるが、医療需要・受療動向については把握できないため、今回の活用は見送った。

表10. データ分析による検討課題

検討課題	利用資料
○入院の医療需要（流出入を含め反映）	
①市町村別の医療需要の検討	支援ツール
②入院患者の受療動向	NDB データ
③疾病別等の医療需要の検討	NDB データ、データブック （患者受療動向可視化ツール）
④医療需要の年内変動	NDB データ
⑤病床稼働率	患者調査
○入院の医療需要関連データ	
⑥救急医療の医療需要および流出入	データブック （患者受療動向可視化ツール）

## 2. NDB データ利用における制約事項

今回、取得した NDB データは次の 2 条件のいずれかを満たすレセプトデータである。

- ・大阪府内医療機関の受診者
- ・大阪府内市町村国保または後期高齢者医療制度の被保険者

個人情報保護などの観点から、NDB データの利用には以下のような制約がある。

- ① NDB は患者住所地データを保有していない。
  - 患者住所地として市町村国保・後期高齢者の被保険者情報を利用する。
  - ただし、他府県の市町村国保・後期高齢者の被保険者の受療状況がわからないため、他府県からの流入については検討できない。
- ② 個人を特定しうるデータ（疾患データ、薬剤データなど）は詳細には取得できない。
  - 医科レセプトでは、医療資源を最も投入した傷病名はわからず、使用薬剤などによる傷病情報の補完はできない。
  - 傷病名は主傷病を利用し、傷病大分類および中分類を利用する。
  - 結果として、傷病別の分析結果は支援ツールの結果と厳密には比較できない。
- ③ 二次医療圏単位で 10 未満および市町村単位で 100 未満の値を公表できない。

また、支援ツールと NDB データ分析の前提条件の比較は表 1 1～1 3 の通りである。これらの制約事項に加え、支援ツールにおけるデータ分析方法の詳細は公開されていないことから、NDB データ分析結果と支援ツールの結果の厳密な比較はできないものの、支援ツールと NDB データ双方のデータを比較検証することにより分析の幅を広げることができた。

表 1 1. 支援ツールと NDB データ分析の比較：利用データ

		支援ツール	NDB データ分析	差異による影響
医療需要	①NDB レセプトデータ	○	○	
	②DPC データ	○	○	支援ツールでは DPC データを利用と記載あり。NDB データ分析では DPC レセプトデータを利用しており、住所情報の有無などで一部異なる可能性あり。
	③その他（公費医療等※）	○	×	支援ツールでは、公費医療等（特定疾患等）のデータを利用し、医療需要を補正している。（補正方法は非開示）
人 口	住民基本台帳 年齢階級別人口	○	○	
将来推計人口	性・年齢階級別 将来推計人口	○	○	

※ その他には、公費負担医療、医療扶助、訪問診療、分娩、介護老人保健施設、労働災害入院、自賠責保険入院の患者数が含まれている。

表 1 2. 支援ツールと NDB データ分析の比較：医療機能算定条件等

	支援ツール	NDB データ分析	差異による影響
医療資源投入量	1 日当たり診療報酬の出来高点数 (入院基本料相当分、リハビリテーション料の一部を除く)	1 日当たり診療報酬の出来高点数 (入院基本料および入院料・リハビリテーション料の一部を除く)	医療機能の定義は NDB データ分析でも支援ツールと同じものを使用。 支援ツール上での除外基準が非開示であることから、独自の基準設定が必要である。医療機能別の結果に影響あり。
病床区分	非開示	病棟区分 (病院の申告)	

表 1 3. 支援ツールと NDB データ分析の比較：個別の疾病の定義等

	支援ツール	NDB データ分析	差異による影響	
傷病名	医療資源を最も投入した傷病名	医科：主傷病名 DPC：医療資源を最も投入した傷病名	主傷病名は医師の判断により決定される傷病名であり、医療資源の投入量が多いとは限らない。	
疑い病名	疑い病名に関する記載なし	含む (除くことも可)	疑い病名についても医療需要としては考慮する必要があるが、支援ツール上の取り扱いには明らかではない。	
5 疾病	がん	全がん (部位別も可)	全がん (部位別も可)	
	脳卒中	○ 脳出血 脳梗塞 くも膜下出血	△ 脳卒中が主だが、 脳卒中以外も混入	NDB データ分析では脳卒中の中に慢性硬膜下血腫などの脳血管疾患ではない疾患も含まれているため、脳卒中に絞った評価は行えない。
	急性心筋梗塞	○ 急性心筋梗塞	△ 虚血性心疾患	支援ツールでは急性心筋梗塞のみのため、マスキングが多く、詳細に検討が困難であったが、NDB データ分析では心筋梗塞＋狭心症となっており、詳細に検討ができる。ただし、検査入院など緊急性が低い患者が混入している点には留意が必要。
	糖尿病	×	○	
	精神疾患	×	△	定義について検討が必要
疾病群分類	MDC 分類	傷病大分類	分類は似ているが、厳密には比較できないものの双方の利点を活かす。	
5 事業	救急医療	×	×	データブック(患者受療動向可視化ツール)の活用へ。
	周産期医療	△	○	支援ツールでは該当する区分がないが、代替措置により一定の条件を想定し算定。 NDB データ分析では「妊娠・分娩および産じょく＋周産期異常」の傷病分類により概ね検討が可能である。
	小児医療	○	○	
	災害医療	×	×	分析の対象外
	へき地医療	×	×	大阪府は対象地域なし

### 3. 医療需要の推計方法

医療需要の推計方法は、第 1 章「Ⅲ. 地域医療構想策定支援ツールについて (厚生労働省提供ツールの内容・推計方法およびその結果)」に記載した厚生労働省が示した推計方法および基準 (6～8 ページ、表 2～3、図 1) の通りである。



## Ⅱ. データ分析の結果

(第2回WGに向けた追加分析)

## 1. 市町村別入院医療需要および入院患者の受療動向

市町村別医療需要および入院患者の受療動向について以下の方法にて検討した。

### ① 医療需要の推計値

医療需要の発生状況は、同じ性・年齢階級内では同等と仮定し、支援ツールにより算出された各二次医療圏の医療需要（患者住所地）を各市町村の性・年齢階級別の2025年推計人口により按分したものを利用した。

また、医療提供は、医療資源の量に比例すると仮定し、支援ツールにより算出された各二次医療圏の医療需要（医療機関所在地）を各市町村の既存病床数により按分した。なお、高度急性期～回復期医療需要の按分には一般病床数を用い、慢性期医療需要の按分には療養病床数を用いた。

### ② 入院患者の受療動向の推計

市町村単位での高度急性期～回復期医療需要および慢性期医療需要についての流出入を、NDBデータを用いて、2025年推計イメージを作成した。

#### 検討結果（表14～15）

- 市町村別医療需要および必要病床数の推計値については、表14、表15のとおりである。
- 府外への流出について  
大阪府内の市区町村から他府県への流出が多いものは下表のとおりである。  
いずれも府県境の隣接する市町村への流出であり、適切な医療機関への交通アクセスなどの理由によるものと推察される。

表16. 府内市町村からの他府県への特徴的な流出（一般病床、療養病床共通）

二次医療圏	市町村		流出先
豊能	豊能町、能勢町	→	兵庫県川西市、猪名川町
	池田市	→	兵庫県川西市
北河内	枚方市	→	京都府八幡市
	四條畷市	→	奈良県生駒市
中河内	柏原市	→	奈良県香芝市
泉州	岬町	→	和歌山県和歌山市





表15. 平成37年(2025年)市町村別医療需要・必要病床数(在宅医療等)

		在宅医療等				(再掲)うち訪問診療分			
		医療需要(人/日)							
		患者住所地		医療機関所在地		患者住所地		医療機関所在地	
		2013	2025	2013	2025	2013	2025	2013	2025
大阪府		92,009	160,491	93,439	162,648	65,963	107,655	67,536	109,817
豊能	計	10,930	18,650	11,459	19,553	8,188	13,557	8,907	14,747
	豊中市	4,234	7,225			3,172	5,252		
	池田市	1,145	1,953			859	1,422		
	吹田市	3,599	6,141			2,693	4,459		
	箕面市	1,501	2,562			1,126	1,864		
	豊能町	307	524			231	382		
	能勢町	144	245			107	177		
三島	計	7,009	12,740	6,364	11,568	5,204	9,032	4,514	7,834
	高槻市	3,564	6,479			2,648	4,596		
	茨木市	2,451	4,455			1,819	3,156		
	摂津市	721	1,311			535	929		
	島本町	272	494			202	350		
北河内	計	10,562	20,066	9,875	18,761	7,501	13,766	6,652	12,208
	守口市	1,293	2,456			919	1,686		
	枚方市	3,824	7,265			2,715	4,982		
	寝屋川市	2,187	4,155			1,554	2,852		
	大東市	1,024	1,945			727	1,334		
	門真市	1,079	2,050			766	1,406		
	四條畷市	495	940			351	645		
	交野市	660	1,254			469	861		
中河内	計	9,175	15,409	7,955	13,360	6,585	10,664	5,598	9,065
	八尾市	2,927	4,915			2,100	3,401		
	柏原市	720	1,210			516	835		
	東大阪市	5,528	9,284			3,969	6,427		
南河内	計	6,714	11,897	6,425	11,385	4,752	7,562	4,364	6,945
	富田林市	1,189	2,107			841	1,338		
	河内長野市	1,306	2,314			925	1,472		
	松原市	1,282	2,271			907	1,444		
	羽曳野市	1,251	2,217			885	1,408		
	藤井寺市	643	1,139			454	723		
	大阪狭山市	641	1,136			454	722		
	太子町	138	244			97	155		
	河南町	184	326			131	208		
	千早赤阪村	81	144			57	91		
堺市	計	9,795	18,182	10,422	19,346	7,309	11,755	7,803	12,549
泉州	計	8,754	15,564	8,656	15,389	5,963	9,171	5,826	8,961
	岸和田市	1,834	3,261			1,248	1,920		
	泉大津市	701	1,247			478	735		
	貝塚市	826	1,468			562	865		
	泉佐野市	943	1,676			641	986		
	和泉市	1,726	3,069			1,175	1,807		
	高石市	593	1,054			404	621		
	泉南市	655	1,164			447	688		
	阪南市	574	1,020			391	602		
	忠岡町	185	329			126	194		
	熊取町	438	778			299	460		
	田尻町	70	125			48	74		
	岬町	210	373			143	220		
大阪市	計	29,070	47,983	32,283	53,286	20,461	32,149	23,872	37,508
	都島区	1,078	1,780			757	1,189		
	福島区	606	1,000			425	668		
	此花区	700	1,156			493	774		
	西区	705	1,164			495	777		
	港区	843	1,391			591	929		
	大正区	850	1,403			599	941		
	天王寺区	716	1,181			502	788		
	浪速区	588	970			414	651		
	西淀川区	1,034	1,707			728	1,144		
	東淀川区	1,784	2,944			1,255	1,972		
	東成区	911	1,503			641	1,007		
	生野区	1,716	2,833			1,211	1,902		
	旭区	1,170	1,931			824	1,295		
	城東区	1,807	2,983			1,273	2,000		
	阿倍野区	1,278	2,110			901	1,415		
	住吉区	1,869	3,085			1,315	2,066		
	東住吉区	1,553	2,563			1,094	1,719		
	西成区	1,459	2,408			1,038	1,631		
	淀川区	1,764	2,911			1,240	1,948		
	鶴見区	1,103	1,820			776	1,219		
	住之江区	1,456	2,404			1,024	1,609		
	平野区	2,361	3,897			1,663	2,613		
	北区	1,091	1,800			764	1,201		
	中央区	629	1,039			441	693		

- 1 推計方法：2013年医療需要(患者住所地)×2025年医療需要(患者住所地)/2013年医療需要(医療機関所在地)×2025年医療需要(医療機関所在地)
- 2 堺市は区別の2025年推計人口が示されていないため、区単位の医療需要(患者住所地)の推計値が得られない。
- 3 医療需要・必要病床数推計値は、各二次医療圏における「患者住所地」推計値を2025年性・年齢階級別人口にて按分した値である。
- 4 各圏域の数を市町村単位に按分した数字のため、一部小数点以下の端数処理により各市町村の数字の合計数が異なる場合がある。
- 5 慢性期パターンは、パターンB(堺市・泉州は特例)
- 6 在宅医療等の医療需要については、在宅医療等を必要とする対象者を表しており、実際には全員が1日に医療提供を受けるものではない。その患者の受ける医療の頻度等によって医療提供体制は異なる。

## 2. 疾病別等の医療需要

5 疾病中 4 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）および 5 事業中 2 事業（周産期医療、小児医療）について、NDB データを用いて、平成 37 年（2025 年）における医療需要の流出入を推計し、検討した。

また、急性心筋梗塞についてはデータブック（患者受療動向可視化ツール）の結果も併用し、精神疾患についてはデータブックの結果より検討を行った。

なお、急性心筋梗塞については NDB データ利用の制約により詳細な傷病コードを得られていないため、虚血性心疾患として検討した。

### 検討結果（図 2）

#### ○ がん

各圏域内で医療需要の大部分は満たされている。圏域間での流出入の多くは圏域境界に隣接する市区町村間で見られる。

#### ○ 脳卒中・虚血性心疾患

各圏域内で医療需要は概ね満たされている。緊急性の高い疾患であり、最寄りの医療機関への搬送が優先されるため、圏域境界に隣接する市区町村間での流出入が見られる。中河内医療圏においては他の圏域よりも流出がやや多い傾向にあるが、多くは圏域境界付近での流出入が中心である。

#### ○ 糖尿病

各圏域内で医療需要に概ね満たされている。

#### ○ 精神疾患

大阪市を除き、各圏域内での医療需要が満たされている。大阪市からは、泉州をはじめ、豊能、三島、中河内、南河内、堺市に流出している。

#### ○ 周産期医療

各圏域内で医療需要は概ね満たされているものの、「北河内、中河内、大阪市」、「南河内、堺市、泉州」の圏域組合せの範囲で補完されている。

#### ○ 小児医療

各圏域内で医療需要が概ね満たされている。専門医療機関での受療と考えられるパターンを除き、「豊能、三島」、「北河内、中河内、大阪市」、「南河内、堺市、泉州」の圏域組合せの範囲で補完されている。



### 3. 医療需要の年内変動

高度急性期、急性期、回復期、慢性期の医療需要および年内変動が大きいと考えられる疾患である脳卒中、虚血性心疾患、感染症、また、変動が比較的少ないと考えられる疾患であるがんについても NDB データを用いて、大阪府全体での平成 25 年度（2013 年度）の月別受療状況を比較した。

なお、本検討は平成 25 年度（2013 年度）（1 年間）での検討であるため、平成 25 年度（2013 年度）の特異的な状況を反映している可能性がある。

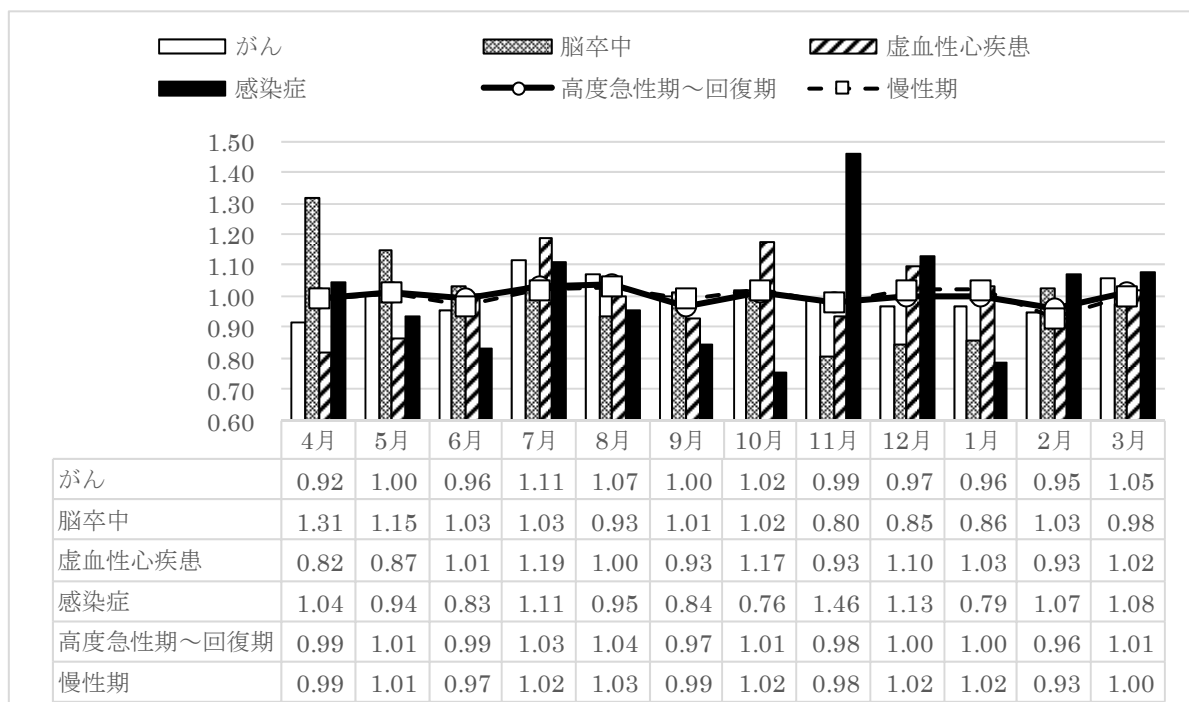
#### 検討結果（図 3）

##### ○月別受療状況の特徴

- ・高度急性期～回復期の医療需要の変動は、±4%と小さい。
- ・慢性期の医療需要の変動は、-7%～+3%と需要過剰となる変動は小さい。
- ・がんは、7月に入院が多かったが、年間で±10%程度の変動である。
- ・脳卒中は、4、5月に入院が多く、11～1月に入院がやや少なかった。4月に+30%程度と大きな医療需要が生じているが、それ以外の月では±15%程度の変動に収まっている。
- ・虚血性心疾患は、7、10、12月に入院が多くなっており、年間では±20%程度の変動幅である。
- ・感染症では、11、12月に入院が多く、11月では+40%と大幅に入院が多かったが、それ以外の月では±15%程度の変動に収まっている。

以上より、医療需要の年内変動が大きい傷病もあるが、医療需要全体としては最大 4%程度の増加の範囲にとどまっており、病床稼働率の範囲で対応可能であるが、時期によって診療科間での病床の融通が必要な状況は起こりうると考えられる。なお、本検討は平成 25 年度（2013 年度）のデータに基づくものであり、平成 37 年（2025 年）には脳卒中、心筋梗塞などの高齢化により増加が見込まれる疾患の影響が強くなる可能性は否定できない。

図 3. 入院医療需要の年内変動（月平均に対する各月実数の比）





#### 4. 病床稼働率

以下の資料を用いて、大阪府における病床稼働率を推計した。

平成 23 年度患者調査	①推計退院患者数，病院－一般診療所・病床の種類 × 性・年齢階級別 ②病院の推計入院患者数（施設所在地），病床の種類・二次医療圏内－二次医療圏外（県内－県外） × 二次医療圏別
大阪府健康医療部資料	既存病床数（平成 26 年度末現在）

病床稼働率＝

病床の種類別入院患者数＋退院患者数 × [病床の種類別退院患者数(全国)/退院患者総数(全国)]

病床数

#### 検討結果（表 1 7）

- 病床稼働率推計値は、全国平均（一般：82.9%、療養：87.8%）より大阪府（一般：86.1%、療養：91.1%）の方が高い。
- 現在の病床機能報告では急性期が多くを占めており、厚生労働省が省令で定める病床稼働率（急性期 78%）より、病床稼働率推計値が高い。

これらの実態より、大阪府は全国より病床稼働率が高いことが見込まれることから、地域医療構想における必要病床数推計値による増床分の整備については、今後慎重に検討する必要がある。

表 1 7. 二次医療圏別の病床稼働率

	一般病床				療養病床			
	既存病床数 (床)	入院患者数 (人/日)	退院患者数 (人/日)	病床稼働率 (推計値)	既存病床数 (床)	入院患者数 (人/日)	退院患者数 (人/日)	病床稼働率 (推計値)
全国	897,380	707,200	36,910	82.9%	328,195	286,600	1,423	87.8%
大阪府	65,824	53,900	2,768	86.1%	22,394	20,300	107	91.1%
豊能	7,157	6,100	306	89.5%	1,832	1,600	12	88.0%
三島	5,270	4,500	203	89.2%	1,161	1,100	8	95.4%
北河内	7,868	6,800	312	90.4%	2,153	1,300	12	60.9%
中河内	4,403	3,100	165	74.2%	1,305	1,400	6	107.8%
南河内	4,775	3,700	218	82.1%	1,867	1,800	8	96.9%
堺市	5,641	4,000	243	75.2%	3,824	4,000	9	104.8%
泉州	4,777	4,400	243	97.2%	3,864	3,600	9	93.4%
大阪市	25,933	21,300	1,077	86.3%	6,388	5,400	42	85.2%

※ 資料上、中河内、堺市では、病床稼働率が 100%を超えているが、患者調査において、療養病床の入院患者数が既存病床数を上回っているため、同様の内容を掲載している。

## 5. 必要病床数推計の救急医療への影響

### (1) 地域医療構想策定支援ツールによる算定

平成 37 年（2025 年）の医療需要及び必要病床数推計については、救急搬送等も含めた各医療機能の医療需要・必要病床数を推計した数字であることから、基本的に救急搬送の要素を見込んでいる。

### (2) 急性期病床推計値の二次救急（≒救急搬送による入院）への影響を検証

急性期病床の推計値の二次救急（≒救急搬送による入院）への影響を次の条件で検証する。

<前提条件>

- ・ 二次救急≒救急搬送による入院（＝急性期病床）と想定。
- ・ 将来推計の方法

[活用データ]

人口：2013 年人口及び 2025 年推計人口

救急医療実績：救急・救急医療の体制（二次救急）

（厚生労働省データブック 患者受療動向可視化ツール）

- ・ 一般病床平均在院日数は、12.7 日（DPC 対象病院第Ⅲ群全国平均）とする。

推計計算式

各患者住所地の救急入院件数（2013）

× 2025 年推計人口 / 2013 年人口

× 各患者住所地から各医療機関所在地への救急入院件数（2013）

/ 各患者住所地の救急入院件数（2013）

## 検討結果

### ○ 医療アクセスの状況

DPC 公表データに基づいた医療機関の診療実態をもとに、傷病別に各地区から診療可能な医療機関への運転時間を図示した結果から、脳梗塞、脳出血、急性心筋梗塞、肺炎、大腿骨頸部骨折のいずれも 30 分以内に 99%以上の人が必要な医療機関へ到着できる。また、くも膜下出血は他の疾患よりも医療へのアクセスがやや悪いが、それでもなお、97%以上の人が必要 30 分以内に適切な医療機関へ到着できる。これらより、大阪府は全国と比べても医療へのアクセスが充実していると言える。

### ○ 救急入院件数

平成 37 年（2025 年）までに 150 件/日程度増加する増加する見込みであり、医療需要に換算すると 1,900 人/日程度増加する見込みであるが、高度急性期＋急性期の必要病床数に占める割合は 1%程度（1.3%）の増加に留まることが見込まれることから、平成 37 年（2025 年）必要病床数の範囲で対応可能なものと推測される。

### 二次救急搬送件数の見込み（表 18～19 参照）

	平成 25 年 (2013 年)	平成 37 年 (2025 年)	増加数
	府内+流入-流出	府内+流入-流出	府内+流入-流出
A 年間救急入院件数見込 (件)	170,557	224,206	53,649
B 1 日あたり件数見込 (件) (A/365)	467	614	147
C 高度急性期・急性期医療需要 (人/日) (B×12.7)	5,931	7,798	1,867
D 必要病床数推計(医療機関所在地) (床) (高度急性期+急性期)	29,284	36,178	6,894
E 必要病床数中の救急医療需要 (%) (C/D)	20.3	21.6	1.3

○ 二次医療圏ごとの状況

二次医療圏ごとの救急医療の流出入の状況について推計したところ、隣接した圏域間を中心とした流出入があるものの、一方的な流出（流入）はなく、境界を挟んだ双方向性の流出入であり、緊急性の高い状況により最寄りの医療機関への搬送を優先した結果と推測されることから、概ね圏域内で医療需要は満たされていると考えられる。

表18. 平成25年（2013年）救急入院件数

患者 住所地	医療機関所在地											総計	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	京都府	兵庫県	奈良県		和歌山県
豊能	14,822	380	82	28	19	27		2,678	51	1,012	23		19,122
三島	1,194	12,131	239	14	11	14		667	118	83	15	10	14,496
北河内	160	226	16,903	267	24	35	27	1,622	513	92	180		20,049
中河内	70	29	511	11,118	347	51	42	3,040	22	64	132		15,426
南河内	23	11	21	618	8,887	927	84	590	12	53	62	24	11,312
堺市	36	14	21	33	1,529	16,416	554	658	13	81	22	12	19,389
泉州	34		13	11	280	1,219	14,357	327	13	30	25	503	16,812
大阪市	914	127	920	1,482	573	643	148	51,428	97	580	197	37	57,146
滋賀県	13	13	22					35					83
京都府	50	158	459	14	11	22		173					887
兵庫県	1,156	99	73	38	43	68	42	1,156					2,675
奈良県	53	23	78	124	71	43	11	518					921
和歌山県	22	12	17		131	54	83	72					391
総計	18,547	13,223	19,359	13,747	11,926	19,519	15,348	62,964	839	1,995	656	586	178,709

出展：データブック（患者受療動向可視化ツール：救急・救急医療の体制【二次救急】）



府内+流入：174,633件

流出：4,076件

表19. 平成37年（2025年）救急入院件数推計値

患者 住所地	医療機関所在地											総計	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	京都府	兵庫県	奈良県		和歌山県
豊能	20,450	532	111	21	0	31	0	3,576	62	1,433	28	0	26,243
三島	1,637	16,870	318	0	0	0	0	864	146	112	16	0	19,963
北河内	200	281	22,719	345	11	36	30	2,067	688	117	248	0	26,742
中河内	83	23	708	15,331	449	56	52	3,966	18	82	175	0	20,943
南河内	26	0	23	833	12,125	1,260	105	716	0	63	80	25	15,255
堺市	51	0	16	26	1,976	22,126	748	863	0	107	9	0	25,922
泉州	35	0	0	0	328	1,553	19,128	393	0	29	28	636	22,130
大阪市	1,152	158	1,151	1,927	728	812	162	66,509	114	721	262	34	73,731
滋賀県	0	0	14	0	0	0	0	22					36
京都府	36	129	375	9	0	10	0	142					701
兵庫県	912	77	57	24	22	54	27	907					2,079
奈良県	41	8	59	95	52	28	0	397					680
和歌山県	9	0	0	0	95	33	60	52					249
総計	24,631	18,078	25,551	18,611	15,785	25,997	20,312	80,474	1,028	2,663	847	695	234,674



府内+流入：229,439件

流出：5,233件

Ⅲ. 大阪府における  
平成 37 年（2025 年）に見込まれる  
医療需要および医療提供体制

## 1. 平成 37 年（2025 年）医療需要のまとめ

### (1) 医療需要の推計値

#### ○ 平成 37 年（2025 年）の医療機能別医療需要（表 2 0）

大阪府における各二次医療圏の医療需要（医療機関所在地ベース）は平成 25 年（2013 年）と比べて、平成 37 年（2025 年）に高度急性期で 1～2 割増、急性期で 2～3 割増、回復期 3～4 割増、在宅医療等 6～9 割増といずれの圏域においても増加することが見込まれている。

それに対し、慢性期では、豊能、三島、北河内、中河内では 1～3 割増である一方、南河内、堺市、泉州、大阪市では 1～3 割減と圏域によって将来推計が大きく異なっている。

[医療需要：医療機関所在地ベース]

医療機能	平成 25 年（2013 年） （人/日）	平成 37 年（2025 年） （人/日）	増加率 （2013 年比）
高度急性期	7,921	8,842	1.12
急性期	21,962	27,335	1.24
回復期	21,369	28,228	1.32
慢性期	22,221	21,411	0.96
在宅医療等	93,439	162,648	1.74
計	166,912	248,464	1.48

慢性期はパターン B（堺市・泉州は特例）の場合

#### ○ 平成 37 年（2025 年）の必要病床数（表 2 0）

大阪府における各二次医療圏の必要病床数（医療機関所在地ベース）は、医療需要に比例して増加する。

大阪府の現状の病床数は 91,378 床（平成 25 年 10 月医療施設調査）となっており、平成 25 年（2013 年）と比べると約 4,760 床過剰（※）となり、平成 37 年（2025 年）では約 10,000 床不足（※）する結果となった。

[必要病床数：医療機関所在地ベース]

医療機能	平成 25 年（2013 年） （人/日）	平成 37 年（2025 年） （人/日）	増加率 （2013 年比）
高度急性期	10,562	11,789	1.12
急性期	28,156	35,047	1.24
回復期	23,744	31,364	1.32
慢性期	24,157	23,274	0.96
計	(※) 86,619	(※) 101,474	1.17

慢性期はパターン B（堺市・泉州は特例）の場合

#### ○ 医療需要の年内変動（図 3）

全医療需要の年内変動は 2013 年度現在で±4%未満となっており、病床稼働率の範囲で対応可能と考えられる。ただし、一部の疾患で年内変動が大きいと、診療科間での病床の融通が必要な状況は起こりうると推測される。

#### ○ 年齢階級別の医療需要（表 2 1）

年齢階級別では、高度急性期は 75 歳以上が 50%を下回るものの、急性期は約 60%を占めており、回復期、慢性期、在宅医療等の順に 10%程度ずつ 75 歳以上の占める割合が高くなっている。

表 2 1. 全医療需要に占める年齢階級別医療需要の割合

	0～14 歳	15～59 歳	60～74 歳	75 歳以上
高度急性期	9.0%	19.5%	23.9%	47.6%
急性期	2.5%	16.9%	19.9%	60.7%
回復期	0.2%	11.7%	19.1%	69.0%
慢性期	0.6%	6.4%	10.2%	82.9%
在宅医療等	0.1%	2.5%	6.3%	91.1%

表 20. 平成 37 年（2025 年）医療需要（医療機関所在地）及び必要病床数の推計（概要）

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期 <sup>1</sup>	小計	在宅医療等 <sup>1,3,4</sup>	合計
大阪府	2013 年医療需要（人/日）	7,921	21,962	21,369	22,221	73,473	92,009	165,482
	2025 年医療需要（人/日）	8,842	27,335	28,228	21,074 (21,411)	85,479 (85,816)	160,848 (160,491)	246,327 (246,307)
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.12	1.24	1.32	0.95(0.96)	1.16(1.17)	1.75(1.74)	—
	2013 年必要病床数（床）	10,562	28,156	23,744	24,157	86,619	/	86,619
	2025 年必要病床数（床）	11,789	35,047	31,364	22,907 (23,274)	101,107 (101,474)		101,107 (101,474)
豊能	2013 年医療需要（人/日）	970	2,577	2,473	1,995	8,015	10,930	18,945
	2025 年医療需要（人/日）	1,077	3,154	3,219	2,227	9,677	18,650	28,327
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.11	1.22	1.30	1.12	1.21	1.71	—
	2013 年必要病床数（床）	1,294	3,304	2,748	2,169	9,515	/	9,515
	2025 年必要病床数（床）	1,436	4,044	3,577	2,421	11,478		11,478
三島	2013 年医療需要（人/日）	639	1,759	1,750	1,743	5,891	7,009	12,900
	2025 年医療需要（人/日）	717	2,309	2,507	2,217	7,750	12,740	20,490
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.12	1.31	1.43	1.27	1.31	1.82	—
	2013 年必要病床数（床）	852	2,255	1,944	1,895	6,946	/	6,946
	2025 年必要病床数（床）	956	2,961	2,786	2,410	9,113		9,113
北河内	2013 年医療需要（人/日）	746	2,517	2,835	2,340	8,438	10,562	19,000
	2025 年医療需要（人/日）	897	3,369	4,060	2,837	11,163	20,066	31,229
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.20	1.34	1.43	1.21	1.32	1.90	—
	2013 年必要病床数（床）	994	3,227	3,150	2,543	9,914	/	9,914
	2025 年必要病床数（床）	1,197	4,319	4,511	3,083	13,110		13,110
中河内	2013 年医療需要（人/日）	421	1,449	1,774	1,062	4,706	9,175	13,881
	2025 年医療需要（人/日）	493	1,890	2,483	1,173	6,039	15,409	21,448
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.17	1.30	1.40	1.10	1.28	1.68	—
	2013 年必要病床数（床）	562	1,857	1,971	1,155	5,545	/	5,545
	2025 年必要病床数（床）	657	2,424	2,759	1,275	7,115		7,115
南河内	2013 年医療需要（人/日）	556	1,629	1,321	1,981	5,487	6,714	12,201
	2025 年医療需要（人/日）	611	1,962	1,688	1,750	6,011	11,897	17,908
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.10	1.20	1.28	0.88	1.10	1.77	—
	2013 年必要病床数（床）	741	2,089	1,468	2,154	6,452	/	6,452
	2025 年必要病床数（床）	814	2,515	1,875	1,902	7,106		7,106
堺市	2013 年医療需要（人/日）	646	1,973	1,763	3,631	8,013	9,795	17,808
	2025 年医療需要（人/日）	744	2,440	2,314	2,814 (2,945)	8,312 (8,443)	18,308 (18,182)	26,620 (26,625)
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.15	1.24	1.31	0.77(0.81)	1.05(1.06)	1.87(1.86)	—
	2013 年必要病床数（床）	861	2,529	1,959	3,947	9,296	/	9,296
	2025 年必要病床数（床）	991	3,128	2,571	3,059 (3,202)	9,749 (9,892)		9,749 (9,892)
泉州	2013 年医療需要（人/日）	692	1,772	1,781	3,027	7,272	8,754	16,026
	2025 年医療需要（人/日）	745	2,198	2,361	2,115 (2,321)	7,419 (7,625)	15,795 (15,564)	23,214 (23,189)
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.08	1.24	1.33	0.70(0.77)	1.03(1.06)	1.80(1.78)	—
	2013 年必要病床数（床）	923	2,271	1,979	3,291	8,464	/	8,464
	2025 年必要病床数（床）	993	2,818	2,623	2,299 (2,523)	8,733 (8,957)		8,733 (8,957)
大阪市	2013 年医療需要（人/日）	3,251	8,286	7,672	6,442	25,651	29,070	54,721
	2025 年医療需要（人/日）	3,558	10,013	9,596	5,941	29,108	47,983	77,091
	2013 年比 <sup>2</sup>	1.09	1.21	1.25	0.92	1.14	1.65	—
	2013 年必要病床数（床）	4,335	10,624	8,525	7,003	30,487	/	30,487
	2025 年必要病床数（床）	4,745	12,838	10,662	6,458	34,703		34,703

1 慢性期、在宅医療等はパターン B 条件で算出。堺市、泉州のカッコ内は特例条件の値である。

2 2013 年比 = 2025 年医療需要（医療機関所在地） / 2013 年度医療需要（医療機関所在地）  
ただし、合計については 2013 年比を算出してない。

3 在宅医療等は患者住所地ベースを記載。

4 在宅医療等の医療需要については、在宅医療等を必要とする対象者を表しており、実際には全員が 1 日に医療提供を受けるものではない。その患者の受ける医療の頻度等によって医療提供体制は異なる。

## (2) 医療需要の流出入

### ○ 二次医療圏間の流出入（表22、表23）

二次医療圏間での流出入は一定見られるものの、中河内医療圏以外で高度急性期～慢性期医療需要の7割以上が各圏域内で満たされており、中河内医療圏においても急性期、回復期医療需要の7割程度が圏域内で満たされている。

全体の傾向として、

- ・ 高度急性期、急性期、回復期の医療機能の間で各二次医療圏における主要な患者流出先・流入元の大きな違いはない。
- ・ 慢性期では、急性期での流出先から流入し、流入元へ流出する傾向にある。

大阪市医療圏へは大阪府内二次医療圏および兵庫県、奈良県からの流入が多く、泉州は和歌山県への流出が多くなっている。

大阪府内二次医療圏間の流出入では、隣接する二次医療圏間での流出入が中心となっている。

### ○ 市区町村間の流出入（表16）

隣接する二次医療圏間での流出入は、圏域境界の市区町村間での流出入が主となっており、専門医療機関への受診による流出入が一部疾患等で見られた。

また、大阪府内から他府県への流出が多い市区町村が一部で見られたが、いずれも府県境の隣接する市町村への流出であり、医療機関への交通アクセスの利便性などの理由によるものと推察される。

### ○ 年齢階級別の受療動向（表24）

全体としては、年齢が高くなるにつれて、居住地以外で入院する患者割合（患者流出割合）が低くなっている。

圏域内の医療資源が特に充実している大阪市では流出する傾向が弱く、他の圏域の医療機関へのアクセスが良好な中河内では流出する傾向が強い。

また、小児（0～14歳）については、大阪市、中河内以外の圏域では、圏域によって傾向が異なっており、北河内、南河内、堺市では流出する傾向が強く、豊能、三島、泉州では流出傾向が弱い。医療提供体制の充実や専門医療機関へのアクセスなどによるものと推察される。

表22. 居住地で入院する患者の割合（医療機能区分別）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
大阪府	76.0%	80.9%	80.7%	74.4%
豊能	71.2%	75.8%	75.6%	60.9%
三島	74.8%	80.5%	81.3%	79.2%
北河内	72.8%	80.7%	82.1%	77.1%
中河内	53.9%	66.0%	70.8%	57.5%
南河内	71.9%	78.2%	74.7%	73.0%
堺市	70.1%	77.7%	78.2%	79.2%
泉州	76.4%	81.4%	83.3%	83.4%
大阪市	87.3%	88.3%	85.9%	77.9%

表 2 3. 平成 37 年（2025 年）における二次医療圏間での患者流出入推計値（概要）<sup>1</sup>

	流出入区分	高度急性期～回復期	慢性期
豊能	流入	流出先：大阪市 流入元：三島、兵庫県、北河内	流出先：三島、兵庫県、北河内 流入元：大阪市、中河内
三島	流出	流出先：豊能、大阪市 流入元：北河内、兵庫県、中河内	流出先：北河内、堺市 流入元：豊能、大阪市、兵庫県
北河内	流出	流出先：大阪市、豊能、京都府 流入元：中河内	流出先：大阪市、豊能 流入元：中河内、三島、奈良県
中河内	流出	流出先：大阪市、豊能、北河内 流入元：	流出先：大阪市、北河内、奈良県 流入元：
南河内	流入	流出先：大阪市 流入元：堺市、泉州、和歌山県	流出先：堺市 流入元：和歌山県、中河内、豊能
堺市	流出	流出先：南河内、大阪市、豊能 流入元：泉州	流出先：大阪市、泉州、中河内 流入元：
泉州	流出	流出先：堺市、和歌山県、大阪市 流入元：	流出先：堺市 流入元：和歌山県、大阪市、中河内
大阪市	流入	流出先： 流入元：中河内、豊能、北河内	流出先：堺市、三島、豊能 流入元：泉州、中河内、北河内

1. 「流出＞流入」の二次医療圏を「流出・流出先」  
「流出＜流入」の二次医療圏を「流入・流入元」と定義する。

<患者流出入のイメージ>

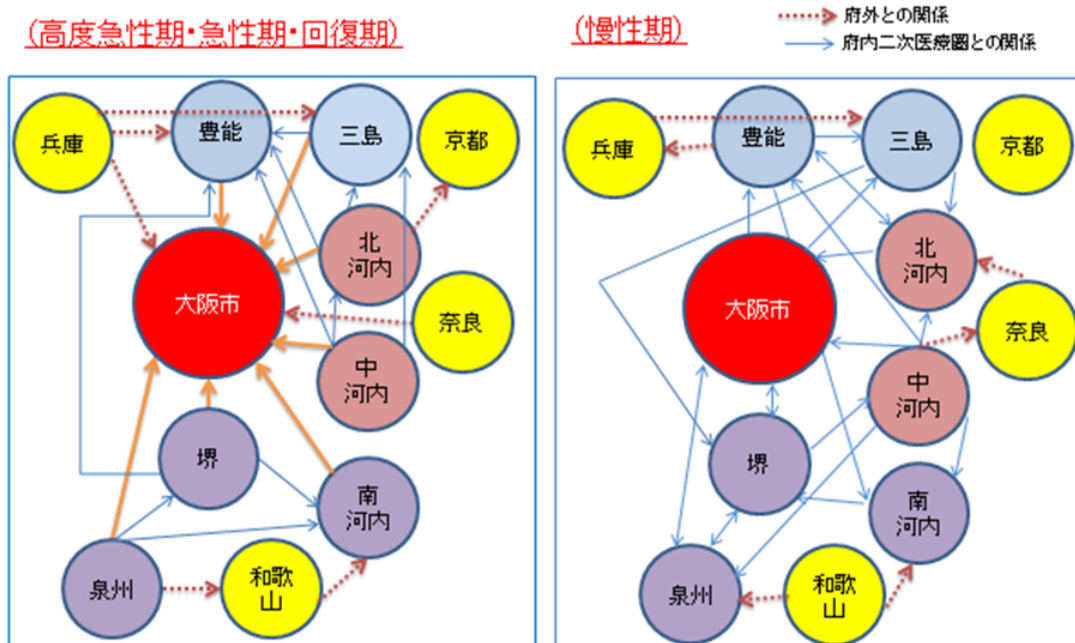


表 2 4. 居住地以外の二次医療圏で入院する患者の割合（患者流出割合）<sup>1</sup>

	0～14 歳	15～59 歳	60～74 歳	75 歳以上
大阪市	2 割強	2 割	1 割強	1 割強
中河内	5 割	4 割	3 割強	3 割弱
その他	北河内、南河内、堺市：3～4 割 豊能、三島、泉州：1～2 割	3～4 割	2～3 割	1～2 割

1. 患者流出割合＝[流出者数（人/日）]÷[在住者（患者住所地）の医療需要]



### (3) 傷病別等による検討（5疾病5事業などの状況）

5疾病5事業などの医療提供状況は表25～27・図2に示したとおりである。

5疾病のうち、精神疾患を除く4疾病及び5事業のうち、救急医療は各圏域内で医療需要に概ね満たされている。（一部、圏域境界に隣接する市区町村間への流出入は見られる。）

5事業のうち、周産期医療、小児医療についても各圏域内で医療需要を概ね満たしているが、一部で専門医療機関での受療を目的とした流出入が見られる。

表25. 居住地で入院する患者の割合（疾病別・事業別）

	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市
がん(1)	72.7%	72.4%	73.3%	48.9%	70.7%	69.6%	70.6%	88.7%
脳卒中(1)	82.6%	76.6%	87.6%	72.7%	84.9%	74.1%	86.9%	89.2%
急性心筋梗塞(1,3)	73.5%	72.3%	78.8%	63.7%	78.6%	75.2%	83.0%	87.2%
糖尿病(2)	73.4%	95.9%	89.8%	67.9%	93.4%	84.0%	93.1%	93.2%
精神疾患(2)	62.5%	84.6%	59.6%	69.0%	69.4%	60.0%	91.3%	6.0%
救急医療(2)	77.9%	84.5%	85.0%	73.2%	79.5%	85.4%	86.4%	90.2%
周産期医療(1,4)	84.8%	85.1%	74.6%	75.5%	89.1%	76.1%	100.0%	87.6%
小児医療(1)	72.1%	73.2%	59.2%	46.8%	76.7%	59.2%	89.8%	79.8%

(1) 支援ツールより算出

(2) データ分析（NDBデータ、データブック）により算出

(3) 急性心筋梗塞の代用として、循環器疾患で算出

(4) NDBデータ利用規則に基づくマスキングデータを除く数字により算定した割合である

表26. 支援ツールによる5疾病の医療需要の検討

		支援ツール	データ分析	利用データ
5疾病	がん	各圏域内で医療需要に概ね満たされている。 （大阪市をはじめ、豊能、南河内への流出が見られる。）	支援ツールによる検討結果と同様である。 （圏域間での流出入の多くは圏域境界に隣接する市区町村間での流出入が見られる）	NDBデータ
	脳卒中	各圏域内で医療需要に概ね満たされている。 （中河内から大阪市への流出が見られる。）	支援ツールによる検討結果と同様である。 （緊急性の高い疾患であり、最寄りの医療機関への搬送が優先されるため、圏域境界に隣接する市区町村間での流出入が見られる。）	NDBデータ
	急性心筋梗塞	医療需要・必要病床数の大部分が10未満のマスキングにより、評価が困難である。 代替として、循環器系疾患全体として評価すると、各圏域内で医療需要に概ね満たされている。 （中河内から大阪市への流出が見られる。）	支援ツールの循環器系疾患全体による検討結果と同様である。 （緊急性の高い疾患であり、最寄りの医療機関への搬送が優先されるため、圏域境界に隣接する市区町村間での流出入が見られる。）	NDBデータ データブック （患者受療 動向可視化 ツール）

糖尿病	MDC 診断群分類による医療需要の算出に限られているため、糖尿病による医療需要を評価できない。	各圏域内で医療需要に概ね満たされている。	NDB データ
精神疾患	支援ツールでは精神病床は算定されず評価できない。	大阪市を除き、各圏域内での医療需要が満たされている。大阪市からは、泉州をはじめ、豊能、三島、中河内、南河内、堺市に流出している。	データブック (患者受療動向可視化ツール)

表 27. 支援ツールによる 5 事業の医療需要の検討

		支援ツール	データ分析	利用データ
5 事業	救急医療	MDC 診断群分類による医療需要の算出に限られているため、救急医療による医療需要を評価できない。	各圏域内で医療需要に概ね満たされている。 (最寄りの医療機関への搬送が優先されるため、圏域境界に隣接する市区町村間での流入が見られる。)	データブック (患者受療動向可視化ツール)
	周産期医療	MDC 診断群分類による医療需要の算出に限られているため、周産期医療による医療需要を評価することは困難である。 代替として、MDC12 及び MDC14 で 0~4 歳、15~59 歳の高度急性期・急性期の条件により周産期医療を想定した場合、各圏域内で医療需要に概ね満たされている。	各圏域内で医療需要に概ね満たされている。 (「北河内、中河内、大阪市」、「堺市、南河内、泉州」の圏域において補完している。)	NDB データ
	小児医療	各圏域内で医療需要に概ね満たされているが、北河内、中河内では、大阪市への流出が多い。堺市では、泉州、南河内への流出が多い。	支援ツールでの検討結果と概ね同様。 (「豊能、三島」、「北河内、中河内、大阪市」、「南河内、堺市、泉州」の圏域において補完している。)	NDB データ
	災害医療	支援ツールでは、非常時の医療需要は算定できない。	NDB データ等の現在取得しているデータでは非常時の医療需要は算定できない。	対象外
	へき地医療	該当地域なし		

## 2. 二次医療圏における医療提供体制の状況および構想区域の設定

### (1) 二次医療圏における医療提供状況

支援ツール及びNDBデータ等によるデータ分析の結果を踏まえ、10年後の疾病・事業別の医療需要の流出入をイメージすると、図4のとおりである。

なお、大阪府における高度急性期については、大学病院や特定機能病院、高度医療を提供する民間医療機関が広く分布しており、構想区域（二次医療圏）間での補完的な医療提供を行っている。

その他の二次医療圏間での補完的な医療提供にあるものも含め、破線により示している。（圏域境界隣接の市区町村間の流出入は、患者の通常的生活圏内での移動等として、二次医療圏間での補完的な医療提供とせず、この図には示していない。）

### (2) 構想区域の設定

二次医療圏を基本として構想区域の検討を行った結果、医療資源が充実し、交通至便で広域的な都市網や生活基盤となるインフラも高度に発達した大阪府においては、医療機能や疾病により圏域を超えた患者の流出入は一部見られるものの、二次医療圏を構想区域とすることに支障はないと考えられる。

図4. 患者の流出入の状況

	機能別		4 疾病				3 事業			
	高度急性期	急性期回復期慢性期	がん	脳卒中	急性心筋梗塞	糖尿病	救急	周産期※	小児※	
豊能医療圏	破線部	破線部	破線部						豊能 三島	
三島医療圏			破線部							
大阪市医療圏			破線部						大阪市 北河内 中河内	大阪市 北河内 中河内
北河内医療圏			破線部							
中河内医療圏			破線部						南河内 堺市 泉州	南河内 堺市 泉州
南河内医療圏			破線部							
堺市医療圏			破線部						南河内 堺市 泉州	南河内 堺市 泉州
泉州医療圏			破線部							

※ 破線部は、二次医療圏間での補完的な医療提供状況である。

（圏域境界隣接の市区町村間の流出入は、患者の通常的生活圏内での移動等として、この図には示していない。）

### 3. 慢性期パターンの選択について

慢性期機能病床数の設定において、厚生労働省地域医療構想ガイドラインでは現行の療養病床の入院受療率の地域差の解消も求めており、具体的に以下の3通りの目標値を示している。

- ・ 各二次医療圏の入院受療率が全国最小値（県単位）まで低下する目標値（パターンA）
- ・ 全国最大値が全国中央値に低下するのと同じ割合で各二次医療圏の入院受療率が低下する目標値（パターンB）
- ・ 高齢者単身世帯が多いなどの条件を満たす場合、パターンBの目標値の達成を5年間延期し、比例的に逆算した目標値（特例：大阪府内では、堺市医療圏、泉州医療圏のみ）

大阪府のパターン選択に当たり、病床機能報告に基づく慢性期病床数と平成37年（2025年）の慢性期病床数の推計を比較すると、パターンによらず慢性期が過剰な圏域と不足する圏域が混在している現状である（表28）。全体の傾向としては、大阪北部で慢性期機能病床が不足している。慢性期機能医療需要および必要病床数は、支援ツールにより推計することが求められていることから、府内では同一パターンの選択が必要であり、大阪府計に基づいて検討を行った（表29）。

表28. 病床機能報告による機能別病床数と支援ツールによる必要病床数推計値の比較  
[必要病床数は医療機関所在地ベース]

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期 <sup>1</sup>	無回答	合計
大阪府	必要病床数 (2013)	10,562	28,156	23,744	24,157		86,619
	病床機能報告数 (2014)	11,587	43,635	7,262	22,987	604	86,075
	必要病床数 (2025)	11,789	35,047	31,364	23,274		101,474
豊能	必要病床数 (2013)	1,294	3,304	2,748	2,169		9,515
	病床機能報告数 (2014)	1,802	3,960	854	1,971	314	8,901
	必要病床数 (2025)	1,436	4,044	3,577	2,421		11,478
三島	必要病床数 (2013)	852	2,255	1,944	1,895		6,946
	病床機能報告数 (2014)	947	3,296	858	1,494	15	6,610
	必要病床数 (2025)	956	2,961	2,786	2,410		9,113
北河内	必要病床数 (2013)	994	3,227	3,150	2,543		9,914
	病床機能報告数 (2014)	894	5,710	863	2,487	8	9,962
	必要病床数 (2025)	1,197	4,319	4,511	3,083		13,110
中河内	必要病床数 (2013)	562	1,857	1,971	1,155		5,545
	病床機能報告数 (2014)	163	3,527	427	1,375	0	5,492
	必要病床数 (2025)	657	2,424	2,759	1,275		7,115
南河内	必要病床数 (2013)	741	2,089	1,468	2,154		6,452
	病床機能報告数 (2014)	1,061	3,452	192	1,953	1	6,659
	必要病床数 (2025)	814	2,515	1,875	1,902		7,106
堺市	必要病床数 (2013)	861	2,529	1,959	3,947		9,296
	病床機能報告数 (2014)	804	3,449	971	3,793	67	9,084
	必要病床数 (2025)	991	3,128	2,571	3,202		9,892
泉州	必要病床数 (2013)	923	2,271	1,979	3,291		8,464
	病床機能報告数 (2014)	612	3,647	935	3,409	39	8,642
	必要病床数 (2025)	993	2,818	2,623	2,523		8,957
大阪市	必要病床数 (2013)	4,335	10,624	8,525	7,003		30,487
	病床機能報告数 (2014)	5,304	16,594	2,162	6,505	160	30,725
	必要病床数 (2025)	4,745	12,838	10,662	6,458		34,703

1. 慢性期は堺市、泉州は特例条件、その他の二次医療圏ではパターンB条件で算出。

※留意すべき点

病床機能報告については、平成26年度から開始された。現在、国において適切な報告に向けた検討が進められており、今後、これらの点も踏まえ、必要病床数との比較検討を行う必要がある。

表 2 9. 慢性期機能病床補正率パターンと病床機能報告における慢性期病床数

	平成 37 年（2025 年）慢性期必要病床数		慢性期病床機能報告 (未報告・無回答按分計上値) (平成 26 年 7 月現在)
	患者住所地ベース	医療機関所在地ベース	
慢性期パターン A	19,533	19,494	24,657
慢性期パターン B	22,937	22,907	
慢性期パターン B+特例	23,326	23,274	

その結果、患者住所地・医療機関所在地によらず、病床機能報告における慢性期病床数と「パターン B + 特例」による必要病床数が最も近い数字となることから、大阪府では「パターン B + 特例」を採用する。

従って、各圏域の慢性期病床のパターン選択は、「パターン B：豊能・三島・北河内・中河内・南河内・大阪市」、「特例：堺市・泉州」が妥当であると考えられる。

#### 4. 平成 37 年（2025 年）医療需要、必要病床数について

##### (1) 医療需要・必要病床数算定の方法

今回の検討結果より、支援ツールによる患者受療動向と NDB データ分析等による患者受療動向には著しい差異を認めていないことから、支援ツールにより算出された 2025 年医療需要および必要病床数を用いて、地域医療構想を策定することは妥当である。

また、各医療機関に対する個人の評価等が広く伝播していること、医療機関への交通アクセスが充実していることなどから、患者の受療行動を行政的に変容させることは極めて困難であることから、今後の医療提供体制の変化の影響は否定できないものの、現状においては高度急性期、急性期、回復期、慢性期の必要病床数は「医療機関所在地」の推計値を想定することが妥当である。

慢性期パターンについては、前述のとおり、パターン B は、「豊能・三島・北河内・中河内・南河内・大阪市」、パターン B の特例パターンは、「堺市・泉州」が妥当である。

一方、在宅医療等については自宅等の居住地により提供されるべきであることから、在宅医療等の医療需要については「患者住所地」の推計値を用いることが妥当である。

##### (2) 医療需要・必要病床数の算定

大阪府における 2025 年医療需要および必要病床数の推計値は、上記の方法により算定し、表 2 3 を基本とするのが妥当である。

今回の算定結果に、今後、厚生労働省が定めるルールに基づく都道府県間調整等を行い、医療需要・必要病床数を決定することになる。

また、慢性期病床補正率に特例パターンを選択する堺市、泉州については、法令等に基づく 2030 年慢性期医療需要および必要病床数（パターン B）の算定結果は表 2 3 のとおりとなる。

### (3) 病床の整備・機能分化

府内総数の平成 37 年（2025 年）の必要病床数と平成 26 年度（2014 年度）の病床機能報告を比較すると、機能別では、急性期が過剰であり、回復期が不足となっている。

ただし、病床機能報告については、昨年度から開始されたものであり、現在、国においては適切な報告に向けた検討が進められている。今後、これらの点も踏まえ、必要病床数との比較検討を行う必要がある。

（約 16,000 床不足から病床機能報告の未回答・無回答約 6,000 床を差し引きしている点に留意）

表 3 0. 府内総数の必要病床数と病床機能報告

	平成 37 年（2025 年） 必要病床数（床）	病床機能報告（床）（26 年 7 月）	差（床）
高度急性期	11,789	11,587	△202
急性期	35,047	43,635	+8,588
回復期	31,364	7,262	△24,102
慢性期	23,274	22,987	△287
計	101,474	85,471	△16,003（※）

※ 病床機能報告制度は 26 年度（2014 年度）から実施されたが、約 6,000 床が未報告又は無回答。

表 3 1. 平成 37 年（2025 年）医療需要および必要病床数推計（上段：人／日、下段：床）

		高度急性期 （医療機関 所在地）	急性期 （医療機関 所在地）	回復期 （医療機関 所在地）	慢性期※ （医療機関 所在地）	小計	在宅医療等 （患者 住所地）	合計
大阪府	医療需要	8,842	27,335	28,228	21,411	85,816	160,491	246,307
	必要病床数	11,789	35,047	31,364	23,274	101,474		101,474
豊能	医療需要	1,077	3,154	3,219	2,227	9,677	18,650	28,327
	必要病床数	1,436	4,044	3,577	2,421	11,478		11,478
三島	医療需要	717	2,309	2,507	2,217	7,750	12,740	20,490
	必要病床数	956	2,961	2,786	2,410	9,113		9,113
北河内	医療需要	897	3,369	4,060	2,837	11,163	20,066	31,229
	必要病床数	1,197	4,319	4,511	3,083	13,110		13,110
中河内	医療需要	493	1,890	2,483	1,173	6,039	15,409	21,448
	必要病床数	657	2,424	2,759	1,275	7,115		7,115
南河内	医療需要	611	1,962	1,688	1,750	6,011	11,897	17,908
	必要病床数	814	2,515	1,875	1,902	7,106		7,106
堺市	医療需要	744	2,440	2,314	2,945	8,443	18,182	26,625
	必要病床数	991	3,128	2,571	3,202	9,892		9,892
泉州	医療需要	745	2,198	2,361	2,321	7,625	15,564	23,189
	必要病床数	993	2,818	2,623	2,523	8,957		8,957
大阪市	医療需要	3,558	10,013	9,596	5,941	29,108	47,983	77,091
	必要病床数	4,745	12,838	10,662	6,458	34,703		34,703

※ 慢性期医療需要、必要病床数は、パターン B（豊能、三島、北河内、中河内、南河内、大阪市）、特例（堺市、泉州）により算出している。

（注）在宅医療等の医療需要については、在宅医療等を必要とする対象者を表しており、実際には全員が 1 日に医療提供を受けるものではない。その患者の受ける医療の頻度等によって医療提供体制は異なる。

表 3 2. 特例を選択した二次医療圏における平成 42 年（2030 年）慢性期医療需要および必要病床数

		平成 37 年(2025 年) 特例	平成 42 年(2030 年) パターン B
堺市	医療需要	2,945	3,073
	必要病床数	3,202	3,340
泉州	医療需要	2,321	2,312
	必要病床数	2,523	2,513

第3章  
大阪府における  
医療需要予測のための基礎的分析



# I. 特定健診・特定保健指導データによる大阪府民の健康評価

大阪府における医療需要は、現在および今後の府民の健康状態により増減することが予想される。そのため、地域医療構想における構想区域・市町村での医療需要の予測ならびに医療需要増加の抑制に向けた対策の検討に当たり、現在の大阪府民の健康状態を把握することが必要である。そこで、今後の医療需要の検討材料として、特定健診・特定保健指導データを分析し、大阪府民の健康状態の評価を行った。

## NDB データ分析結果の公表におけるマスキング処理

市町村別（市郡別）集計では 100 未満の数値、二次医療圏別集計では 10 未満の数値について NDB データ公表の規定に従い、マスキング処理（セル内の数値の削除およびセルの黒塗り）を行った。

### 1. 特定健診・特定保健指導データ分析

対象

- ・平成 20～25 年度特定健診受診者
- ・国保（市町村国保、国保組合）、協会けんぽ、健保組合、共済組合に加入し、特定健診データにおける郵便番号が大阪府内となっている者

集計方法

特定健診受診者数、特定保健指導該当者数・利用者数・終了者数、高血圧（140/90 以上または高血圧治療中）、高 LDL コレステロール血症（140mg/dl 以上または脂質異常症治療中）、糖尿病（HbA1c 6.5%以上または糖尿病治療中）、メタボリックシンドローム予備群・該当者、喫煙者の各項目について、マスキングが少なくなるような以下の区分の組合せにより集計を行った。

- ・地区別：市町村別、市郡別または圏域別
- ・保険者種別：国保、協会けんぽ、健保組合および共済組合
- ・年齢階級別：2 区分（40～64 歳、65～74 歳）、4 区分（40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70～74 歳）

帳票一覧

表 3 3.	市町村別・保険者別特定健診受診者数
表 3 4.	市町村別特定保健指導該当者数
表 3 5.	市郡別特定保健指導利用者数
表 3 6.	圏域別、保険者種別特定保健指導該当者数
表 3 7.	圏域別、保険者種別特定保健指導利用者数
表 3 8.	圏域別、保険者種別特定保健指導終了者数
表 3 9.	性・年齢階級別、市町村別の特定健診受診者数
表 4 0.	特定健診受診者における性・年齢階級別、市郡別の高血圧の人数
表 4 1.	特定健診受診者における性・年齢階級別、市郡別の高 LDL コレステロール血症の人数
表 4 2.	特定健診受診者における性・年齢階級別、圏域別の糖尿病の人数
表 4 3.	特定健診受診者における性・年齢階級別、市郡別のメタボリックシンドローム予備群の人数
表 4 4.	特定健診受診者における性・年齢階級別、市郡別のメタボリックシンドローム該当者の人数
表 4 5.	特定健診受診者における性・年齢階級別、市郡別の喫煙者数
表 4 6.	性・年齢階級別、保険者種別、圏域別の特定健診受診者数
表 4 7.	特定健診受診者における性・年齢階級別、保険者種別、圏域別の高血圧の人数
表 4 8.	特定健診受診者における性・年齢階級別、保険者種別、圏域別の高 LDL コレステロール血症の人数
表 4 9.	特定健診受診者における性・年齢階級別、保険者種別、圏域別の糖尿病の人数
表 5 0.	特定健診受診者における性・年齢階級別、保険者種別、圏域別のメタボリックシンドローム予備群の人数
表 5 1.	特定健診受診者における性・年齢階級別、保険者種別、圏域別のメタボリックシンドローム該当者の人数
表 5 2.	特定健診受診者における性・年齢階級別、保険者種別、圏域別の喫煙者数



表34. 市町村別特定保健指導該当者数

		H20	H21	H22	H23	H24	H25
豊能	豊中市	8,014	7,814	9,890	10,341	10,369	10,592
	池田市	3,704	3,719	3,564	3,102	3,000	2,816
	吹田市	10,885	11,253	10,994	11,440	11,488	11,882
	箕面市	2,737	3,028	3,039	3,202	3,241	3,297
	豊能町	700	716	734	706	721	717
	能勢町	428	429	462	492	449	280
三島	高槻市	9,428	10,394	10,286	10,754	10,614	9,769
	茨木市	5,120	5,693	6,013	6,093	6,495	7,239
	摂津市	2,537	2,511	2,813	2,921	3,480	2,728
	島本町	729	733	711	760	786	765
北河内	守口市	5,165	4,519	6,040	4,707	4,649	4,663
	枚方市	6,627	7,113	7,452	8,655	8,161	8,280
	寝屋川市	3,508	3,788	4,221	4,345	4,571	4,838
	大東市	2,093	2,276	2,399	2,496	2,744	3,452
	門真市	3,728	4,260	4,617	4,777	4,380	5,140
	四條畷市	695	748	826	888	935	1,252
	交野市	1,433	1,543	1,580	1,662	1,740	1,961
	中河内	八尾市	4,473	4,966	5,111	5,522	5,537
柏原市	1,542	1,634	1,700	1,714	1,858	1,806	
東大阪市	7,190	8,156	8,940	9,775	10,737	12,553	
南河内	富田林市	1,923	2,038	2,079	2,255	2,250	2,774
	河内長野市	2,125	2,128	2,180	2,248	2,144	2,743
	松原市	1,776	1,976	1,933	1,965	2,372	2,724
	羽曳野市	1,839	1,921	2,471	2,507	2,617	2,602
	藤井寺市	1,319	1,294	1,315	1,312	1,340	1,280
	大阪狭山市	810	991	973	1,111	1,127	1,336
	太子町	214	241	274	268	301	366
	河南町	374	380	375	390	396	424
	千早赤阪村	117	143	138	113	134	154
堺市	17,924	18,118	19,041	20,381	20,254	19,935	
泉州	岸和田市	3,170	3,454	3,448	3,588	3,861	4,367
	泉大津市	1,412	1,491	1,510	1,624	1,741	1,758
	貝塚市	1,529	1,625	1,712	1,850	1,904	2,113
	泉佐野市	2,089	2,237	2,293	2,354	2,362	2,542
	和泉市	4,226	4,013	4,005	4,319	4,521	4,643
	高石市	1,160	1,212	1,171	1,195	1,129	1,241
	泉南市	1,082	1,092	1,193	1,282	1,342	1,598
	阪南市	1,195	1,207	1,278	1,310	1,302	1,500
	忠岡町	355	348	380	375	369	361
	熊取町	1,008	964	994	1,013	1,102	1,116
	田尻町	126	118	137	135	148	169
	岬町	287	315	300	297	307	387
大阪市	78,232	85,343	85,520	86,908	88,656	96,630	

表 3 5 . 市郡別特定保健指導利用者数

		H20	H21	H22	H23	H24	H25
豊能	豊中市	394	799	968	932	1,413	1,595
	池田市		265	225	176	241	296
	吹田市	531	752	934	957	1,358	1,404
	箕面市	276	285	341	292	452	502
	豊能郡				108	115	116
三島	高槻市	430	870	1,226	1,035	1,598	1,695
	茨木市	221	620	749	766	1,009	1,102
	摂津市	138	169	206	289	334	301
	三島郡					135	124
北河内	守口市	369	245	737	551	722	421
	枚方市	184	847	895	788	1,085	1,137
	寝屋川市		226	312	349	398	497
	大東市	201	209	294	341	399	398
	門真市	431	413	874	614	747	866
	四條畷市				102	122	129
	交野市	151	173	247	288	433	436
中河内	八尾市	248	424	372	538	573	671
	柏原市	337	411	449	135	316	405
	東大阪市	523	815	824	819	1,084	1,209
南河内	富田林市	122	156	212	190	251	288
	河内長野市	242	209	307	282	332	313
	松原市	118	164	185	232	303	296
	羽曳野市	131	180	285	200	320	343
	藤井寺市			124	140	187	188
	大阪狭山市	121	156	158	111	202	223
	南河内郡						110
堺市	482	798	1,061	1,572	1,768	1,976	
泉州	岸和田市	294	372	387	331	485	505
	泉大津市		160	118	126	214	225
	貝塚市	384	349	348	242	429	411
	泉佐野市		116	190	190	276	277
	和泉市	333	272	345	360	423	449
	高石市	107	121	120	120	188	181
	泉南市		117	134	117	182	185
	阪南市	165	127	214	174	235	344
泉北郡・泉南郡	165	253	235	208	267	284	
大阪市	2,299	4,468	5,419	6,725	7,564	8,397	

※ (黒塗りのセル) は 100 未満 (0~99) を意味する。

表36. 圏域別、保険者種別特定保健指導該当者数

	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度			
	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合
豊能	9,065	2,800	12,969	1,626	8,069	2,978	13,948	1,944	8,937	3,542	13,464	2,724	9,113	3,817	13,291	3,047	8,700	4,063	13,553	2,937	8,290	4,653	13,644	2,985
三島	5,922	1,911	8,924	1,054	6,106	2,237	9,787	1,199	5,982	2,594	9,231	2,015	5,892	2,902	9,596	2,136	5,887	3,505	9,994	1,987	5,253	3,948	9,350	1,948
北河内	4,059	2,977	14,555	1,656	4,526	3,059	14,748	1,900	4,677	3,354	15,656	3,433	5,129	3,907	14,961	3,522	4,874	4,425	14,505	3,362	6,759	5,107	14,574	3,135
中河内	2,856	3,038	6,284	1,024	3,298	3,248	7,138	1,070	3,268	3,937	6,830	1,714	3,526	4,268	7,430	1,786	3,719	5,090	7,525	1,795	5,607	5,786	7,622	1,699
南河内	2,394	1,211	5,562	1,324	2,347	1,250	6,118	1,394	2,842	1,339	5,193	2,360	2,768	1,562	5,464	2,373	2,951	1,855	5,527	2,346	4,581	2,127	5,438	2,255
堺市	6,499	2,540	7,633	1,240	5,928	2,638	8,103	1,444	6,176	2,992	7,417	2,442	6,237	3,284	8,285	2,561	6,084	3,534	8,161	2,461	5,107	4,085	8,390	2,341
泉州	5,249	2,208	8,570	1,603	4,728	2,412	9,304	1,619	4,712	2,504	8,180	3,009	4,796	2,651	8,588	3,290	4,953	2,878	8,897	3,347	6,135	3,448	8,966	3,219
大阪市	7,345	25,760	37,682	7,282	8,431	27,177	41,016	8,485	8,280	28,742	42,083	6,142	8,448	28,837	43,502	5,912	8,189	32,239	42,900	5,176	13,517	36,857	41,725	4,356

表37. 圏域別、保険者種別特定保健指導利用者数

	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度			
	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合
豊能	834	49	424	19	780	34	1,323	21	723	32	1,711	76	339	180	1,750	196	941	203	2,174	261	1,079	274	2,267	293
三島	523	36	267		805	37	879	23	991	52	1,160	56	491	163	1,410	118	975	420	1,545	136	1,140	396	1,496	190
北河内	474	57	935		638	18	1,481	26	955	38	2,366	97	598	139	2,102	194	1,045	223	2,379	259	675	316	2,594	299
中河内	797	52	250		958	46	629	17	647	50	891	57	246	198	932	116	570	218	1,044	141	669	292	1,140	184
南河内	608	29	131	10	489	12	453	15	518	14	731	77	329	30	714	144	567	55	864	199	607	66	861	227
堺市	281	30	161	10	172	18	588	20	135	13	853	60	200	85	1,142	145	223	132	1,233	180	158	189	1,383	246
泉州	1,458	48	194		1,155	36	664	32	1,043	26	921	101	502	103	1,037	226	974	104	1,341	280	970	132	1,382	377
大阪市	490	523	1,004	282	688	218	3,225	337	435	278	4,524	182	373	1,164	4,896	292	582	1,446	5,061	475	503	1,964	5,378	552

※ (黒塗りのセル) は10未満(0~9)を意味する。

表38. 圏域別、保険者種別特定保健指導終了者数

	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度			
	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合	国保	協会けんぽ	健保組合	共済組合
豊能	118	32	215	10	147		750	11	110	12	847	32	83	86	880	68	124	102	1,073	96	125	122	1,080	112
三島	89	23	120		105		518	13	129	24	636	20	77	96	722	47	191	217	771	36	180	190	778	74
北河内	64	45	347		121		734	12	198	18	1,111	19	169	91	1,034	48	228	125	1,142	78	133	185	1,236	119
中河内	150	43	132		175	15	374	13	101	29	536	21	58	102	463	35	97	119	582	42	121	159	650	77
南河内	63	21	66		74		239	12	62		409	15	47	20	357	41	89	23	427	63	83	32	463	79
堺市	34	18	67		42	11	312	11	33		479	15	42	50	541	29	66	83	571	48	37	96	699	96
泉州	198	36	90		172	20	374	23	147	14	524	21	78	65	558	43	154	45	663	62	162	50	717	128
大阪市	81	375	495		253	86	1,724	47	145	143	2,518	48	147	625	2,538	77	220	736	2,755	178	176	1,016	2,974	254

※ (黒塗りのセル) は10未満(0~9)を意味する。









表 4 2. 特定健診受診者における性・年齢階級別、圏域別の糖尿病の人数

		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
		40～64 歳	65～74 歳	40～64 歳	65～74 歳	40～64 歳	65～74 歳	40～64 歳	65～74 歳	40～64 歳	65～74 歳	40～64 歳	65～74 歳
豊能	男性	3,063	2,247	3,526	2,575	3,893	2,881	4,218	2,774	3,928	2,861	3,816	2,689
	女性	1,224	1,732	1,332	1,958	1,358	2,175	1,358	2,046	1,258	2,064	1,103	2,019
三島	男性	2,174	1,417	2,520	1,598	2,831	1,867	3,051	1,956	3,126	2,137	2,828	2,011
	女性	838	985	910	1,151	1,009	1,304	933	1,363	996	1,540	871	1,419
北河内	男性	2,854	2,198	3,410	2,414	4,300	2,841	4,240	2,990	4,264	3,305	3,924	2,837
	女性	1,387	1,746	1,400	1,890	1,661	2,150	1,622	2,198	1,720	2,691	1,350	2,266
中河内	男性	1,909	1,236	2,161	1,484	2,413	1,550	2,731	1,529	2,765	1,843	2,655	1,815
	女性	854	1,091	888	1,251	938	1,325	908	1,324	951	1,645	884	1,668
南河内	男性	1,904	1,299	2,077	1,359	2,191	1,500	2,389	1,476	2,423	1,855	2,183	1,633
	女性	879	1,053	802	1,057	858	1,168	796	1,159	883	1,420	760	1,202
堺市	男性	2,416	1,511	2,576	1,426	2,842	1,683	3,173	1,737	3,005	1,970	2,972	1,758
	女性	994	1,181	997	1,040	1,050	1,300	1,041	1,274	1,034	1,533	961	1,399
泉州	男性	2,450	1,667	2,705	1,754	3,020	1,833	3,377	1,870	3,458	2,215	3,287	1,987
	女性	1,139	1,305	1,045	1,240	1,118	1,335	1,108	1,302	1,154	1,621	993	1,446
大阪市	男性	10,541	3,031	11,755	2,844	12,371	3,190	12,962	3,624	12,416	3,949	12,248	3,997
	女性	3,908	2,351	4,173	1,970	4,814	2,421	4,651	2,486	4,524	2,968	4,092	2,559

※糖尿病は HbA1c 6.5%以上、または糖尿病治療中とした。























## 2. 特定保健指導実施による前後での健康指標の変化の分析

### 対象

- ・市町村国保、国保組合、協会けんぽ、健保組合、共済組合に加入し、特定健診データにおける郵便番号が大阪府内となっている特定健診受診者
- ・平成 22 年度および平成 23 年度で連続して特定健診を受診している者

### 集計方法

- ・平成 22 年度の特定健診および特定保健指導の結果より、「特定保健指導対象外（服薬なし）」、「特定保健指導対象外（服薬あり）」、「特定保健指導対象者（利用せず）」、「特定保健指導対象者（終了せず）」、「特定保健指導対象者（終了）」の 5 群に分類した。  
※「服薬あり」は血圧、血糖、脂質のいずれかにおいて服薬している者とした。
- ・各群における平成 22 年度および平成 23 年度の特定健診結果から高血圧（140/90 以上）、糖尿病（HbA1c 6.5%以上）、高 LDL コレステロール血症（LDL コレステロール値 140mg/dL 以上）、喫煙者の人数を集計した。

### 帳票一覧

表 5 3.	平成 22、23 年度の特定保健指導該当・実施状況別の 2 年連続特定健診受診者数（圏域別）
表 5 4.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高血圧の人数（圏域別）
表 5 5.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高 LDL コレステロール血症の人数（圏域別）
表 5 6.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の糖尿病の人数（圏域別）
表 5 7.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の喫煙者数（圏域別）
表 5 8.	平成 22、23 年度の特定保健指導該当・実施状況別の 2 年連続特定健診受診者数（保険者種別）
表 5 9.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高血圧の人数（保険者種別）
表 6 0.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高 LDL コレステロール血症の人数（保険者種別）
表 6 1.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の糖尿病の人数（保険者種別）
表 6 2.	平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の喫煙者数（保険者種別）

表 5 3. 平成 22、23 年度の特定保健指導該当・実施状況別の 2 年連続特定健診受診者数（圏域別）

			特定保健指導対象外		特定保健指導対象		
			服薬なし	服薬あり	利用せず	終了せず	終了
豊能	40～64 歳	男性	36,228	75	13,092	459	545
		女性	32,850	258	2,303	78	20
	64～74 歳	男性	11,199	21	1,877	203	
		女性	16,247	48	1,016	97	
三島	40～64 歳	男性	24,656	581	8,778	318	415
		女性	20,114	1,246	1,512	91	34
	64～74 歳	男性	6,675	1,515	1,526	291	
		女性	9,018	2,167	716	140	
北河内	40～64 歳	男性	31,343	3,616	11,196	492	561
		女性	25,419	6,166	2,146	73	59
	64～74 歳	男性	5,196	7,474	977	214	
		女性	6,801	10,719	481	103	
中河内	40～64 歳	男性	21,418	407	7,943	245	381
		女性	15,747	826	1,250	60	28
	64～74 歳	男性	2,669	857	498	101	
		女性	3,507	1,504	231	51	
南河内	40～64 歳	男性	17,504	1,366	6,005	222	265
		女性	14,514	2,999	1,066	45	25
	64～74 歳	男性	3,779	3,552	621	80	
		女性	5,199	4,991	257	46	
堺市	40～64 歳	男性	25,077	43	8,946	239	332
		女性	21,375	92	1,717	44	21
	64～74 歳	男性	6,800	53	1,394	38	
		女性	9,696	70	940	11	
泉州	40～64 歳	男性	26,136	1,053	9,454	353	399
		女性	20,780	2,114	1,501	91	40
	64～74 歳	男性	5,713	2,256	944	262	
		女性	7,470	3,179	396	113	
大阪市	40～64 歳	男性	121,955	5,417	44,835	1,070	1,640
		女性	99,354	8,869	8,946	331	163
	64～74 歳	男性	9,547	5,324	2,001	79	
		女性	9,217	8,841	738	22	

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

表 5 4. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高血圧の人数  
(圏域別)

高血圧			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
豊能	40～64 歳	男性	5,960	6,252	21	13	3,892	3,705	103	111	159	160
		女性	3,530	3,622	34	32	786	710	26	23		10
	64～74 歳	男性	3,576	3,567	11		752	684	75	80		
		女性	4,664	4,597	17	18	416	367	45	38		
三島	40～64 歳	男性	4,371	4,497	167	166	2,877	2,776	79	77	139	112
		女性	2,333	2,338	231	223	518	481	32	36	15	
	64～74 歳	男性	2,205	2,299	467	422	670	630	145	125		
		女性	2,702	2,632	539	527	318	299	78	66		
北河内	40～64 歳	男性	5,745	6,056	1,168	1,139	3,770	3,645	140	147	214	192
		女性	2,861	2,986	1,420	1,439	777	713	20	17	32	22
	64～74 歳	男性	1,696	1,678	2,838	2,728	417	415	94	82		
		女性	1,879	1,872	3,425	3,296	198	193	47	39		
中河内	40～64 歳	男性	3,721	3,907	109	116	2,373	2,325	74	61	132	125
		女性	1,518	1,540	173	171	406	371	17	16	13	14
	64～74 歳	男性	808	773	321	284	206	175	33	34		
		女性	926	937	490	478	100	82	23	20		
南河内	40～64 歳	男性	3,130	3,334	390	339	1,847	1,796	75	81	95	98
		女性	1,639	1,651	582	594	365	317	16	14		
	64～74 歳	男性	1,093	1,102	1,117	1,066	226	204	30	33		
		女性	1,334	1,310	1,427	1,377	121	116	20	16		
堺市	40～64 歳	男性	4,587	4,926	16		2,953	2,838	49	52	104	105
		女性	2,427	2,479	17	18	617	574	13	13	12	15
	64～74 歳	男性	2,160	2,107	22	22	598	582	11	11		
		女性	2,705	2,618	28	23	445	371				
泉州	40～64 歳	男性	4,969	5,300	295	311	3,131	3,042	90	92	149	145
		女性	2,500	2,565	502	509	531	496	37	38	18	16
	64～74 歳	男性	2,078	2,060	750	754	435	387	115	114		
		女性	2,297	2,249	999	941	190	160	52	51		
大阪市	40～64 歳	男性	20,089	21,092	1,750	1,612	13,398	12,935	240	263	522	506
		女性	8,385	8,543	1,738	1,703	2,708	2,509	86	92	68	68
	64～74 歳	男性	2,990	2,721	1,906	1,780	819	707	26	28		
		女性	2,354	2,077	2,510	2,364	332	275				

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

※高血圧は最大血圧 140mmHg 以上、最小血圧 90mmHg 以上、または高血圧治療中とした。

表 5 5. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高 LDL コレステロール血症の人数（圏域別）

高 LDL コレステロール血症			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
豊能	40～64 歳	男性	9,799	9,844	26	24	5,310	5,087	181	185	208	219
		女性	8,964	9,271	58	78	1,085	1,057	36	45	12	11
	64～74 歳	男性	2,697	2,512			617	568	66	63		
		女性	5,611	5,408	12	12	477	403	51	44		
三島	40～64 歳	男性	6,682	6,818	143	131	3,618	3,380	133	142	178	164
		女性	5,630	5,676	446	425	751	724	49	44	23	22
	64～74 歳	男性	1,602	1,463	310	278	483	447	119	98		
		女性	3,134	2,873	704	607	293	254	70	62		
北河内	40～64 歳	男性	8,568	8,472	1,082	993	4,721	4,524	211	189	225	216
		女性	7,056	7,078	2,250	2,153	1,045	1,013	28	31	35	32
	64～74 歳	男性	1,140	1,048	1,903	1,715	324	304	79	63		
		女性	2,204	1,992	3,686	3,456	241	214	56	47		
中河内	40～64 歳	男性	6,001	5,881	127	123	3,432	3,326	102	94	166	173
		女性	4,409	4,419	316	276	636	597	31	33	15	17
	64～74 歳	男性	625	571	244	187	178	158	36	39		
		女性	1,257	1,191	592	484	146	116	25	25		
南河内	40～64 歳	男性	4,891	4,848	330	304	2,560	2,430	87	78	114	99
		女性	4,205	4,187	906	903	563	529	24	24	13	11
	64～74 歳	男性	897	863	722	704	220	216	29	28		
		女性	1,801	1,645	1,435	1,379	133	114	28	23		
堺市	40～64 歳	男性	6,636	6,734	15		3,615	3,449	96	103	144	121
		女性	5,721	5,882	30	22	834	790	20	24	14	13
	64～74 歳	男性	1,531	1,486	14	13	425	391	17	16		
		女性	3,210	3,053	23	17	406	345				
泉州	40～64 歳	男性	6,802	6,849	274	231	3,901	3,732	137	136	166	145
		女性	5,573	5,722	702	638	757	708	50	53	27	22
	64～74 歳	男性	1,291	1,182	491	431	309	284	112	100		
		女性	2,452	2,239	996	936	205	175	74	66		
大阪市	40～64 歳	男性	32,702	33,027	1,697	1,610	18,402	17,848	430	408	697	644
		女性	26,022	27,442	3,202	3,060	4,537	4,444	171	175	87	81
	64～74 歳	男性	2,323	2,259	1,378	1,279	720	712	39	40		
		女性	3,435	3,330	3,225	2,963	413	389				

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

※高 LDL コレステロール血症は LDL コレステロール値 140mg/dl 以上、または脂質異常症治療中とした。

表 5 6 . 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の糖尿病の人数  
(圏域別)

糖尿病			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
豊能	40～64 歳	男性	1,934	2,127			741	827	18	11	31	44
		女性	754	781			153	164				
	64～74 歳	男性	1,577	1,582			228	223	30	28		
		女性	1,296	1,302			93	80				
三島	40～64 歳	男性	1,364	1,528	56	64	502	598	13	17	20	20
		女性	449	498	68	68	98	107				
	64～74 歳	男性	778	811	165	178	179	195	26	25		
		女性	549	581	159	167	68	77				
北河内	40～64 歳	男性	1,652	1,835	373	387	636	786	13	16	30	41
		女性	525	578	328	356	114	130				
	64～74 歳	男性	613	632	952	1,029	89	97	17	18		
		女性	437	482	803	847	27	38				
中河内	40～64 歳	男性	988	1,114	45	40	413	486		14	27	35
		女性	309	331	40	39	68	78				
	64～74 歳	男性	254	266	93	85	33	32	14	14		
		女性	269	263	93	88	21	20				
南河内	40～64 歳	男性	1,049	1,200	127	135	370	433		10	18	28
		女性	335	341	152	141	60	64				
	64～74 歳	男性	476	467	407	414	45	41				
		女性	355	383	363	352	20	21				
堺市	40～64 歳	男性	1,412	1,575			552	611			27	34
		女性	537	559			131	140				
	64～74 歳	男性	868	882	10	11	180	184				
		女性	698	663		10	100	96				
泉州	40～64 歳	男性	1,484	1,689	124	126	521	668		11	31	37
		女性	496	524	108	118	92	99				
	64～74 歳	男性	714	734	327	327	97	93	24	20		
		女性	562	544	232	229	27	28				
大阪市	40～64 歳	男性	5,652	6,246	558	605	2,106	2,419	25	38	106	135
		女性	2,133	2,295	431	439	575	705	24	27	23	26
	64～74 歳	男性	931	941	741	762	139	146				
		女性	577	572	600	667	53	42				

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。  
 ※糖尿病は HbA1c 6.5%以上、または糖尿病治療中とした。



表 5 7. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の喫煙者数（圏域別）

喫煙			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
豊能	40～64 歳	男性	12,331	11,561	19	16	4,799	4,555	42	42	261	241
		女性	3,090	2,845	18	19	249	235				
	64～74 歳	男性	2,155	1,949			392	367	29	28		
		女性	579	519			54	47				
三島	40～64 歳	男性	9,054	8,527	160	136	3,544	3,320	37	31	209	183
		女性	2,033	1,912	73	66	175	158				
	64～74 歳	男性	1,282	1,146	334	291	326	294	58	50		
		女性	271	245	71	63	30	22				
北河内	40～64 歳	男性	12,069	11,341	1,254	1,185	4,457	4,251	56	60	266	240
		女性	3,017	2,814	563	530	267	269			10	11
	64～74 歳	男性	1,106	995	1,778	1,627	202	184	41	32		
		女性	265	237	458	421	32	28				
中河内	40～64 歳	男性	8,692	8,170	125	115	3,418	3,245	21	23	211	196
		女性	2,118	1,988	55	52	161	152				
	64～74 歳	男性	580	544	185	155	109	108	21	20		
		女性	109	107	45	39	19	15				
南河内	40～64 歳	男性	6,436	6,031	409	380	2,334	2,193	17	22	130	118
		女性	1,566	1,455	201	199	108	109				
	64～74 歳	男性	777	693	634	589	117	98	12	12		
		女性	178	160	166	157	10					
堺市	40～64 歳	男性	9,443	8,891	17	14	3,723	3,517	22	25	161	151
		女性	2,424	2,306	14	14	199	187				
	64～74 歳	男性	1,281	1,133	10		269	257				
		女性	322	278			34	33				
泉州	40～64 歳	男性	10,352	9,787	362	330	3,917	3,688	29	32	210	196
		女性	2,286	2,168	165	156	167	155				
	64～74 歳	男性	1,258	1,164	561	500	234	216	52	47		
		女性	276	251	117	121	14	12				
大阪市	40～64 歳	男性	47,326	44,630	1,903	1,761	18,542	17,579	95	92	881	799
		女性	18,108	17,222	1,185	1,098	1,832	1,749	27	25	43	40
	64～74 歳	男性	2,321	2,145	1,306	1,159	516	472	17	16		
		女性	520	486	470	419	44	38				

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

表 5 8. 平成 22、23 年度の特定保健指導該当・実施状況別の 2 年連続特定健診受診者数（保険者種別）

			特定保健指導対象外		特定保健指導対象		
			服薬なし	服薬あり	利用せず	終了せず	終了
国保	40～64 歳	男性	27,984	12,014	9,725	329	399
		女性	49,037	21,602	3,653	266	124
	64～74 歳	男性	40,017	21,035	7,347	1,172	
		女性	59,459	31,398	4,137	577	
協会けんぽ	40～64 歳	男性	69,362		27,272	116	155
		女性	46,187		3,841	17	
	64～74 歳	男性	5,667		1,294	24	
		女性	3,301		287		
健保組合	40～64 歳	男性	167,709	336	57,015	2,584	3,875
		女性	124,820	439	10,601	497	241
	64～74 歳	男性	5,416		1,064	67	
		女性	3,762	30	297		
共済組合	40～64 歳	男性	39,018	208	16,063	365	109
		女性	30,106	529	2,346	33	17
	64～74 歳	男性	469	11	129		
		女性	633	91	54		

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

表 5 9. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高血圧の人数（保険者種別）

高血圧			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
国保	40～64 歳	男性	6,158	6,257	3,750	3,553	3,363	3,107	88	88	167	146
		女性	8,342	8,226	4,566	4,557	1,407	1,253	82	84	67	49
	64～74 歳	男性	13,451	13,245	7,427	7,059	3,182	2,921	508	480		
		女性	17,087	16,473	9,403	8,993	1,856	1,630	276	236		
協会けんぽ	40～64 歳	男性	11,720	12,302			8,276	8,082	26	33	53	56
		女性	4,320	4,461			1,319	1,209				
	64～74 歳	男性	1,614	1,579			501	454				
		女性	791	806			129	111				
健保組合	40～64 歳	男性	27,714	29,246	139	120	17,265	16,633	621	649	1,261	1,217
		女性	10,241	10,656	65	69	3,276	3,053	150	150	99	98
	64～74 歳	男性	1,382	1,353			394	351	12	20		
		女性	836	846			113	105				
共済組合	40～64 歳	男性	6,933	7,505	27	31	5,269	5,180	114	114	33	24
		女性	2,290	2,381	66	63	706	656				
	64～74 歳	男性	156	127			45	56				
		女性	147	167	25	23	22	17				

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

※高血圧は最大血圧 140mmHg 以上、最小血圧 90mmHg 以上、または高血圧治療中とした。

表 6 0. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の高 LDL コレステロール血症の人数（保険者種別）

高 LDL コレステロール血症			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
国保	40～64 歳	男性	7,550	7,457	3,526	3,305	3,831	3,668	125	119	162	136
		女性	16,343	16,062	7,648	7,299	1,880	1,715	148	140	78	69
	64～74 歳	男性	9,390	8,793	5,061	4,606	2,348	2,184	457	411		
		女性	20,232	18,943	10,619	9,812	1,972	1,695	314	281		
協会けんぽ	40～64 歳	男性	18,676	19,112			11,419	11,290	43	46	82	78
		女性	11,743	12,344			1,860	1,787	11	10		
	64～74 歳	男性	1,319	1,290			462	447		10		
		女性	1,211	1,206			153	145				
健保組合	40～64 歳	男性	45,430	45,323	105	81	23,847	22,563	1,044	1,007	1,606	1,530
		女性	31,630	33,005	114	91	5,276	5,185	240	264	139	128
	64～74 歳	男性	1,269	1,180			411	396	28	25		
		女性	1,418	1,344	13		163	147				
共済組合	40～64 歳	男性	10,361	10,521	63	39	6,395	6,196	165	161	48	37
		女性	7,863	8,265	148	165	1,192	1,175	10	15		
	64～74 歳	男性	126	119			55	52				
		女性	243	238	41	34	26	23				

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

※高 LDL コレステロール血症は LDL コレステロール値 140mg/dl 以上、または脂質異常症治療中とした。

表 6 1. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の糖尿病の人数（保険者種別）

糖尿病			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
国保	40～64 歳	男性	2,352	2,438	1,262	1,331	863	871	14		35	35
		女性	1,913	1,956	1,121	1,151	339	349	11	14	19	16
	64～74 歳	男性	5,273	5,319	2,694	2,805	839	860	120	113		
		女性	4,285	4,310	2,253	2,355	372	362	30	32		
協会けんぽ	40～64 歳	男性	1,187	1,310			499	589				
		女性	420	447			90	111				
	64～74 歳	男性	220	242			34	37				
		女性	130	144			13	16				
健保組合	40～64 歳	男性	9,640	10,987	30	35	3,534	4,158	70	94	246	327
		女性	2,651	2,921			736	885	26	30	36	44
	64～74 歳	男性	668	696			106	104				
		女性	288	298			20	21				
共済組合	40～64 歳	男性	2,350	2,575			941	1,207	14	18		11
		女性	554	583	11	13	126	142				
	64～74 歳	男性	49	57			11	10				
		女性	40	38								

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

※糖尿病は HbA1c 6.5%以上、または糖尿病治療中とした。

表 6 2. 平成 22、23 年度の 2 年連続特定健診受診者における特定保健指導該当・実施状況別の喫煙者数（保険者種別）

喫煙			特定保健指導対象外				特定保健指導対象					
			服薬なし		服薬あり		利用せず		終了せず		終了	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23
国保	40～64 歳	男性	9,106	8,481	4,057	3,757	3,330	3,085	25	25	156	139
		女性	4,398	4,048	2,178	2,047	300	280		10		
	64～74 歳	男性	7,920	7,154	4,806	4,328	1,533	1,415	219	193		
		女性	2,056	1,854	1,322	1,212	196	168	13	15		
協会けんぽ	40～64 歳	男性	29,751	28,205			12,163	11,603			91	79
		女性	8,185	7,754			666	638				
	64～74 歳	男性	1,513	1,426			361	336				
		女性	227	214			24	21				
健保組合	40～64 歳	男性	65,524	61,398	131	119	23,944	22,640	266	266	2,041	1,874
		女性	20,259	19,195	67	60	2,035	1,939	38	37	79	78
	64～74 歳	男性	1,246	1,116			250	225	10	10		
		女性	211	192			14	12				
共済組合	40～64 歳	男性	11,249	10,776	61	61	5,248	4,968	19	24	41	32
		女性	1,800	1,713	29	27	157	157				
	64～74 歳	男性	81	73			20	19				
		女性	26	23								

※ (黒塗りのセル) は 10 未満 (0～9) を意味する。

資料  
地域医療構想策定に係る  
支援ツール結果および追加資料

図表一覧

項目	本編との対応	ページ
1. 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口		・・・ 76
表 1 二次医療圏別の 2010 年人口および 2025、2040 年推計人口	対応なし	・・・ 76
2. 支援ツールによる大阪府内二次医療圏における医療需要および必要病床数		・・・ 77
図 1-1～1-2 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療需要および必要病床数 (医療機関所在地)	P9、P34、表 4、表 5、 表 20、表 28	・・・ 78
図 2-1-1～2-8-4 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要の流出入	P12-13、表 6、表 23	・・・ 79
表 2-1～2-5 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要および 必要病床数の推計値	P9、P34、表 4、表 5、 表 20、表 21、表 28	・・・ 87
表 3 二次医療圏別の 2013、2025 年の在宅医療等の医療需要推計値	P9、P34、表 4、表 20、 表 21	・・・ 92
表 4-1～4-5 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値	P13、P36、表 7、表 24	・・・ 93
表 5-1～5-4 2013 年の医療機能別医療需要の流出入	対応なし	・・・ 98
表 6-1～6-4 2025 年の医療機能別医療需要の流出入	P12-13、P36、表 6、 表 22、表 23	・・・ 102
表 7-1～7-10 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要	P14-15	・・・ 106
表 7-11～7-28 MDC 診断群別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要	P14-15	・・・ 116
表 7-29～7-38 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値	P38-40、表 25-27	・・・ 134
表 8-1～8-8 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流出入	P38-40、表 25-27	・・・ 144
3. NDB データ、DPC 公開データに基づく医療需要、医療提供体制等の見える化		・・・ 152
図 3-1～3-7 疾病別アクセスマップと人口カバー率	P30	・・・ 153
図 4-1～4-8 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計	対応なし	・・・ 157
表 9-1～9-8-2 NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数	P31-32、表 18	・・・ 161
4. NDB データの独自分析結果		・・・ 164
図 5-1～5-9 疾病・事業別の入院患者の流出入イメージ (参考：基礎データ)	P23、P27-28、P36-40	・・・ 165
1 二次医療圏別人口データ	対応なし	・・・ 174
2 二次医療圏別（市町村別）医療機関数・病床数等	対応なし	・・・ 175



## 2. 支援ツールによる大阪府内二次医療圏における医療需要および必要病床数

出典：地域医療構想策定支援ツール（必要病床数等推計ツール） 厚生労働省

### ○端数処理について

厚生労働省の都道府県間調整に係る通知において、小数点以下第1位を四捨五入する方針が示されたため、医療需要および必要病床数についても小数点以下第1位を四捨五入した。また、合計は、圏域別、医療機能別に端数処理を行った医療需要、必要病床数を合算した。

### ○図 1-1、1-2 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療需要および必要病床数（医療機関所在地）

各二次医療圏における医療需要および必要病床数の 2013 年、2025 年推計値を図中に示している。  
・縦軸の目盛りは、大阪市医療圏以外の 7 医療圏で共通とし、人口規模の大きい大阪市医療圏のみ異なる目盛りを設定している。

### ○図 2-1-1～2-8-4 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要の流出入

各二次医療圏間での医療需要の流出入の 2025 年推計値を図中に示している。  
・他府県の二次医療圏との間の流出入については府県単位に集約した数値を示している。  
・矢印の向きは二次医療圏間での流出が流入よりも大きい場合を流出の向き、流入が流出よりも大きい場合を流入の向きとして示している。

### ○表 2-1～2-5 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要および必要病床数の推計値

各二次医療圏における医療需要および必要病床数（高度急性期～慢性期）の 2013 年、2025 年推計値を全年齢および年齢階級別（0～14 歳、15～59 歳、60～74 歳、75 歳以上）に示している。

### ○表 3 二次医療圏別の 2013、2025 年の在宅医療等の医療需要推計値

各二次医療圏における在宅医療等の医療需要の 2013 年、2025 年推計値を全年齢および年齢階級別（0～14 歳、15～59 歳、60～74 歳、75 歳以上）に示している。

### ○表 4-1～4-5 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値

各二次医療圏における医療需要および流出入の 2025 年推計値を全年齢および年齢階級別（0～14 歳、15～59 歳、60～74 歳、75 歳以上）に示している。

### ○表 5-1～5-4 2013 年の医療機能別医療需要の流出入

### ○表 6-1～6-4 2025 年の医療機能別医療需要の流出入

各二次医療圏間での医療機能別医療需要の流出入の 2013 年度値（表 5-1～5-4）、2025 年度推計値（表 6-1～6-4）を示している。

- ・行項目が患者住所地、列項目が医療機関所在地となっている。
- ・行項目を固定して、右方向に見ていくと、流出状況が読み取れる。
- ・列項目を固定して、下方向に見ていくと、流入状況が読み取れる。

### ○表 7-1～7-10 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要

### ○表 7-11～7-20 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値

各二次医療圏における主要疾患別医療需要の 2013 年、2025 年推計値を示している（表 7-1～7-10）。また、2025 年医療需要の流出入については表 7-11～7-20 に示している。

### ○表 8-1～8-8 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流出入

各二次医療圏間での主要疾患別医療需要の流出入の 2025 年推計値を示している。表の読み取り方は表 5-1～5-4、表 6-1～6-4 と同様である。



図 1-1. 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療需要（医療機関所在地）（全疾患、全年齢、男女計）

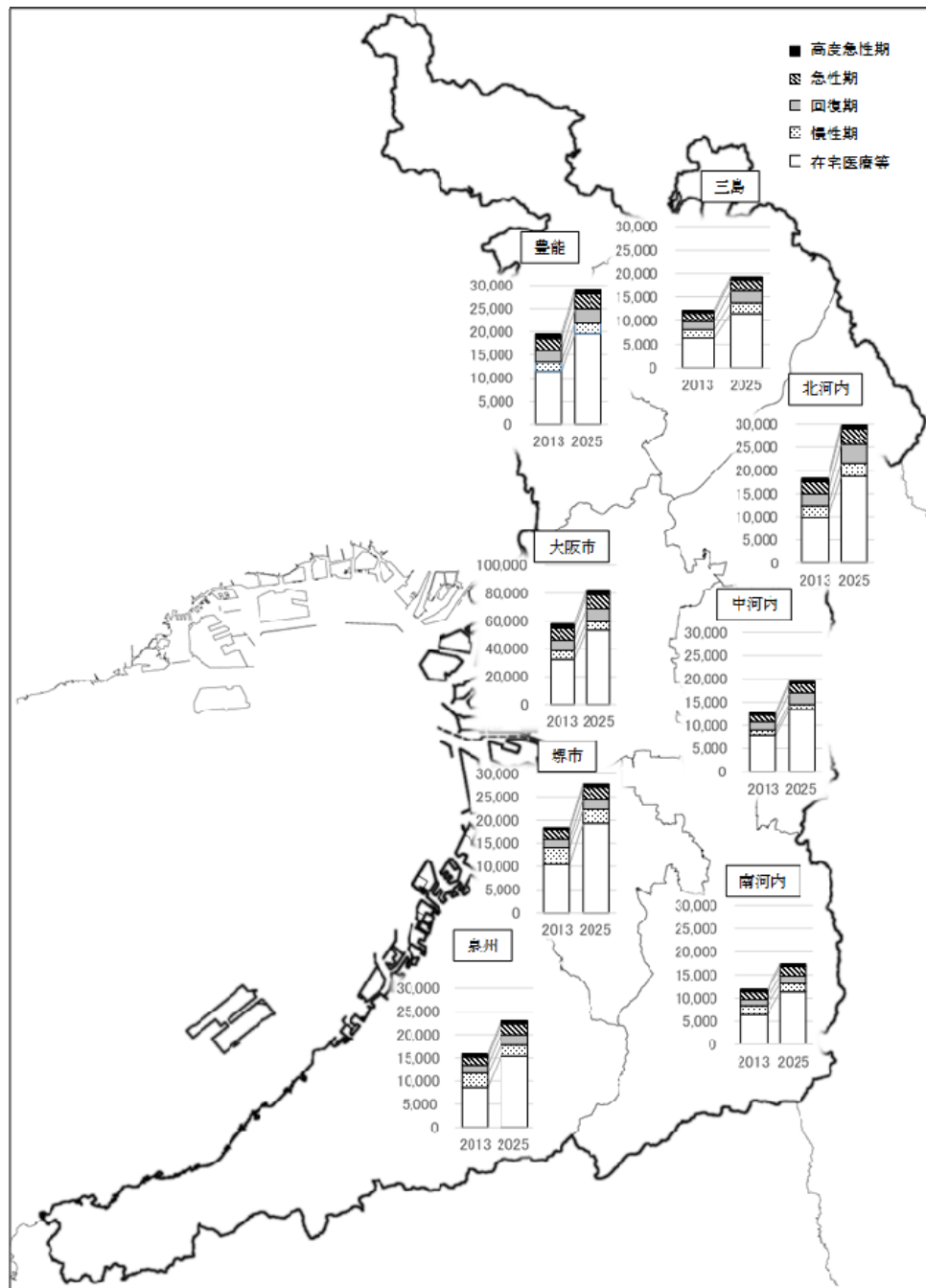


図 1-2. 二次医療圏別の 2013、2025 年の必要病床数（医療機関所在地）（全疾患、全年齢、男女計）

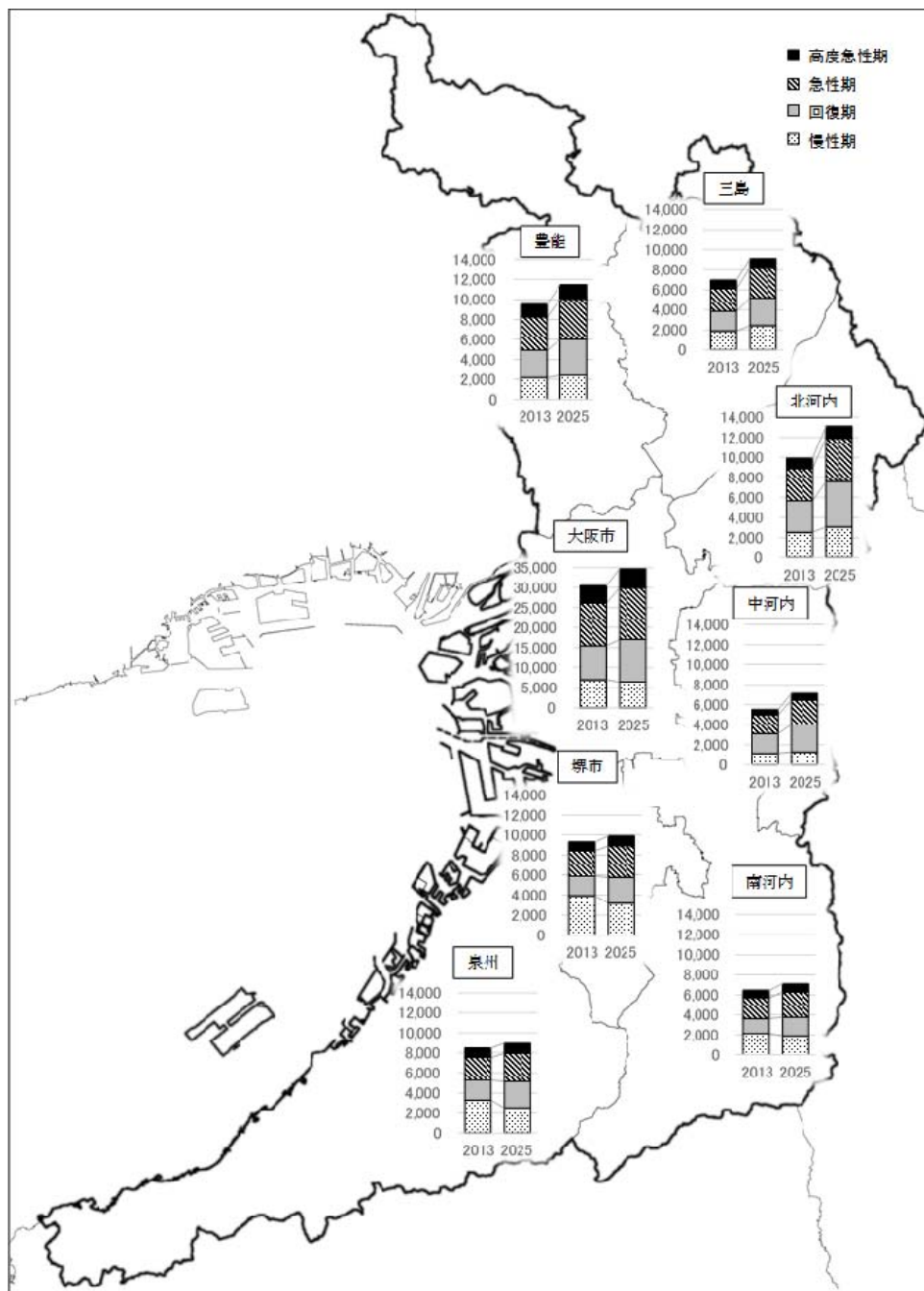


図 2-1-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（豊能、高度急性期）

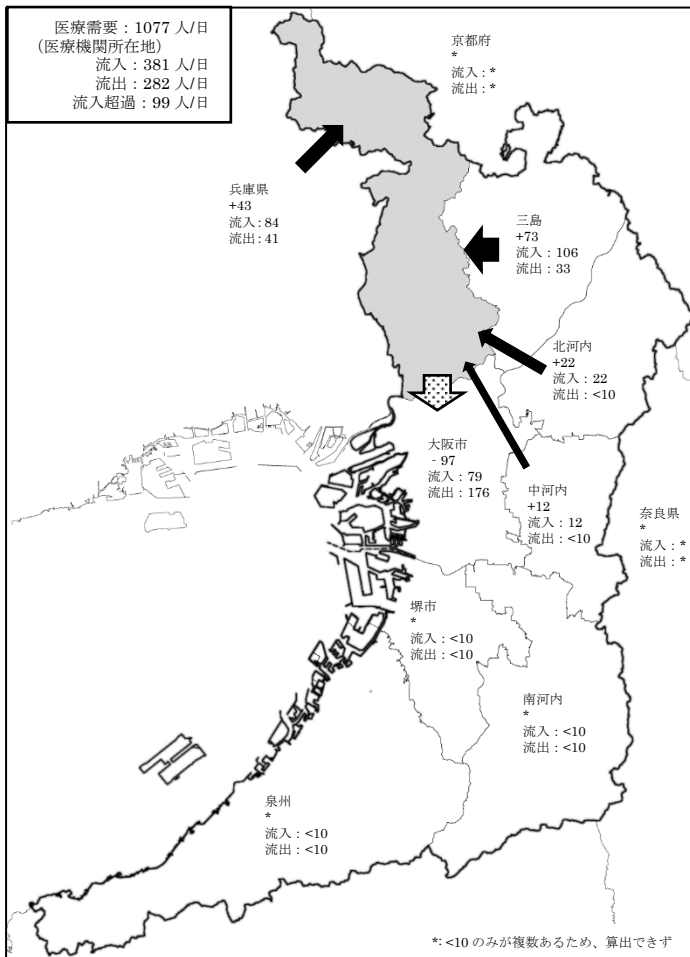


図 2-1-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（豊能、急性期）

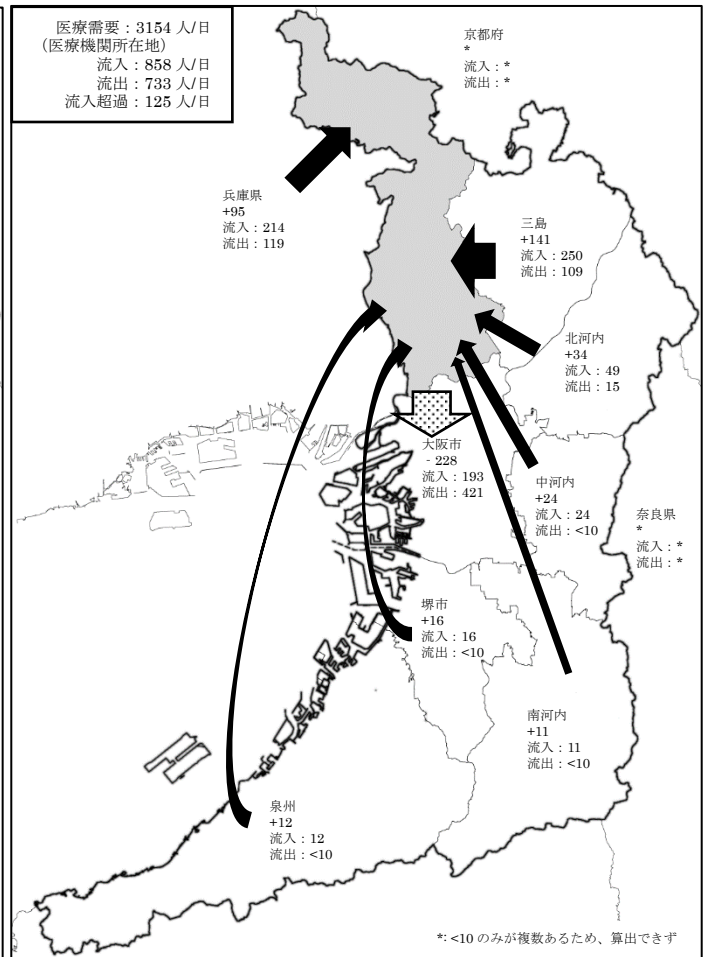


図 2-1-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（豊能、回復期）

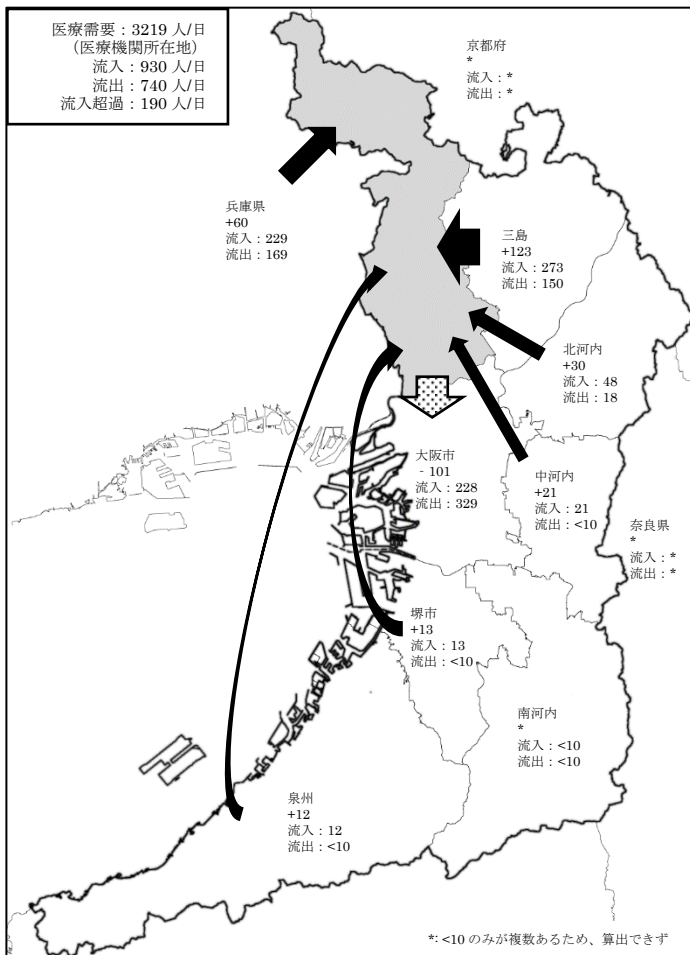


図 2-1-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（豊能、慢性期（パターン B））

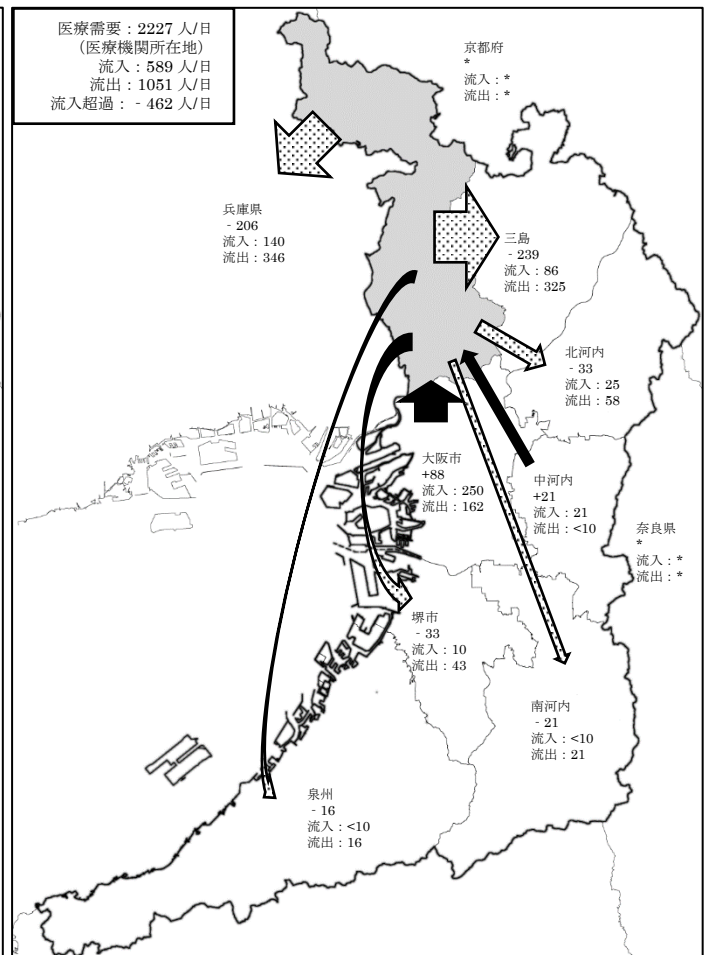


図 2-2-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (三島、高度急性期)

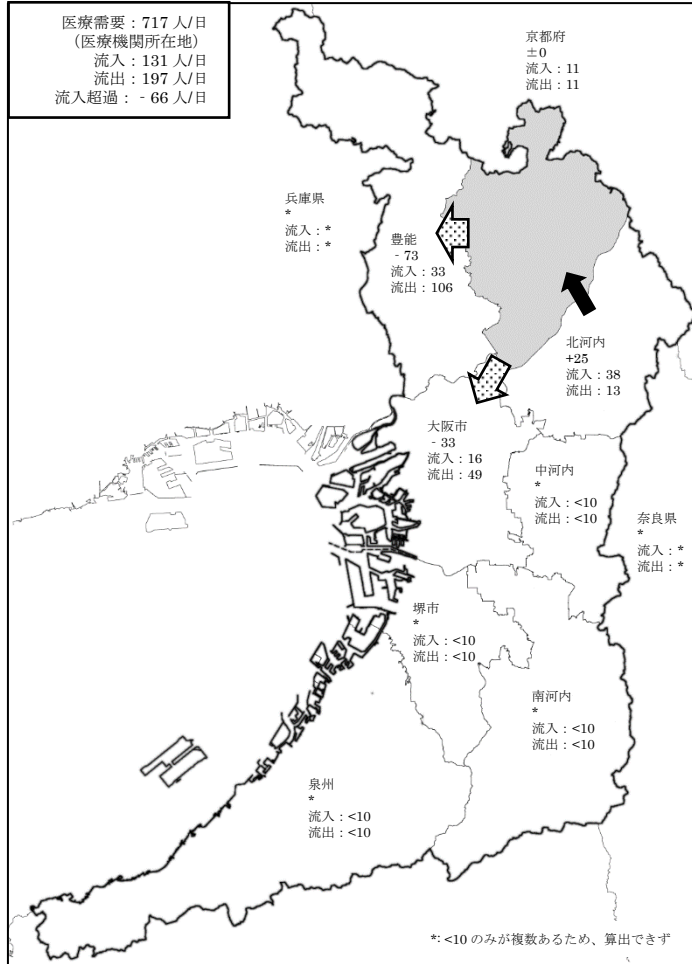


図 2-2-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (三島、急性期)

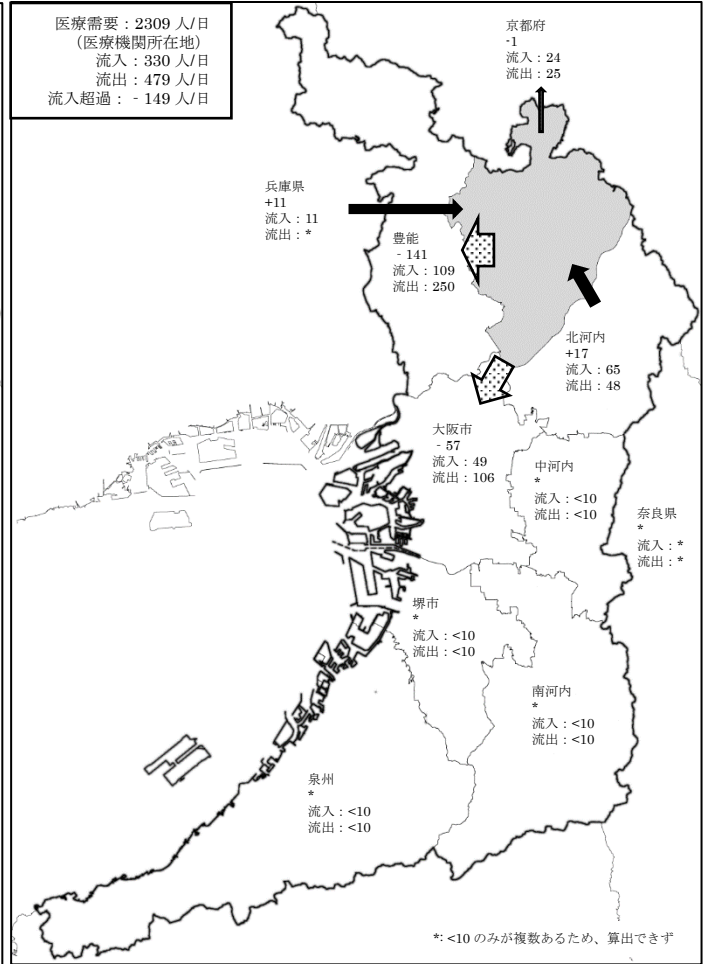


図 2-2-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (三島、回復期)

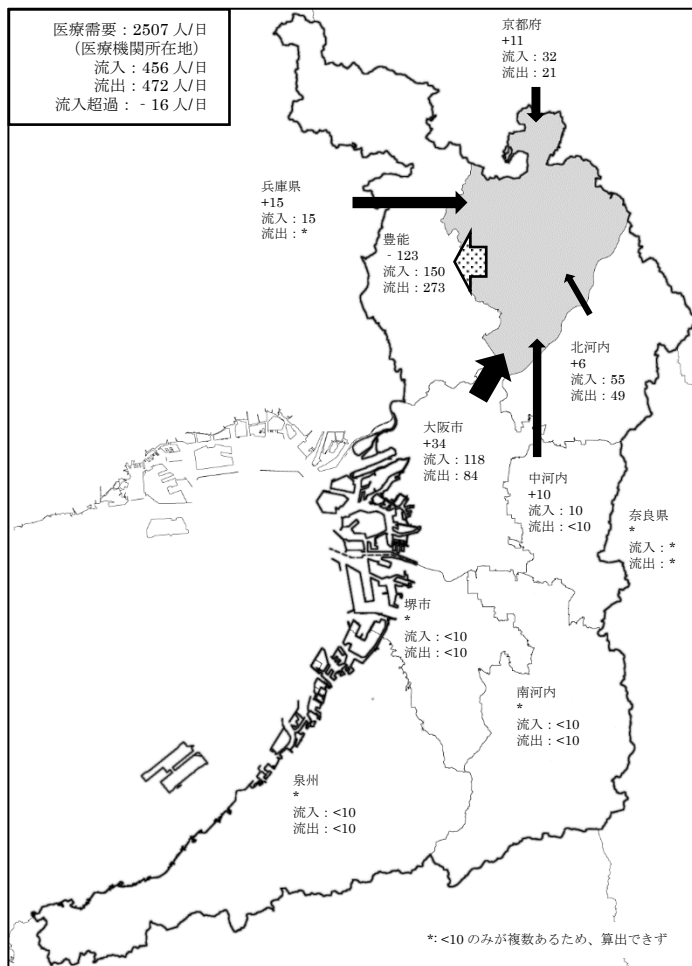


図 2-2-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (三島、慢性期 (パターン B))

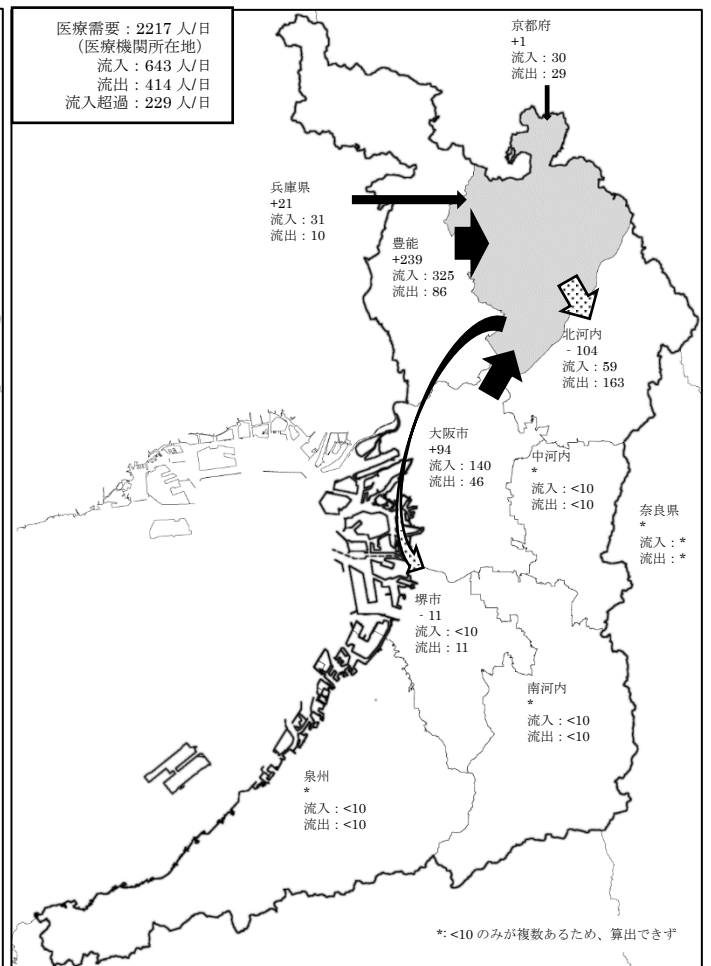


図 2-3-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（北河内、高度急性期）

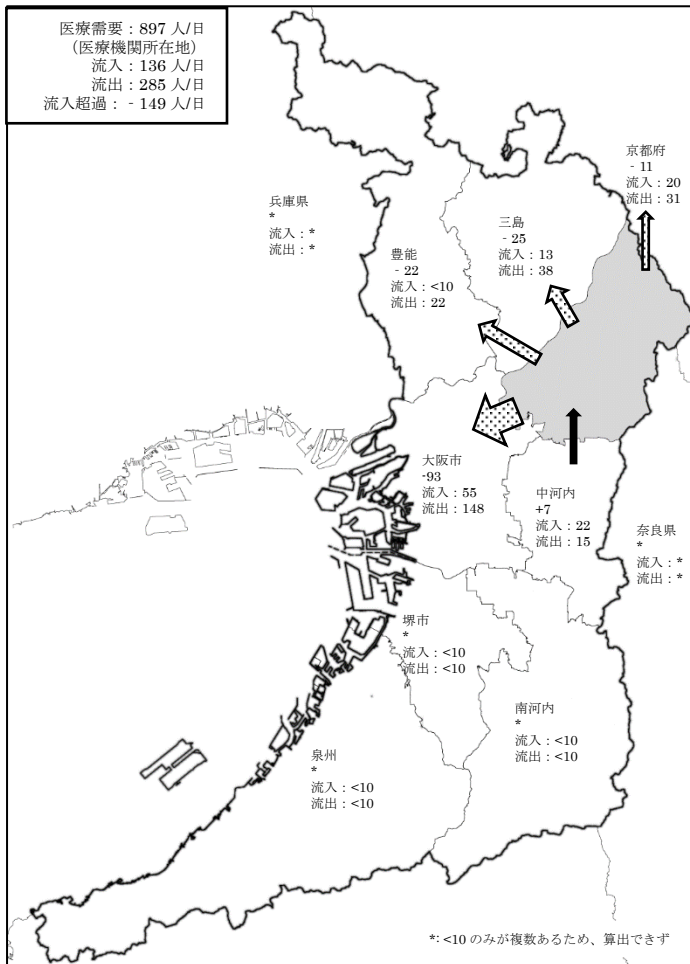


図 2-3-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（北河内、急性期）

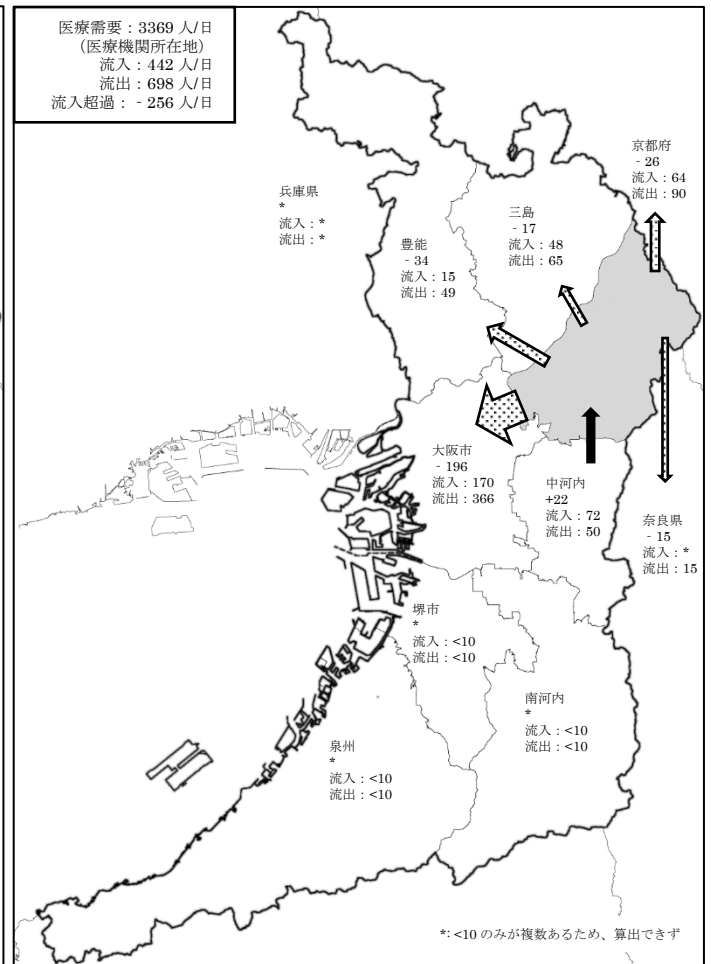


図 2-3-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（北河内、回復期）

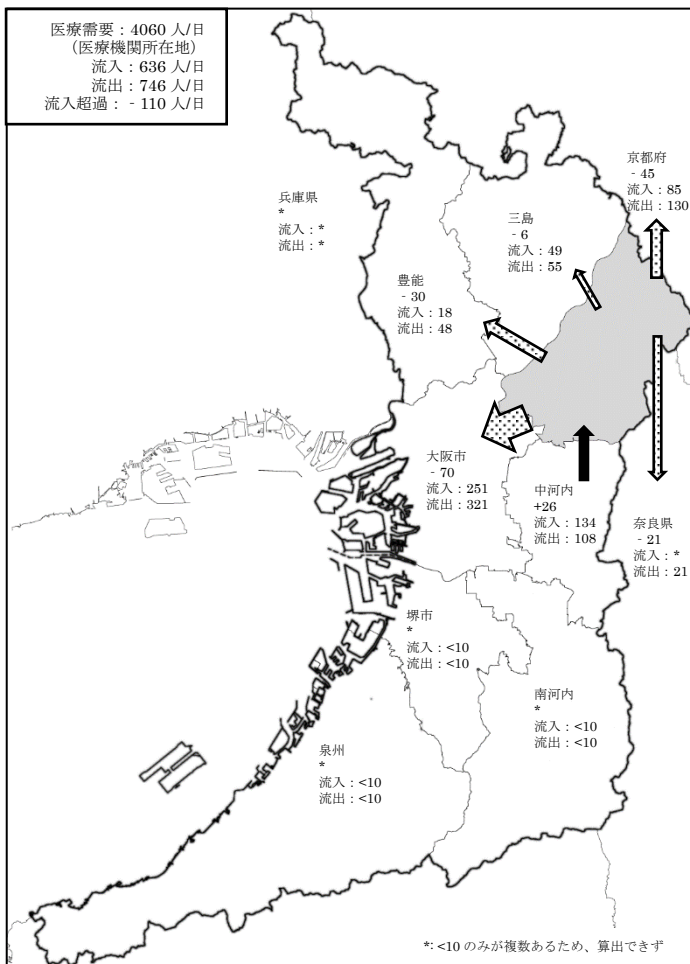


図 2-3-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（北河内、慢性期（パターン B））

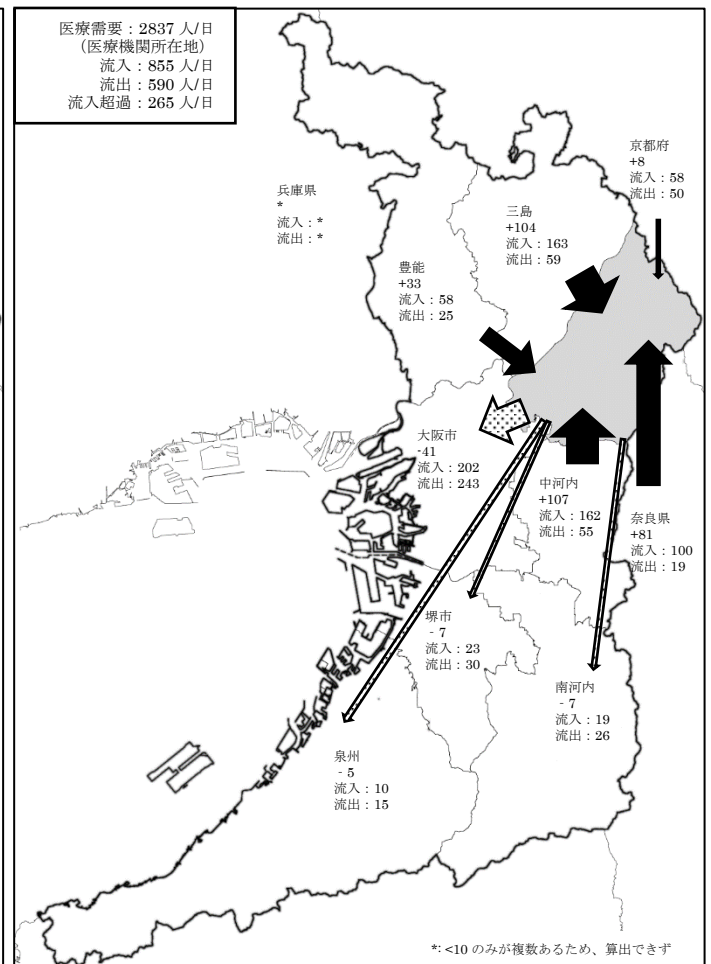


図 2-4-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（中河内、高度急性期）

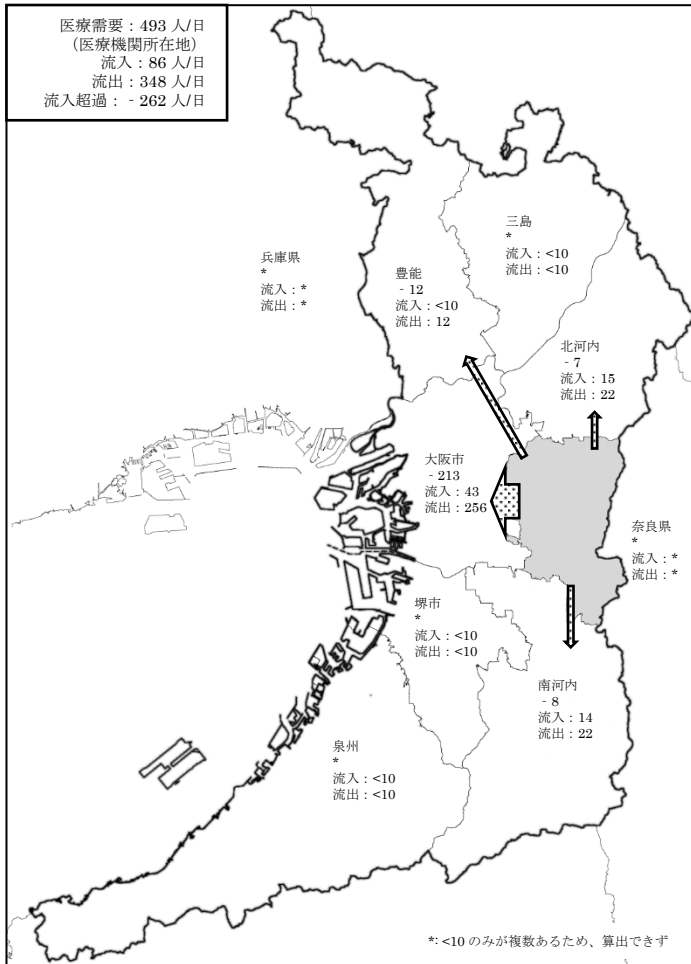


図 2-4-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（中河内、急性期）

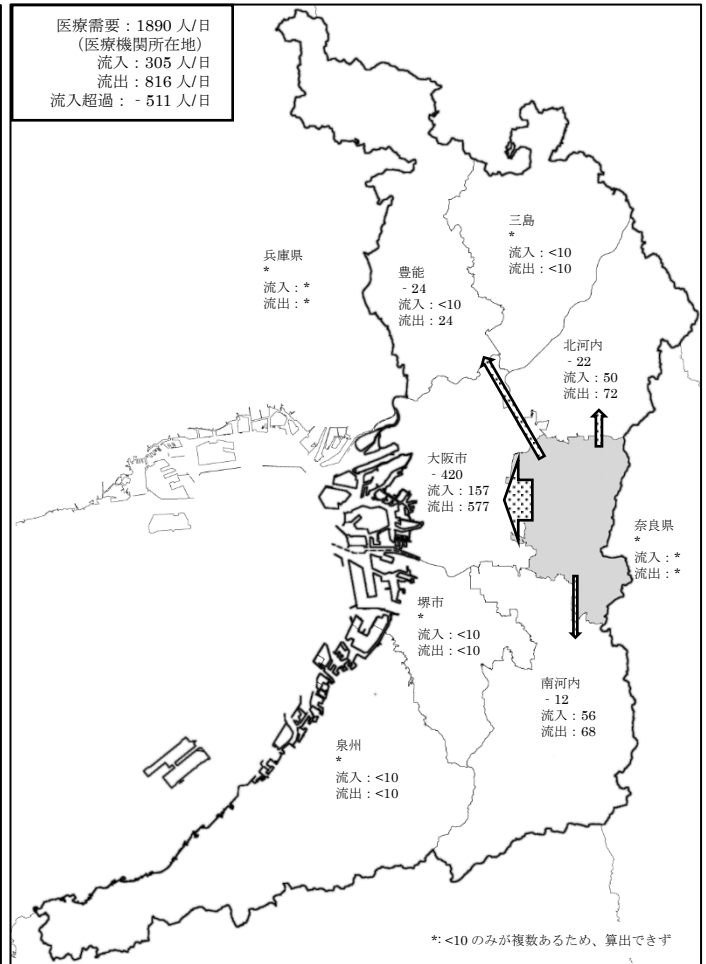


図 2-4-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（中河内、回復期）

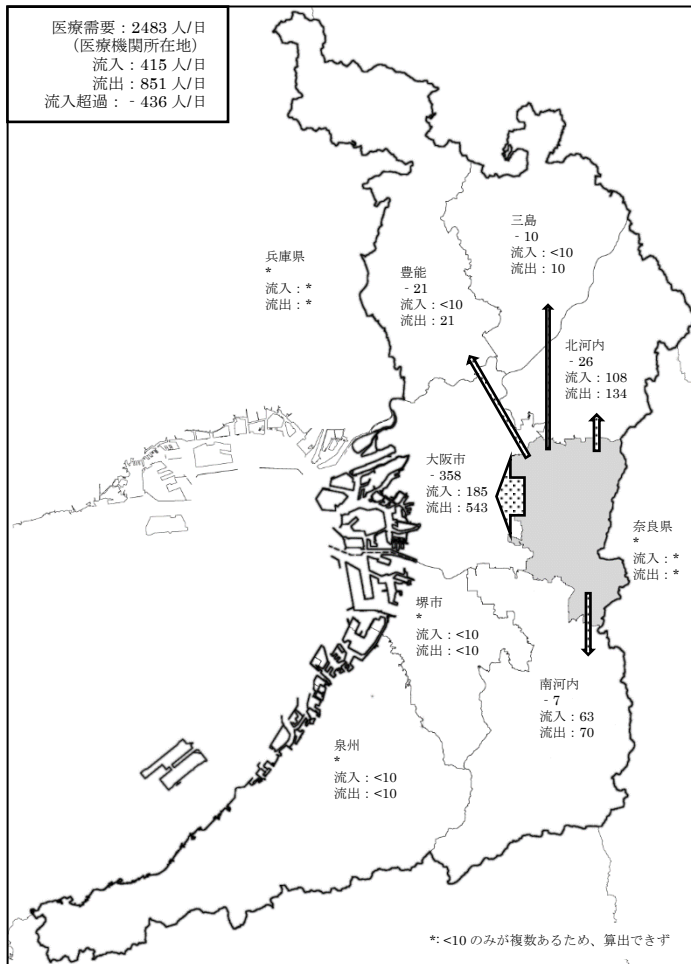


図 2-4-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（中河内、慢性期（パターン B））

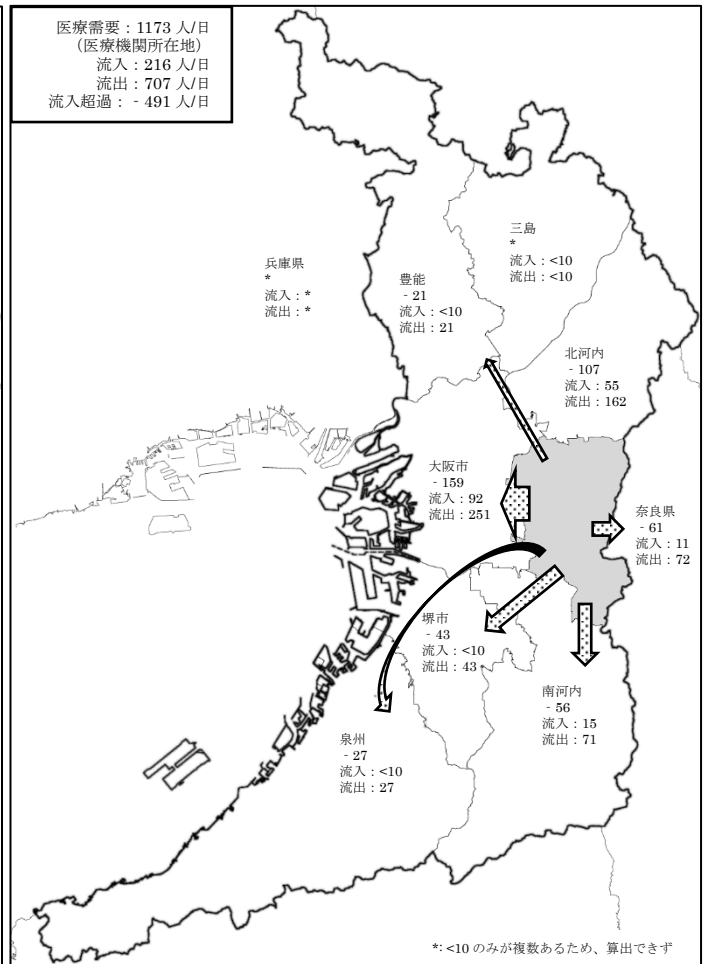


図 2-5-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (南河内、高度急性期)

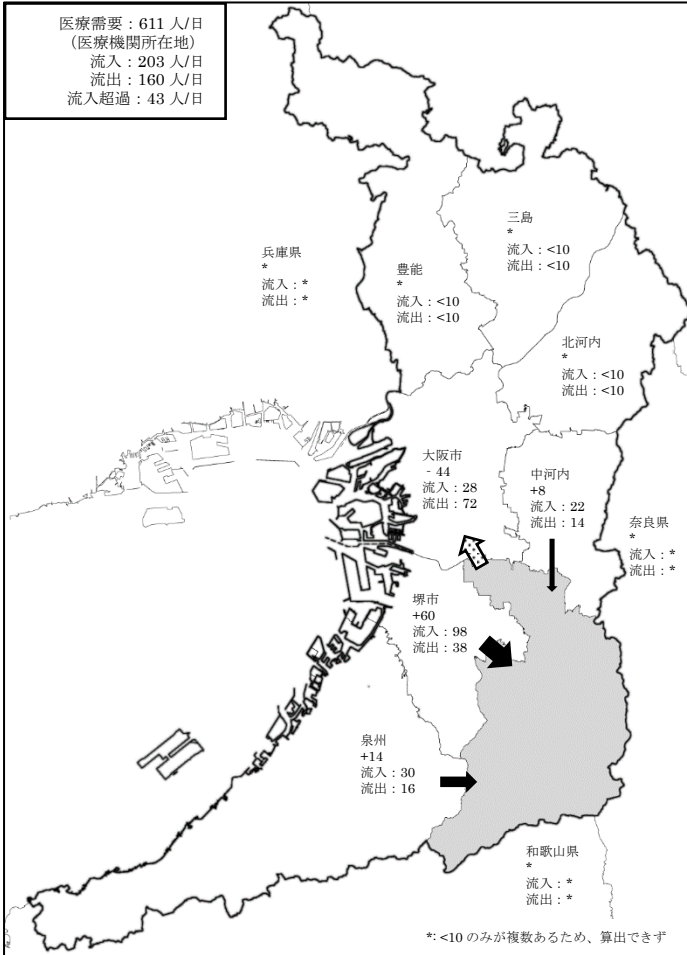


図 2-5-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (南河内、急性期)

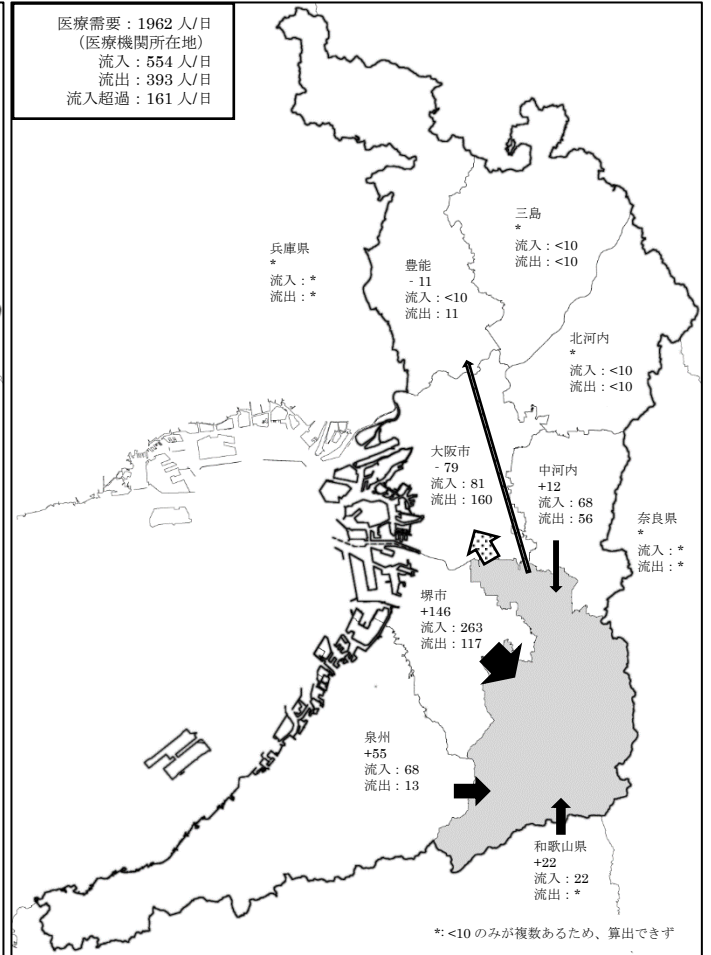


図 2-5-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (南河内、回復期)

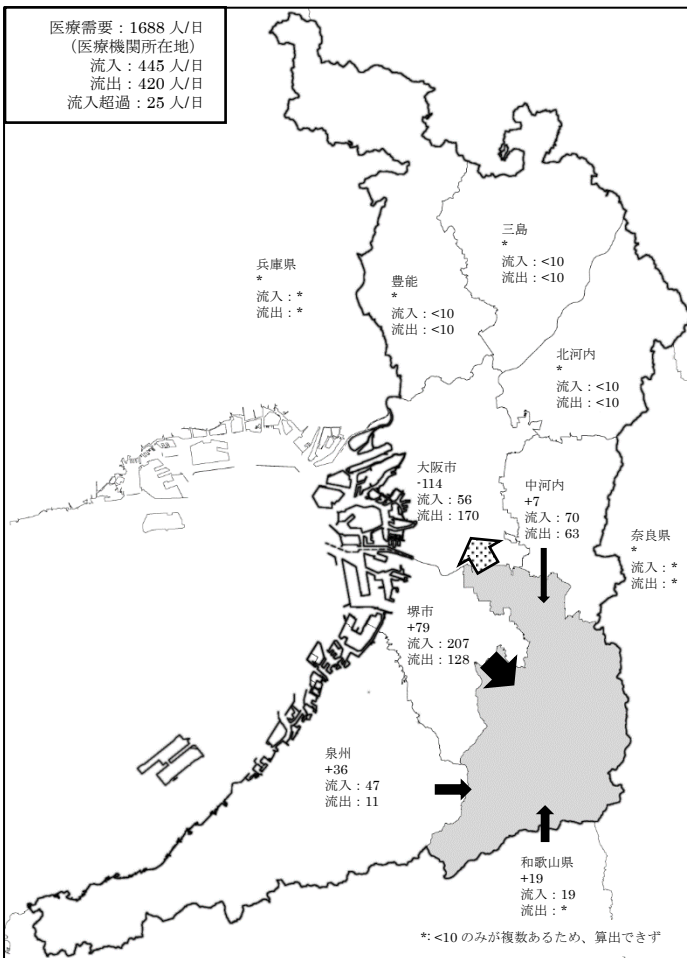


図 2-5-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (南河内、慢性期 (パターン B))

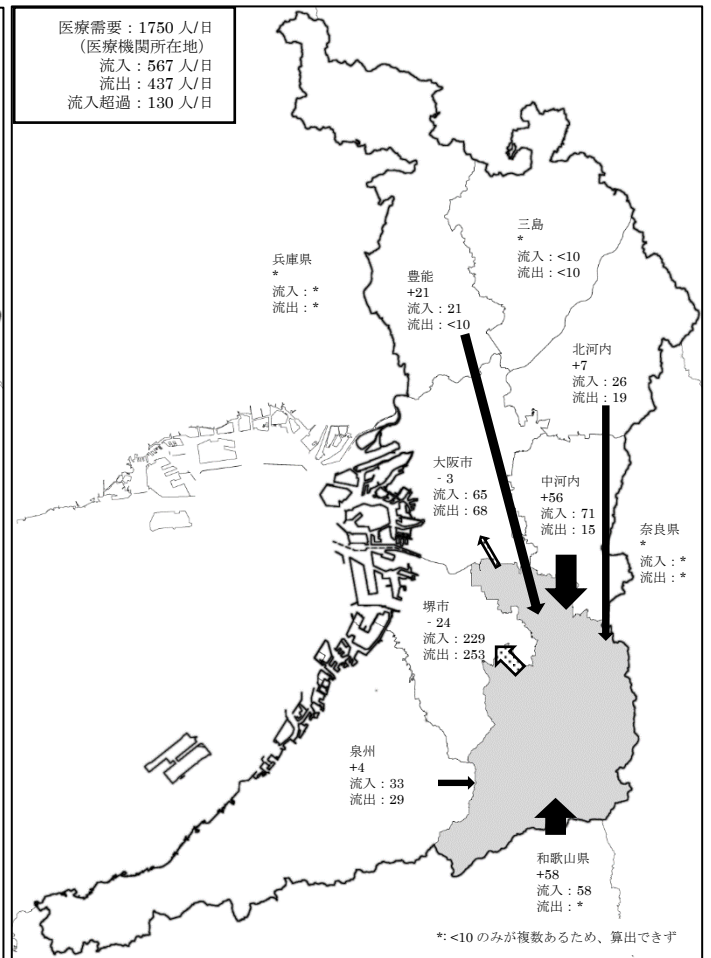


図 2-6-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（堺市、高度急性期）

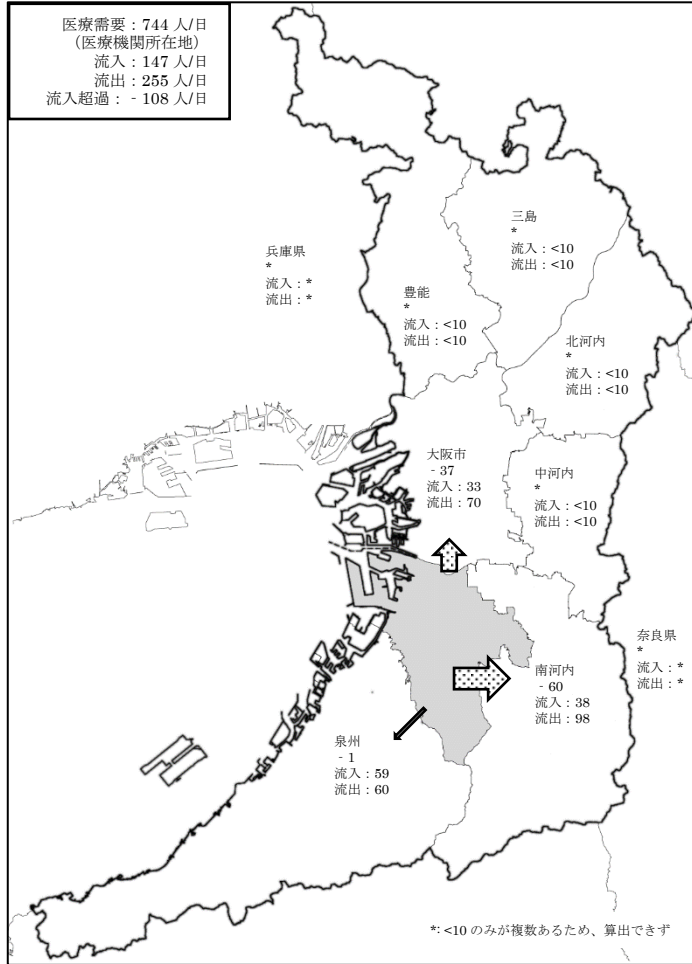


図 2-6-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（堺市、急性期）

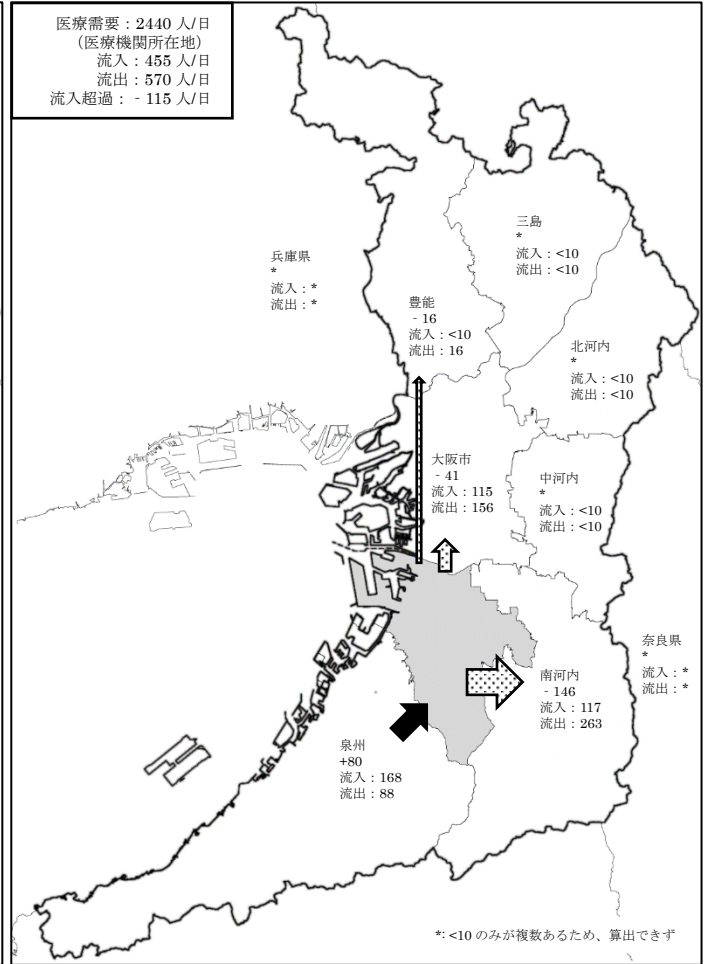


図 2-6-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（堺市、回復期）

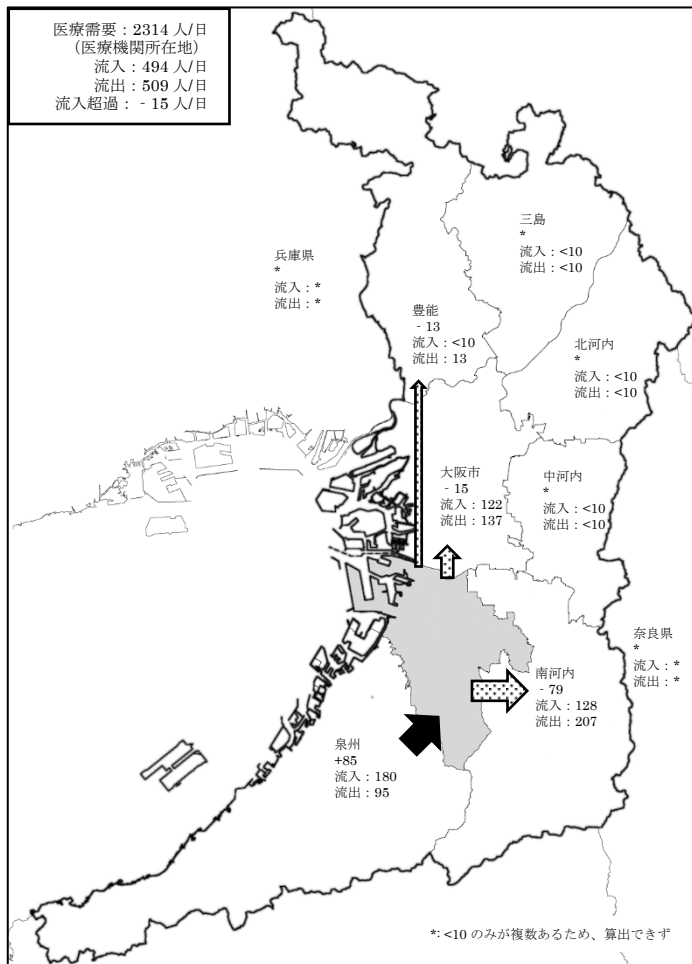


図 2-6-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（堺市、慢性期（パターン B））

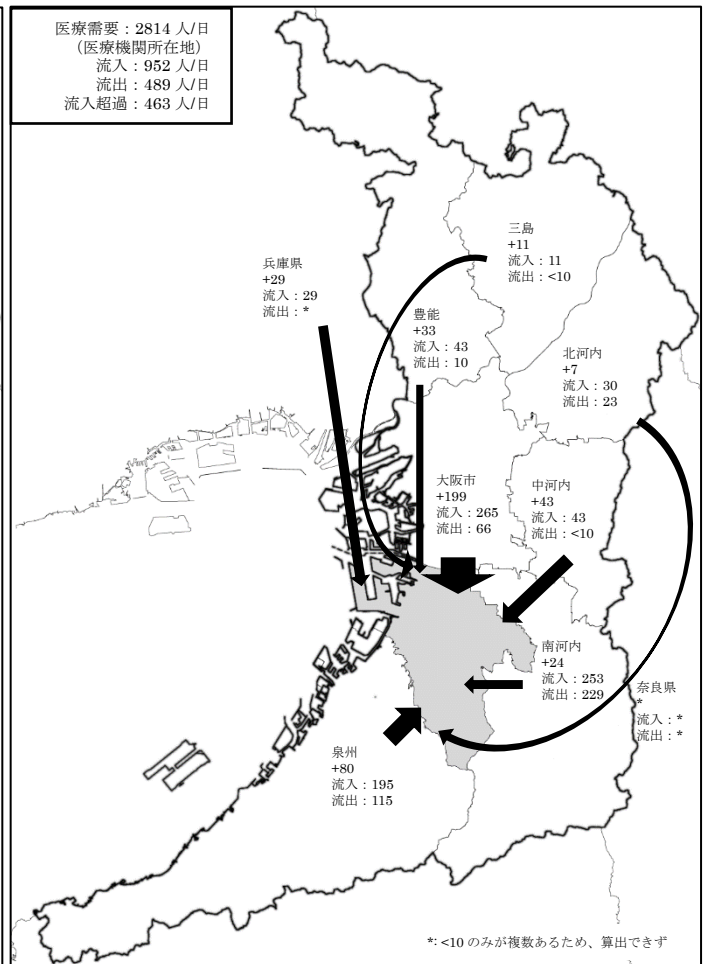


図 2-7-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（泉州、高度急性期）

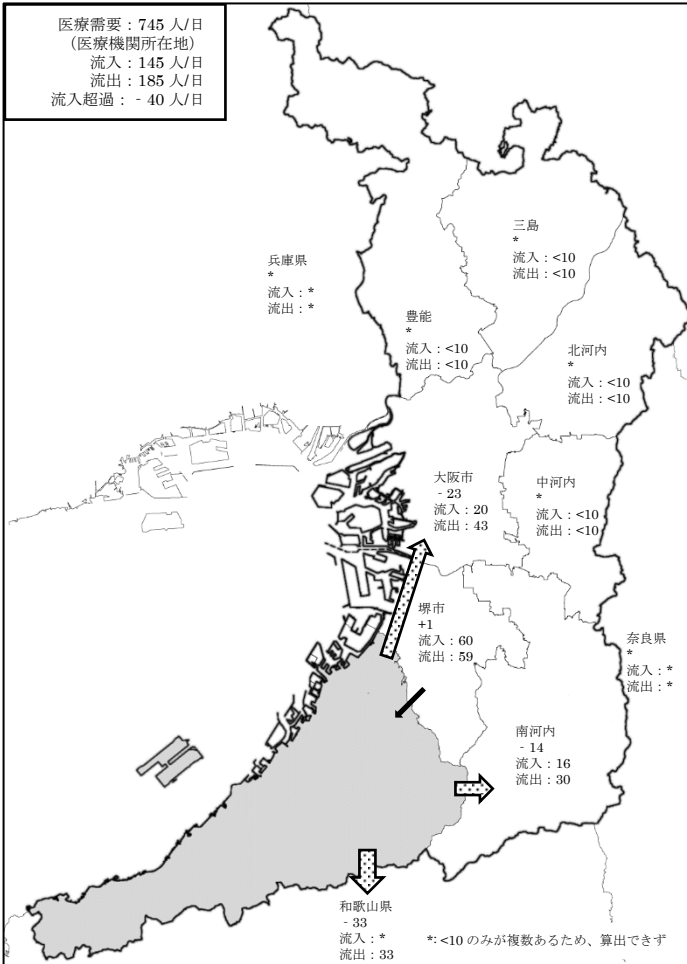


図 2-7-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（泉州、急性期）

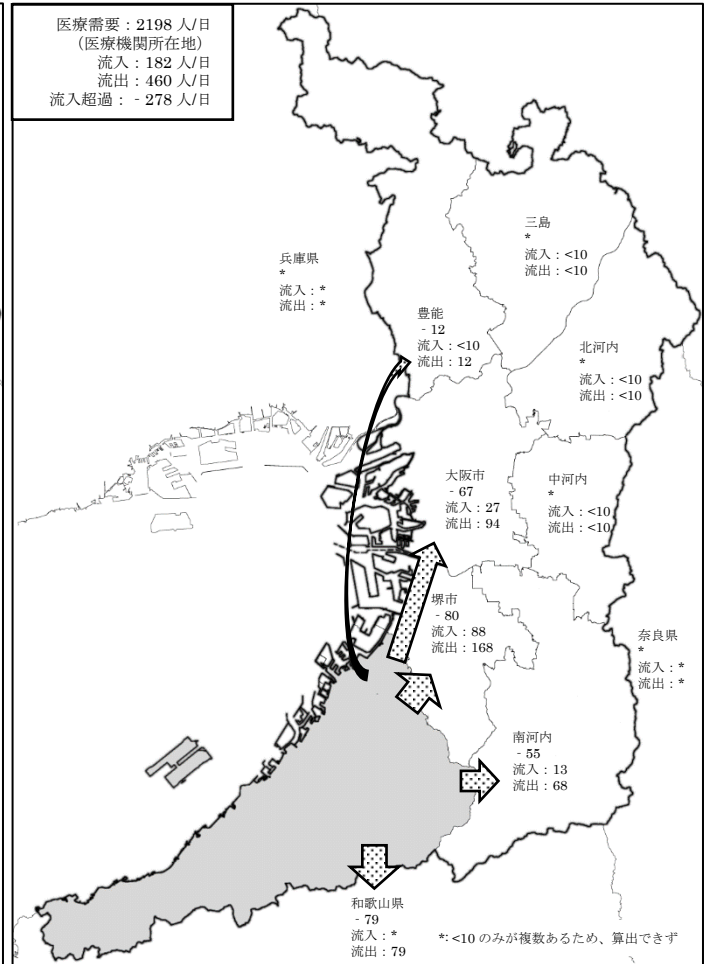


図 2-7-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（泉州、回復期）

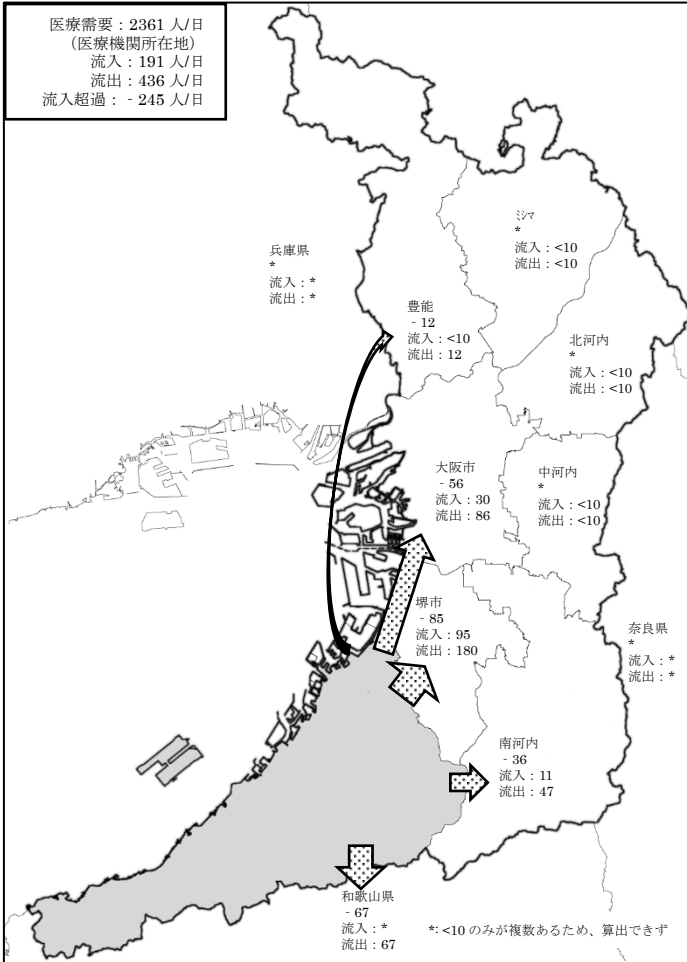


図 2-7-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入（泉州、慢性期（パターン B））

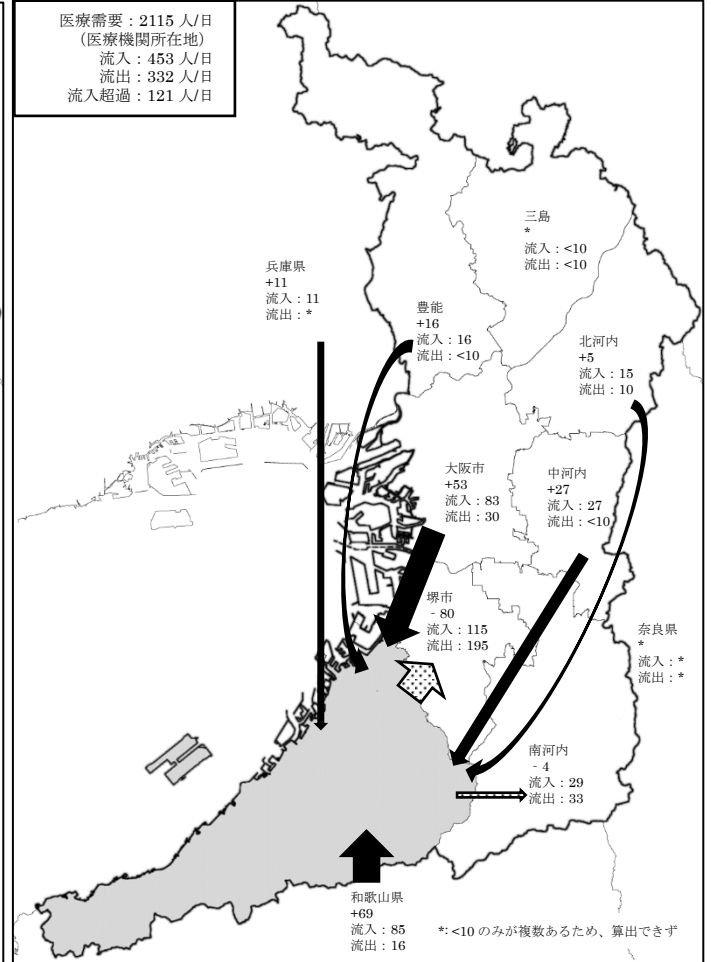




図 2-8-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (大阪市、高度急性期)

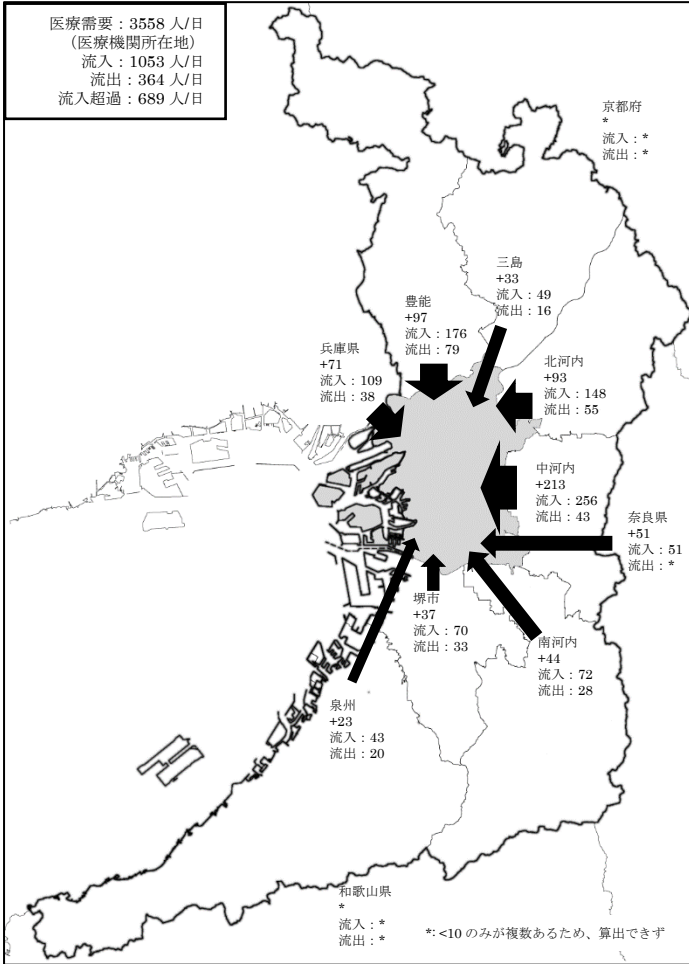


図 2-8-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (大阪市、急性期)

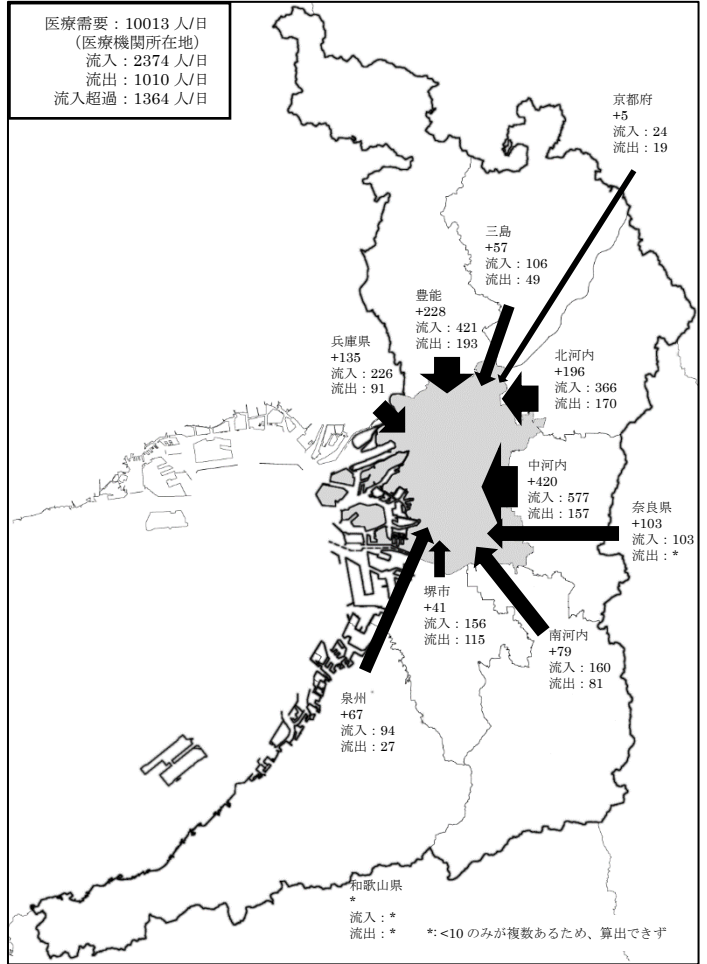


図 2-8-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (大阪市、回復期)

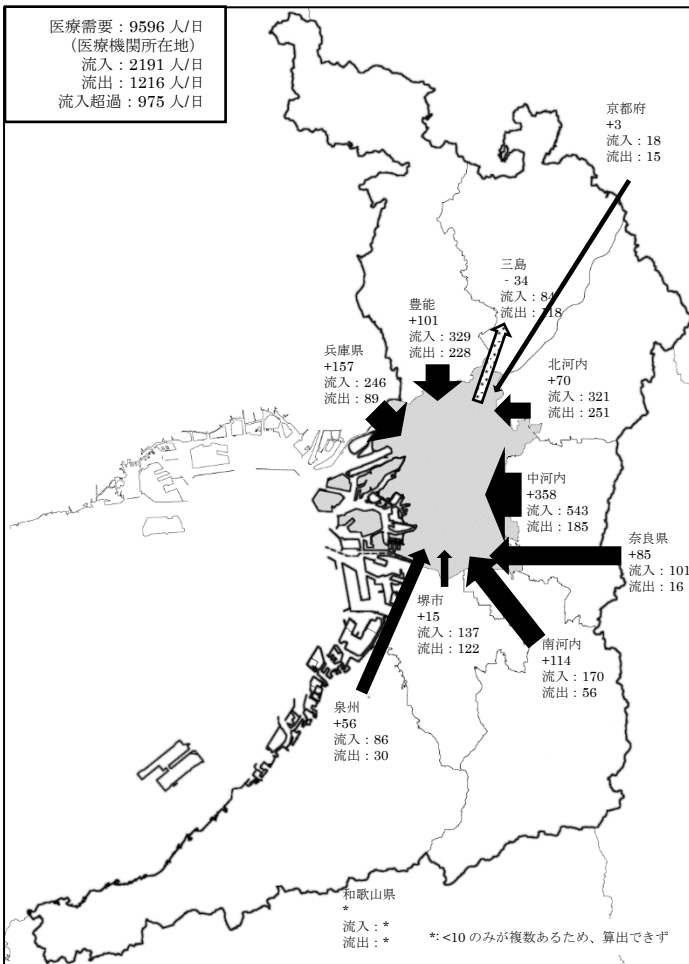


図 2-8-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流出入 (大阪市、慢性期 (パターン B))

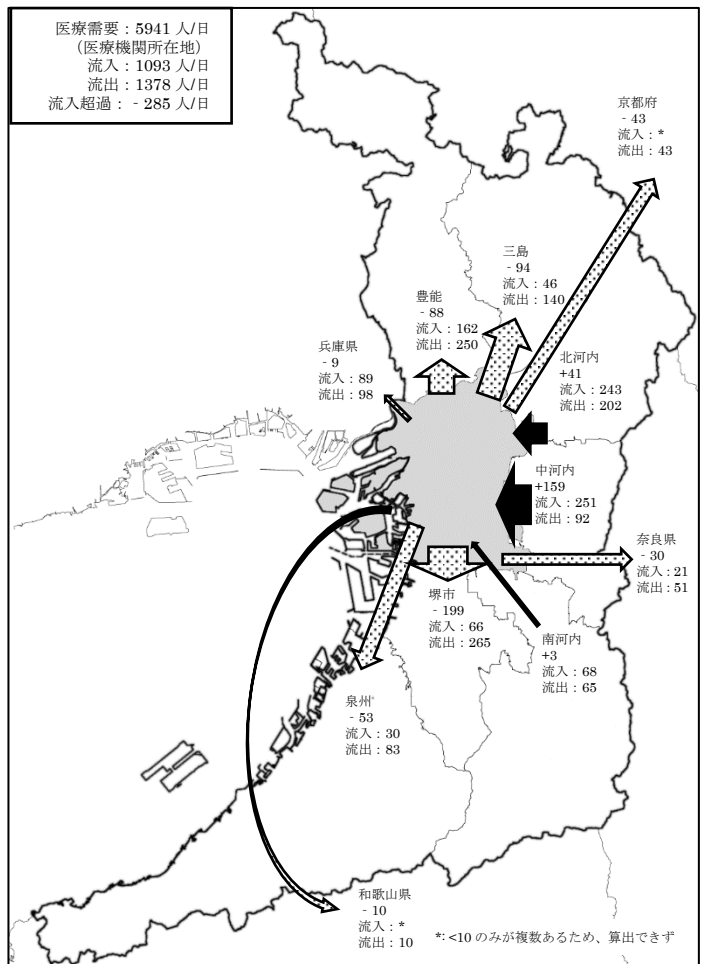




表 2-2. 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要および必要病床数の推計値 (0～14 歳)

		0～14 歳					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	1,062	791	735	1,412	1,055	983
	急性期	932	697	675	1,196	892	867
	回復期	113	68	80	125	74	88
	慢性期(パターン A)	193	112	98	210	121	106
	慢性期(パターン B)	193	118	99	210	128	109
	慢性期(特例)	193	118	99	210	128	109
	合計(パターン A)	2,300	1,668	1,588	2,943	2,142	2,044
	合計(パターン B)	2,300	1,674	1,589	2,943	2,149	2,047
	合計(特例)	2,300	1,674	1,589	2,943	2,149	2,047
2701:豊能	高度急性期	124	91	68	165	121	91
	急性期	151	111	79	194	142	102
	回復期	13	0	0	15	0	0
	慢性期(パターン A)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(特例)	0	0	0	0	0	0
	小計(パターン A)	288	202	147	374	263	193
	小計(パターン B)	288	202	147	374	263	193
	小計(特例)	288	202	147	374	263	193
2702:三島	高度急性期	154	118	101	206	157	135
	急性期	48	38	48	62	48	61
	回復期	0	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン A)	12	0.0	13	13	0.0	14
	慢性期(パターン B)	12	0.0	13	13	0.0	15
	慢性期(特例)	12	0.0	13	13	0.0	15
	小計(パターン A)	214	156	162	281	205	210
	小計(パターン B)	214	156	162	281	205	211
	小計(特例)	214	156	162	281	205	211
2703:北河内	高度急性期	56	40	82	74	54	109
	急性期	106	77	95	136	99	122
	回復期	19	14	14	21	15	15
	慢性期(パターン A)	22	17	0	24	18	0
	慢性期(パターン B)	22	17	0	24	18	0
	慢性期(特例)	22	17	0	24	18	0
	小計(パターン A)	203	148	191	255	186	246
	小計(パターン B)	203	148	191	255	186	246
	小計(特例)	203	148	191	255	186	246
2704:中河内	高度急性期	46	32	62	61	43	83
	急性期	47	33	49	60	42	63
	回復期	0	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン A)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(特例)	0	0	0	0	0	0
	小計(パターン A)	93	65	111	121	85	146
	小計(パターン B)	93	65	111	121	85	146
	小計(特例)	93	65	111	121	85	146
2705:南河内	高度急性期	62	45	43	82	60	58
	急性期	91	67	43	117	86	56
	回復期	10	0	0	11	0	0
	慢性期(パターン A)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(特例)	0	0	0	0	0	0
	小計(パターン A)	163	112	86	210	146	114
	小計(パターン B)	163	112	86	210	146	114
	小計(特例)	163	112	86	210	146	114
2706:堺市	高度急性期	39	30	73	51	40	98
	急性期	101	79	91	129	101	116
	回復期	0	0	10	0	0	11
	慢性期(パターン A)	13	11	0	14	12	0
	慢性期(パターン B)	13	11	0	14	12	0
	慢性期(特例)*	13	11	0	14	12	0
	小計(パターン A)	153	120	174	194	153	225
	小計(パターン B)	153	120	174	194	153	225
	小計(特例)	153	120	174	194	153	225
2707:泉州	高度急性期	161	122	53	214	163	71
	急性期	82	63	64	105	81	82
	回復期	14	11	11	15	12	12
	慢性期(パターン A)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B)	0	0	0	0	0	0
	慢性期(特例)*	0	0	0	0	0	0
	小計(パターン A)	257	196	128	334	256	165
	小計(パターン B)	257	196	128	334	256	165
	小計(特例)	257	196	128	334	256	165
2708:大阪市	高度急性期	420	313	253	559	417	338
	急性期	306	229	206	393	293	265
	回復期	57	43	45	63	47	50
	慢性期(パターン A)	146	84	85	159	91	92
	慢性期(パターン B)	146	90	86	159	98	94
	慢性期(特例)	146	90	86	159	98	94
	小計(パターン A)	929	669	589	1,174	848	745
	小計(パターン B)	929	675	590	1,174	855	747
	小計(特例)	929	675	590	1,174	855	747

※ 部分(マスキング)は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

なお、大阪府の値および小計・合計は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

- 「特例」の要件を満たしている二次医療圏については、特例の右に「\*」を表示。特例に「\*」の表示がないものは「パターン B」と同じ値である。
- 2013 年医療需要はパターン A、パターン B、特例のいずれも同じ値となる。

表 2-3. 二次医療圏別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要および必要病床数の推計値（15～59 歳）

		15～59 歳					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	1,733	1,728	1,657	2,310	2,302	2,209
	急性期	4,575	4,613	4,501	5,867	5,916	5,770
	回復期	3,230	3,295	3,159	3,590	3,661	3,511
	慢性期(パターン A)	1,631	1,261	1,440	1,771	1,372	1,565
	慢性期(パターン B)	1,631	1,353	1,532	1,771	1,472	1,667
	慢性期(特例)	1,631	1,362	1,541	1,771	1,481	1,677
	合計(パターン A)	11,169	10,897	10,757	13,538	13,251	13,055
	合計(パターン B)	11,169	10,989	10,849	13,538	13,351	13,157
	合計(特例)	11,169	10,998	10,858	13,538	13,360	13,167
2701:豊能	高度急性期	250	239	178	333	319	238
	急性期	597	587	508	766	752	651
	回復期	420	419	332	467	465	369
	慢性期(パターン A)	181	149	172	196	162	187
	慢性期(パターン B)	181	157	176	196	171	192
	慢性期(特例)	181	157	176	196	171	192
	小計(パターン A)	1,448	1,394	1,190	1,762	1,698	1,445
	小計(パターン B)	1,448	1,402	1,194	1,762	1,707	1,450
	小計(特例)	1,448	1,402	1,194	1,762	1,707	1,450
2702:三島	高度急性期	113	115	135	151	153	180
	急性期	369	376	401	473	482	514
	回復期	223	230	249	248	256	277
	慢性期(パターン A)	95	86	139	103	94	151
	慢性期(パターン B)	95	90	145	103	98	157
	慢性期(特例)	95	90	145	103	98	157
	小計(パターン A)	800	807	924	975	985	1,122
	小計(パターン B)	800	811	930	975	989	1,128
	小計(特例)	800	811	930	975	989	1,128
2703:北河内	高度急性期	152	153	190	203	203	253
	急性期	485	486	550	622	624	705
	回復期	384	387	414	427	429	460
	慢性期(パターン A)	410	377	208	446	410	226
	慢性期(パターン B)	410	386	214	446	420	233
	慢性期(特例)	410	386	214	446	420	233
	小計(パターン A)	1,431	1,403	1,362	1,698	1,666	1,644
	小計(パターン B)	1,431	1,412	1,368	1,698	1,676	1,651
	小計(特例)	1,431	1,412	1,368	1,698	1,676	1,651
2704:中河内	高度急性期	77	75	139	102	100	185
	急性期	277	277	383	356	355	491
	回復期	196	200	302	218	223	335
	慢性期(パターン A)	75	57	127	81	62	138
	慢性期(パターン B)	75	63	134	81	68	146
	慢性期(特例)	75	63	134	81	68	146
	小計(パターン A)	625	609	951	757	740	1,149
	小計(パターン B)	625	615	958	757	746	1,157
	小計(特例)	625	615	958	757	746	1,157
2705:南河内	高度急性期	112	107	96	149	142	128
	急性期	312	303	264	400	389	338
	回復期	197	191	170	219	213	189
	慢性期(パターン A)	185	150	118	201	163	128
	慢性期(パターン B)	185	155	125	201	169	136
	慢性期(特例)	185	155	125	201	169	136
	小計(パターン A)	806	751	648	969	907	783
	小計(パターン B)	806	756	655	969	913	791
	小計(特例)	806	756	655	969	913	791
2706:堺市	高度急性期	129	135	162	172	179	216
	急性期	372	387	435	477	497	558
	回復期	233	246	269	259	273	299
	慢性期(パターン A)	175	104	148	190	113	160
	慢性期(パターン B)	175	120	159	190	131	173
	慢性期(特例)*	175	123	161	190	134	175
	小計(パターン A)	909	872	1,014	1,098	1,062	1,233
	小計(パターン B)	909	888	1,025	1,098	1,080	1,246
	小計(特例)	909	891	1,027	1,098	1,083	1,248
2707:泉州	高度急性期	133	128	158	177	171	210
	急性期	361	357	430	463	457	552
	回復期	227	224	293	252	249	326
	慢性期(パターン A)	152	71	97	165	77	106
	慢性期(パターン B)	152	89	116	165	97	126
	慢性期(特例)*	152	95	123	165	103	134
	小計(パターン A)	873	780	978	1,057	954	1,194
	小計(パターン B)	873	798	997	1,057	974	1,214
	小計(特例)	873	804	1,004	1,057	980	1,222
2708:大阪市	高度急性期	767	776	599	1,023	1,035	799
	急性期	1,802	1,840	1,530	2,310	2,360	1,961
	回復期	1,350	1,398	1,130	1,500	1,553	1,256
	慢性期(パターン A)	358	267	431	389	291	469
	慢性期(パターン B)	358	293	463	389	318	504
	慢性期(特例)	358	293	463	389	318	504
	小計(パターン A)	4,277	4,281	3,690	5,222	5,239	4,485
	小計(パターン B)	4,277	4,307	3,722	5,222	5,266	4,520
	小計(特例)	4,277	4,307	3,722	5,222	5,266	4,520

- 「特例」の要件を満たしている二次医療圏については、特例の右に「\*」を表示。特例に「\*」の表示がないものは「パターン B」と同じ値である。
- 2013 年医療需要はパターン A、パターン B、特例のいずれも同じ値となる。





表 3. 二次医療圏別の 2013、2025 年の在宅医療等の医療需要推計値

		全年齢			0～14 歳			15～59 歳			60～74 歳			75 歳以上		
		2013 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)
大阪府	パターン A	93,439	166,124	163,980	225	207	210	3,605	4,089	4,099	11,095	10,600	10,458	78,506	151,224	149,214
	パターン B	93,439	162,985	160,848	225	200	204	3,605	3,995	4,007	11,095	10,309	10,174	78,506	148,472	146,464
	特例	93,439	162,648	160,491	225	200	203	3,605	3,987	3,998	11,095	10,277	10,141	78,506	148,176	146,150
2701:豊能	パターン A	11,459	19,739	18,856	25	19	21	415	452	371	1,123	1,049	1,032	9,897	18,220	17,431
	パターン B	11,459	19,553	18,650	25	19	21	415	444	367	1,123	1,030	1,014	9,897	18,060	17,249
	特例	11,459	19,553	18,650	25	19	21	415	444	367	1,123	1,030	1,014	9,897	18,060	17,249
2702:三島	パターン A	6,364	11,708	12,875	18	15	18	246	265	288	817	724	744	5,283	10,704	11,825
	パターン B	6,364	11,568	12,740	18	15	17	246	261	283	817	710	733	5,283	10,582	11,707
	特例	6,364	11,568	12,740	18	15	17	246	261	283	817	710	733	5,283	10,582	11,707
2703:北河内	パターン A	9,875	18,964	20,227	29	21	23	343	390	443	1,222	1,058	1,113	8,281	17,495	18,648
	パターン B	9,875	18,761	20,066	29	21	23	343	381	437	1,222	1,040	1,098	8,281	17,320	18,507
	特例	9,875	18,761	20,066	29	21	23	343	381	437	1,222	1,040	1,098	8,281	17,320	18,507
2704:中河内	パターン A	7,955	13,472	15,576	41	31	15	447	451	452	1,069	932	1,069	6,397	12,058	14,041
	パターン B	7,955	13,360	15,409	41	31	15	447	446	445	1,069	919	1,051	6,397	11,963	13,899
	特例	7,955	13,360	15,409	41	31	15	447	446	445	1,069	919	1,051	6,397	11,963	13,899
2705:南河内	パターン A	6,425	11,702	12,200	0	0	17	276	284	284	811	772	777	5,329	10,639	11,123
	パターン B	6,425	11,385	11,897	0	0	16	276	278	277	811	747	755	5,329	10,352	10,850
	特例	6,425	11,385	11,897	0	0	16	276	278	277	811	747	755	5,329	10,352	10,850
2706:堺市	パターン A	10,422	20,194	18,940	40	32	25	385	476	446	1,327	1,300	1,228	8,671	18,386	17,241
	パターン B	10,422	19,477	18,308	40	32	24	385	459	434	1,327	1,245	1,180	8,671	17,741	16,669
	特例*	10,422	19,346	18,182	40	32	24	385	457	432	1,327	1,234	1,171	8,671	17,624	16,555
2707:泉州	パターン A	8,656	16,194	16,402	27	21	30	390	474	425	1,066	1,231	1,209	7,173	14,469	14,737
	パターン B	8,656	15,595	15,795	27	21	29	390	455	406	1,066	1,166	1,147	7,173	13,953	14,214
	特例*	8,656	15,389	15,564	27	21	28	390	449	399	1,066	1,145	1,123	7,173	13,774	14,014
2708:大阪市	パターン A	32,283	54,151	48,904	45	68	61	1,103	1,297	1,390	3,660	3,534	3,286	27,475	49,253	44,168
	パターン B	32,283	53,286	47,983	45	61	59	1,103	1,271	1,358	3,660	3,452	3,196	27,475	48,501	43,369
	特例	32,283	53,286	47,983	45	61	59	1,103	1,271	1,358	3,660	3,452	3,196	27,475	48,501	43,369

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

なお、大阪府の値は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

1. 「特例」の要件を満たしている二次医療圏については、特例の右に「\*」を表示。特例に「\*」の表示がないものは「パターン B」と同じ値である。
2. 2013 年医療需要はパターン A、パターン B、特例のいずれも同じ値となる。
3. 各年齢階級別の合計と全年齢の数などは、小数点以下の端数処理の関係で異なる場合がある。

表 4-1. 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（全疾患、全年齢）

		全年齢				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	8,633	2,076	8,842	2,282	206
	急性期	26,993	5,159	27,335	5,500	341
	回復期	27,860	5,390	28,228	5,758	368
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	21,102	5,398	21,074	5,368	-30
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	160,848	29,601	162,985	31,738	2,137
	計	245,436	47,624	248,464	50,646	3,022
豊能	高度急性期	978	282	1,077	381	99
	急性期	3,030	733	3,154	858	125
	回復期	3,029	740	3,219	930	190
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	2,689	1,051	2,227	589	-462
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	18,650	3,989	19,553	4,892	903
	計	28,376	6,795	29,230	7,650	855
三島	高度急性期	783	197	717	131	-66
	急性期	2,458	479	2,309	330	-149
	回復期	2,523	472	2,507	456	-16
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,988	414	2,217	643	229
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	12,740	2,807	11,568	1,635	-1,172
	計	20,492	4,369	19,318	3,195	-1,174
北河内	高度急性期	1,046	285	897	136	-149
	急性期	3,624	698	3,369	442	-256
	回復期	4,170	746	4,060	636	-110
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	2,571	590	2,837	855	265
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	20,066	4,049	18,761	2,744	-1,305
	計	31,477	6,368	29,924	4,813	-1,555
中河内	高度急性期	755	348	493	86	-262
	急性期	2,401	816	1,890	305	-511
	回復期	2,919	851	2,483	415	-436
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,664	707	1,173	216	-491
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	15,409	3,959	13,360	1,910	-2,049
	計	23,148	6,681	19,399	2,932	-3,749
南河内	高度急性期	567	160	611	203	43
	急性期	1,801	393	1,962	554	161
	回復期	1,663	420	1,688	445	25
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,620	437	1,750	567	130
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	11,897	2,730	11,385	2,217	-513
	計	17,548	4,140	17,396	3,986	-154
堺市	高度急性期	851	255	744	147	-108
	急性期	2,555	570	2,440	455	-115
	回復期	2,329	509	2,314	494	-15
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	2,351	489	2,814	952	463
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	18,308	3,343	19,477	4,512	1,169
	計	26,394	5,166	27,789	6,560	1,394
泉州	高度急性期	784	185	745	145	-40
	急性期	2,475	460	2,198	182	-278
	回復期	2,606	436	2,361	191	-245
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,993	332	2,115	453	121
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	15,795	2,064	15,595	1,865	-199
	計	23,653	3,477	23,014	2,836	-641
大阪市	高度急性期	2,869	364	3,558	1,053	689
	急性期	8,649	1,010	10,013	2,374	1,364
	回復期	8,621	1,216	9,596	2,191	975
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	6,226	1,378	5,941	1,093	-285
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	47,983	6,660	53,286	11,963	5,303
	計	74,348	10,628	82,394	18,674	8,046

1. 慢性期および在宅医療等の流出入は、異なる算出条件の圏域間で値が一致しなくなるため、すべての二次医療圏でパターン B により算出。



表 4-2. 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（全疾患、0～14 歳）

		0～14 歳				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	735	251	791	296	45
	急性期	675	161	697	179	18
	回復期	80	12	68	0	-12
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	99	44	118	63	19
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	204	33	200	54	21
	計	1,793	501	1,874	592	91
豊能	高度急性期	68	28	91	50	22
	急性期	79	13	111	44	31
	回復期	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	0	0	0	0	0
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	21	0	19	0	0
	計	168	41	221	94	53
三島	高度急性期	101	24	118	40	16
	急性期	48	16	38	0	-16
	回復期	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	13	0	0	0	0
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	17	0	15	0	0
	計	179	40	171	40	0
北河内	高度急性期	82	47	40	0	-47
	急性期	95	31	77	13	-18
	回復期	14	0	14	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	0	0	17	15	15
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	23	0	21	0	0
	計	214	78	169	28	-50
中河内	高度急性期	62	36	32	0	-36
	急性期	49	23	33	0	-23
	回復期	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	0	0	0	0	0
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	15	0	31	18	18
	計	126	59	96	18	-41
南河内	高度急性期	43	20	45	21	1
	急性期	43	0	67	33	33
	回復期	0	0	0	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	0	0	0	0	0
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	16	12	0	0	-12
	計	102	32	112	54	22
堺市	高度急性期	73	49	30	0	-49
	急性期	91	22	79	10	-12
	回復期	10	0	0	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	0	0	11	0	0
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	24	0	32	13	13
	計	198	71	152	23	-48
泉州	高度急性期	53	0	122	79	79
	急性期	64	13	63	13	0
	回復期	11	0	11	0	0
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	0	0	0	0	0
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	29	0	21	0	0
	計	157	13	217	92	79
大阪市	高度急性期	253	47	313	106	59
	急性期	206	43	229	66	23
	回復期	45	12	43	0	-12
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	86	44	90	48	4
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	59	21	61	23	2
	計	649	167	736	243	76

※ 部分(マスキング)は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値、小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。  
 1. 慢性期および在宅医療等の流出入は、異なる算出条件の圏域間で値が一致しなくなるため、すべての二次医療圏でパターン B により算出。

表 4-3. 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（全疾患、15～59 歳）

		15～59 歳				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	1,657	518	1,728	586	68
	急性期	4,501	1,051	4,613	1,167	116
	回復期	3,159	939	3,295	1,076	137
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,532	859	1,353	681	-178
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	4,007	987	3,995	978	-9
	計	14,856	4,354	14,984	4,488	134
豊能	高度急性期	178	58	239	119	61
	急性期	508	125	587	205	80
	回復期	332	103	419	190	87
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	176	114	157	95	-19
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	367	93	444	170	77
	計	1,561	493	1,846	779	286
三島	高度急性期	135	50	115	29	-21
	急性期	401	99	376	75	-24
	回復期	249	86	230	68	-18
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	145	93	90	39	-54
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	283	70	261	49	-21
	計	1,213	398	1,072	260	-138
北河内	高度急性期	190	70	153	32	-38
	急性期	550	139	486	76	-63
	回復期	414	118	387	90	-28
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	214	78	386	250	172
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	437	125	381	69	-56
	計	1,805	530	1,793	517	-13
中河内	高度急性期	139	81	75	17	-64
	急性期	383	151	277	45	-106
	回復期	302	154	200	53	-101
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	134	98	63	27	-71
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	445	107	446	108	1
	計	1,403	591	1,061	250	-341
南河内	高度急性期	96	36	107	47	11
	急性期	264	73	303	113	40
	回復期	170	71	191	92	21
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	125	65	155	94	29
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	277	96	278	97	1
	計	932	341	1,034	443	102
堺市	高度急性期	162	63	135	35	-28
	急性期	435	128	387	80	-48
	回復期	269	98	246	75	-23
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	159	86	120	48	-38
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	434	103	459	128	25
	計	1,459	478	1,347	366	-112
泉州	高度急性期	158	57	128	27	-30
	急性期	430	117	357	43	-74
	回復期	293	100	224	32	-68
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	116	67	89	40	-27
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	406	61	455	111	50
	計	1,403	402	1,253	253	-149
大阪市	高度急性期	599	103	776	280	177
	急性期	1,530	219	1,840	530	311
	回復期	1,130	209	1,398	476	267
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	463	258	293	88	-170
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	1,358	332	1,271	246	-86
	計	5,080	1,121	5,578	1,620	499

1. 慢性期および在宅医療等の流出入は、異なる算出条件の圏域間で値が一致しなくなるため、すべての二次医療圏でパターン B により算出。

表 4-4. 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（全疾患、60～74 歳）

		60～74 歳				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	2,057	514	2,112	569	55
	急性期	5,301	1,236	5,436	1,370	134
	回復期	5,210	1,208	5,381	1,376	168
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	2,117	592	2,155	627	35
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	10,174	1,831	10,309	1,970	139
	計	24,859	5,381	25,393	5,912	531
豊能	高度急性期	232	71	249	88	17
	急性期	578	168	625	215	47
	回復期	567	151	647	230	79
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	282	107	256	81	-26
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	1,014	221	1,030	237	16
	計	2,673	718	2,807	851	133
三島	高度急性期	168	49	144	25	-24
	急性期	462	117	433	88	-29
	回復期	407	106	399	98	-8
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	195	39	227	71	32
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	733	121	710	99	-22
	計	1,965	432	1,913	381	-51
北河内	高度急性期	248	67	216	35	-32
	急性期	689	164	617	92	-72
	回復期	736	163	703	130	-33
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	258	76	292	110	34
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	1,098	224	1,040	165	-59
	計	3,029	694	2,868	532	-162
中河内	高度急性期	181	91	111	21	-70
	急性期	470	203	330	62	-141
	回復期	526	205	402	81	-124
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	178	84	125	30	-54
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	1,051	263	919	132	-131
	計	2,406	846	1,887	326	-520
南河内	高度急性期	139	40	155	56	16
	急性期	363	98	407	142	44
	回復期	329	103	338	112	9
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	132	40	148	55	15
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	755	162	747	155	-7
	計	1,718	443	1,795	520	77
堺市	高度急性期	201	58	184	41	-17
	急性期	491	131	473	113	-18
	回復期	433	113	435	114	1
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	202	47	246	91	44
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	1,180	229	1,245	294	65
	計	2,507	578	2,583	653	75
泉州	高度急性期	205	57	163	16	-41
	急性期	520	134	421	34	-100
	回復期	511	121	425	34	-87
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	198	38	219	59	21
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	1,147	150	1,166	170	20
	計	2,581	500	2,394	313	-187
大阪市	高度急性期	683	81	890	287	206
	急性期	1,728	221	2,130	624	403
	回復期	1,701	246	2,032	577	331
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	672	161	642	130	-31
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	3,196	461	3,452	718	257
	計	7,980	1,170	9,146	2,336	1,166

1. 慢性期および在宅医療等の流出入は、異なる算出条件の圏域間で値が一致しなくなるため、すべての二次医療圏でパターン B により算出。

表 4-5. 二次医療圏別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（全疾患、75 歳以上）

		75 歳以上				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	4,183	787	4,210	813	26
	急性期	16,513	2,698	16,591	2,777	79
	回復期	19,384	3,211	19,446	3,275	64
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	17,309	3,859	17,422	3,970	111
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	146,464	26,723	148,472	28,733	2,010
	計	203,853	37,278	206,141	39,568	2,290
豊能	高度急性期	499	125	498	124	-1
	急性期	1,865	427	1,831	394	-33
	回復期	2,122	484	2,144	506	22
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	2,222	821	1,808	407	-414
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	17,249	3,673	18,060	4,484	811
	計	23,957	5,530	24,341	5,915	385
三島	高度急性期	378	75	340	36	-39
	急性期	1,547	247	1,463	163	-84
	回復期	1,860	277	1,870	288	11
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,635	274	1,890	529	255
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	11,707	2,612	10,582	1,487	-1,125
	計	17,127	3,485	16,145	2,503	-982
北河内	高度急性期	526	102	488	64	-38
	急性期	2,290	364	2,187	262	-102
	回復期	3,006	462	2,956	412	-50
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	2,090	429	2,142	481	52
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	18,507	3,697	17,320	2,510	-1,187
	計	26,419	5,054	25,093	3,729	-1,325
中河内	高度急性期	373	140	274	41	-99
	急性期	1,498	438	1,251	192	-246
	回復期	2,085	489	1,875	279	-210
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,350	523	984	157	-366
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	13,899	3,588	11,963	1,653	-1,935
	計	19,205	5,178	16,347	2,322	-2,856
南河内	高度急性期	289	64	304	79	15
	急性期	1,130	212	1,185	266	54
	回復期	1,158	245	1,151	237	-8
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,355	327	1,443	415	88
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	10,850	2,460	10,352	1,962	-498
	計	14,782	3,308	14,435	2,959	-349
堺市	高度急性期	415	85	395	65	-20
	急性期	1,539	289	1,502	252	-37
	回復期	1,617	293	1,626	302	9
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,982	352	2,437	806	454
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	16,669	3,004	17,741	4,076	1,072
	計	22,222	4,023	23,701	5,501	1,478
泉州	高度急性期	369	62	331	24	-38
	急性期	1,460	195	1,358	93	-102
	回復期	1,791	212	1,701	123	-89
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	1,671	218	1,801	348	130
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	14,214	1,844	13,953	1,584	-260
	計	19,505	2,531	19,144	2,172	-359
大阪市	高度急性期	1,334	134	1,580	380	246
	急性期	5,184	526	5,814	1,155	629
	回復期	5,745	749	6,123	1,128	379
	慢性期(パターン B) <sup>1</sup>	5,004	915	4,917	827	-88
	在宅医療等(パターン B) <sup>1</sup>	43,369	5,845	48,501	10,977	5,132
	計	60,636	8,169	66,935	14,467	6,298

1. 慢性期および在宅医療等の流出入は、異なる算出条件の圏域間で値が一致しなくなるため、すべての二次医療圏でパターン B により算出。

表 5-1. 2013 年の医療機能別医療需要の流入（高度急性期）

		医療機関所在地													
		自県								他県					
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	597	32	0	0	0	0	0	162	0	0	12	22	0
		2702:三島	100	500	11	0	0	0	0	45	10	0	0	0	0
		2703:北河内	22	44	625	13	0	0	0	143	19	0	0	0	0
		2704:中河内	12	0	18	344	20	0	11	242	0	0	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	12	361	34	21	70	0	0	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	92	512	65	67	0	0	0	0	0
		2707:泉州	0	0	0	0	30	54	524	42	0	0	0	0	30
		2708:大阪市	76	17	49	39	25	29	23	2,234	0	11	24	0	0
	他県	2604:京都・乙訓	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2605:山城北	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2801:神戸	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0
		2802:阪神南	15	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0
		2803:阪神北	64	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0
2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0		

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 5-2. 2013 年の医療機能別医療需要の流入（急性期）

		医療機関所在地															
		自県								他県							
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	2903:西和	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	1,811	85	13	0	0	0	0	349	0	0	0	28	62	0	0
		2702:三島	212	1,470	36	0	0	0	0	89	21	0	0	0	0	0	0
		2703:北河内	44	59	2,153	39	0	0	0	310	34	34	0	0	0	11	0
		2704:中河内	24	0	55	1,202	58	0	0	491	0	0	0	0	0	0	0
		2705:南河内	11	0	0	44	1,129	97	12	148	0	0	0	0	0	0	0
		2706:堺市	15	0	0	0	231	1,586	72	138	0	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	12	0	0	0	65	145	1,610	88	0	0	0	0	0	0	67
		2708:大阪市	168	43	142	128	71	95	25	6,203	19	0	22	58	0	0	0
	他県	2604:京都・乙訓	0	22	0	0	0	0	0	12							
		2605:山城北	0	0	52	0	0	0	0	0							
		2801:神戸	12	0	0	0	0	0	0	30							
		2802:阪神南	31	0	0	0	0	0	0	108							
		2803:阪神北	143	0	0	0	0	0	0	70							
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	28							
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	44							
		2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	24							
		3003:橋本	0	0	0	0	23	0	0	0							

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 5-3. 2013 年の医療機能別医療需要の流入（回復期）

		医療機関所在地															
		自県								他県							
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	2903:西和	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	1,695	109	15	0	0	0	0	271	0	0	0	33	86	0	0
		2702:三島	217	1,385	35	0	0	0	0	69	17	0	0	0	0	0	0
		2703:北河内	42	46	2,331	75	0	0	0	252	27	60	0	0	0	15	0
		2704:中河内	19	0	102	1,453	55	0	0	452	0	0	0	0	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	50	936	102	0	153	0	0	0	0	0	0	0
		2706:堺市	12	0	0	0	175	1,359	71	120	0	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	11	0	0	0	44	147	1,627	80	0	0	0	0	0	0	57
		2708:大阪市	183	92	200	145	48	100	27	5,796	15	0	20	45	0	12	0
	他県	2402:中勢伊賀	0	0	0	0	0	0	0	10							
		2604:京都・乙訓	0	27	0	0	0	0	0	16							
		2605:山城北	0	0	58	0	0	0	0	0							
		2801:神戸	11	0	0	0	0	0	0	26							
		2802:阪神南	40	0	0	0	0	0	0	124							
		2803:阪神北	142	12	0	0	0	0	0	63							
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	27							
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	42							
		2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	24							
		3003:橋本	0	0	0	0	19	0	0	0							

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 5-4. 2013 年の医療機能別医療需要の流出入（慢性期（パターン B））

		医療機関所在地																		
		自県									他県									
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	2901:奈良	2903:西和	2904:中和	3001:和歌山	3005:御坊	
患者住所地	自県	2701:豊能	1,386	242	56	0	24	39	17	150	0	0	11	36	276	0	0	0	0	0
		2702:三島	69	1,217	142	0	0	0	0	49	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2703:北河内	21	50	1,461	49	22	26	14	197	25	18	0	0	0	0	12	0	0	0
		2704:中河内	20	0	172	842	69	40	23	238	0	0	0	0	0	0	12	55	0	0
		2705:南河内	0	0	23	18	1,326	292	43	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
		2706:堺市	13	0	25	0	288	2,478	155	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	12	0	12	0	47	301	2,463	52	0	0	0	0	0	0	0	0	15	16
		2708:大阪市	275	126	228	97	75	322	104	5,334	21	23	14	49	56	13	31	13	0	10
	他県	2604:京都・乙訓	0	26	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2605:山城北	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2801:神戸	11	0	0	0	0	13	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2802:阪神南	67	13	0	0	0	19	0	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2803:阪神北	72	13	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2901:奈良	0	0	50	11	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2903:西和	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2904:中和	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3001:和歌山	0	0	0	0	0	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3002:那賀	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3003:橋本	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。



表 6-1. 2025 年の医療機能別医療需要の流入（高度急性期）

		医療機関所在地														
		自県								他県						
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	696	33	0	0	0	0	0	176	0	0	0	12	29	0
		2702:三島	106	586	13	0	0	0	0	49	11	0	0	0	0	0
		2703:北河内	22	38	762	15	0	0	0	148	19	12	0	0	0	0
		2704:中河内	12	0	22	407	22	0	0	256	0	0	0	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	14	408	38	16	72	0	0	0	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	98	596	60	70	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	0	0	0	0	30	59	599	43	0	0	0	0	0	33
		2708:大阪市	79	16	55	43	28	33	20	2,505	0	0	11	27	0	0
	他県	2604:京都・乙訓	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2605:山城北	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2801:神戸	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0
		2802:阪神南	16	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0
		2803:阪神北	68	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0
2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0		

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 6-2. 2025 年の医療機能別医療需要の流入（急性期）

		医療機関所在地															
		自県								他県							
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	2903:西和	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	2,296	109	15	0	0	0	0	421	0	0	0	32	87	0	0
		2702:三島	250	1,979	48	0	0	0	0	106	25	0	0	0	0	0	0
		2703:北河内	49	65	2,926	50	0	0	0	366	35	55	0	0	0	15	0
		2704:中河内	24	0	72	1,585	68	0	0	577	0	0	0	0	0	0	0
		2705:南河内	11	0	0	56	1,408	117	13	160	0	0	0	0	0	0	0
		2706:堺市	16	0	0	0	263	1,985	88	156	0	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	12	0	0	0	68	168	2,016	94	0	0	0	0	0	0	79
		2708:大阪市	193	49	170	157	81	115	27	7,639	19	0	24	67	0	0	0
	他県	2604:京都・乙訓	0	24	0	0	0	0	0	13							
		2605:山城北	0	0	64	0	0	0	0	11							
		2801:神戸	14	0	0	0	0	0	0	32							
		2802:阪神南	34	0	0	0	0	0	0	116							
		2803:阪神北	166	11	0	0	0	0	0	78							
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	30							
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	47							
		2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	26							
		3003:橋本	0	0	0	0	22	0	0	0							

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 6-3. 2025 年の医療機能別医療需要の流入（回復期）

		医療機関所在地															
		自県								他県							
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	2903:西和	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	2,289	150	18	0	0	0	0	329	0	0	0	41	128	0	0
		2702:三島	273	2,051	49	0	0	0	0	84	21	0	0	0	0	0	0
		2703:北河内	48	55	3,424	108	0	0	0	321	29	101	0	0	0	21	0
		2704:中河内	21	10	134	2,068	70	0	0	543	0	0	0	0	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	63	1,243	128	11	170	0	0	0	0	0	0	0
		2706:堺市	13	0	0	0	207	1,821	95	137	0	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	12	0	0	0	47	180	2,170	86	0	0	0	0	0	0	67
		2708:大阪市	228	118	251	185	56	122	30	7,405	15	0	24	53	12	16	0
	他県	2402:中勢伊賀	0	0	0	0	0	0	0	11							
		2604:京都・乙訓	0	32	11	0	0	0	0	18							
		2605:山城北	0	0	74	0	0	0	0	0							
		2801:神戸	14	0	0	0	0	0	0	31							
		2802:阪神南	45	0	0	0	0	0	0	143							
		2803:阪神北	170	15	0	0	0	0	0	72							
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	29							
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	46							
		2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	26							
		3003:橋本	0	0	0	0	19	0	0	0							

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 6-4. 2025 年の医療機能別医療需要の流入（慢性期（パターン B））

		医療機関所在地																	
		自県								他県									
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2605:山城北	2801:神戸	2802:阪神南	2803:阪神北	2901:奈良	2903:西和	3004:中和	3005:御坊	
患者住所地	自県	2701:豊能	1,638	325	58	0	21	43	16	162	0	0	0	35	311	0	0	0	0
		2702:三島	86	1,575	163	0	0	11	0	46	29	0	0	0	10	0	0	0	0
		2703:北河内	25	59	1,982	55	26	30	15	243	28	22	0	0	0	19	0	0	0
		2704:中河内	21	0	162	957	71	43	27	251	0	0	0	0	0	12	60	0	0
		2705:南河内	0	0	19	15	1,183	253	29	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2706:堺市	10	0	23	0	229	1,862	115	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2707:泉州	0	0	10	0	33	195	1,662	30	0	0	0	0	0	0	0	0	16
		2708:大阪市	250	140	202	92	65	265	83	4,848	18	25	12	40	46	11	30	10	10
	他県	2604:京都・乙訓	0	30	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2605:山城北	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2801:神戸	12	0	0	0	0	13	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2802:阪神南	60	13	0	0	0	16	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2803:阪神北	68	18	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2901:奈良	0	0	49	11	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2903:西和	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3001:和歌山	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3002:那賀	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3003:橋本	0	0	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 7-1. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（全がん、75 歳未満）

		全がん(75歳未満)					
		2013年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	1,247	1,102	1,050	1,663	1,471	1,399
	急性期	2,510	2,228	2,123	3,216	2,856	2,722
	回復期	1,949	1,735	1,639	2,165	1,927	1,822
	小計	5,706	5,065	4,812	7,044	6,254	5,943
2701:豊能	高度急性期	147	130	117	196	174	155
	急性期	301	270	243	386	346	311
	回復期	269	243	201	299	270	223
	小計	717	643	561	881	790	689
2702:三島	高度急性期	89	77	89	119	103	119
	急性期	218	188	197	279	241	252
	回復期	133	116	133	148	129	148
	小計	440	381	419	546	473	519
2703:北河内	高度急性期	111	95	123	148	127	164
	急性期	257	220	267	329	282	342
	回復期	197	168	208	219	187	231
	小計	565	483	598	696	596	737
2704:中河内	高度急性期	38	33	94	51	44	125
	急性期	109	96	186	140	122	239
	回復期	102	89	157	113	99	174
	小計	249	218	437	304	265	538
2705:南河内	高度急性期	94	78	67	125	104	90
	急性期	189	159	133	242	204	171
	回復期	134	113	105	149	125	117
	小計	417	350	305	516	433	378
2706:堺市	高度急性期	93	79	104	124	105	139
	急性期	192	163	198	246	209	254
	回復期	144	122	144	160	135	161
	小計	429	364	446	530	449	554
2707:泉州	高度急性期	107	94	109	143	126	145
	急性期	170	151	197	218	194	253
	回復期	111	99	145	123	110	161
	小計	388	344	451	484	430	559
2708:大阪市	高度急性期	568	516	347	757	688	462
	急性期	1,074	981	702	1,376	1,258	900
	回復期	859	785	546	954	872	607
	小計	2,501	2,282	1,595	3,087	2,818	1,969

表 7-2. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（全がん、75 歳以上）

		全がん(75歳以上)					
		2013年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	492	794	780	653	1,059	1,038
	急性期	1,295	2,113	2,073	1,657	2,709	2,660
	回復期	1,025	1,668	1,627	1,140	1,852	1,808
	小計	2,812	4,575	4,480	3,450	5,620	5,506
2701:豊能	高度急性期	64	105	105	85	140	139
	急性期	154	254	251	197	326	322
	回復期	122	199	188	136	221	209
	小計	340	558	544	418	687	670
2702:三島	高度急性期	38	66	72	50	89	96
	急性期	109	194	209	139	248	269
	回復期	75	133	147	84	147	163
	小計	222	393	428	273	484	528
2703:北河内	高度急性期	45	83	95	60	110	127
	急性期	138	251	279	176	322	358
	回復期	112	205	227	124	227	252
	小計	295	539	601	360	659	737
2704:中河内	高度急性期	22	36	65	29	47	86
	急性期	76	127	191	97	163	245
	回復期	70	116	164	77	129	182
	小計	168	279	420	203	339	513
2705:南河内	高度急性期	38	60	56	50	81	75
	急性期	100	161	149	128	207	191
	回復期	76	124	117	85	138	130
	小計	214	345	322	263	426	396
2706:堺市	高度急性期	47	76	82	62	101	109
	急性期	109	178	197	140	228	253
	回復期	83	134	150	92	149	167
	小計	239	388	429	294	478	529
2707:泉州	高度急性期	39	61	74	52	82	98
	急性期	95	152	183	122	195	235
	回復期	71	114	141	79	127	157
	小計	205	327	398	253	404	490
2708:大阪市	高度急性期	199	307	231	265	409	308
	急性期	514	796	614	658	1,020	787
	回復期	416	643	493	463	714	548
	小計	1,129	1,746	1,338	1,386	2,143	1,643

表 7-3. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（全がん、全年齢）

		全がん(全年齢)					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	1,738	1,898	1,830	2,318	2,531	2,440
	急性期	3,803	4,340	4,197	4,877	5,564	5,383
	回復期	2,975	3,404	3,265	3,306	3,781	3,629
	小計	8,516	9,642	9,292	10,501	11,876	11,452
2701:豊能	高度急性期	210	235	221	281	313	295
	急性期	455	524	494	584	671	633
	回復期	391	442	389	434	491	432
	小計	1,056	1,201	1,104	1,299	1,475	1,360
2702:三島	高度急性期	127	143	162	169	191	216
	急性期	326	381	406	418	489	521
	回復期	209	249	280	232	277	311
	小計	662	773	848	819	957	1,048
2703:北河内	高度急性期	157	178	218	209	238	291
	急性期	395	471	546	506	604	701
	回復期	309	373	434	343	414	483
	小計	861	1,022	1,198	1,058	1,256	1,475
2704:中河内	高度急性期	60	69	159	80	92	211
	急性期	185	223	377	238	285	484
	回復期	172	205	320	191	228	356
	小計	417	497	856	509	605	1,051
2705:南河内	高度急性期	132	139	124	175	185	165
	急性期	289	320	282	370	411	362
	回復期	210	237	222	234	263	247
	小計	631	696	628	779	859	774
2706:堺市	高度急性期	139	155	186	186	206	248
	急性期	301	341	395	386	437	506
	回復期	227	256	295	252	284	327
	小計	667	752	876	824	927	1,081
2707:泉州	高度急性期	146	156	183	195	208	244
	急性期	265	303	380	340	389	488
	回復期	182	214	286	203	237	318
	小計	593	673	849	738	834	1,050
2708:大阪市	高度急性期	767	823	577	1,023	1,098	770
	急性期	1,587	1,777	1,317	2,035	2,278	1,688
	回復期	1,275	1,428	1,039	1,417	1,587	1,155
	小計	3,629	4,028	2,933	4,475	4,963	3,613

表 7-4. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（脳卒中、全年齢）

		脳卒中					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	410	506	500	545	675	666
	急性期	1,175	1,563	1,553	1,505	2,004	1,993
	回復期	670	923	914	746	1,027	1,013
	小計	2,255	2,992	2,967	2,796	3,706	3,672
2701:豊能	高度急性期	63	78	63	84	104	84
	急性期	147	194	170	188	248	218
	回復期	76	102	89	85	114	98
	小計	286	374	322	357	466	400
2702:三島	高度急性期	21	28	40	27	38	53
	急性期	78	117	140	100	150	179
	回復期	43	66	76	48	74	84
	小計	142	211	256	175	262	316
2703:北河内	高度急性期	39	50	53	52	66	70
	急性期	153	214	213	196	275	274
	回復期	102	153	153	114	171	170
	小計	294	417	419	362	512	514
2704:中河内	高度急性期	26	33	43	35	43	58
	急性期	96	126	143	123	162	183
	回復期	72	100	103	80	111	114
	小計	194	259	289	238	316	355
2705:南河内	高度急性期	22	27	28	29	37	37
	急性期	95	127	114	121	163	146
	回復期	47	66	63	52	73	70
	小計	164	220	205	202	273	253
2706:堺市	高度急性期	30	37	42	40	49	56
	急性期	101	132	149	129	169	191
	回復期	44	58	64	49	65	71
	小計	175	227	255	218	283	318
2707:泉州	高度急性期	28	33	39	37	44	52
	急性期	91	118	131	117	151	169
	回復期	46	61	66	51	67	73
	小計	165	212	236	205	262	294
2708:大阪市	高度急性期	181	220	192	241	294	256
	急性期	414	535	493	531	686	633
	回復期	240	317	300	267	352	333
	小計	835	1,072	985	1,039	1,332	1,222



表 7-5. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（急性心筋梗塞、全年齢）

		急性心筋梗塞					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	47	55	62	62	74	82
	急性期	119	153	163	152	196	207
	回復期	17	21	19	19	23	21
	小計	183	229	244	233	293	310
2701:豊能	高度急性期	10	12	11	13	16	15
	急性期	16	19	21	20	25	26
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	26	31	32	33	41	41
2702:三島	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	12	0	0	15
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	12	0	0	15
2703:北河内	高度急性期	11	13	12	14	18	16
	急性期	18	23	22	23	29	28
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	29	36	34	37	47	44
2704:中河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	10	14	0	13	17
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	10	14	0	13	17
2705:南河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	11	13	11	14	16	14
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	11	13	11	14	16	14
2706:堺市	高度急性期	0	0	11	0	0	14
	急性期	15	17	18	19	22	23
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	15	17	29	19	22	37
2707:泉州	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	12	15	17	16	19	22
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	12	15	17	16	19	22
2708:大阪市	高度急性期	26	30	28	35	40	37
	急性期	47	56	48	60	72	62
	回復期	17	21	19	19	23	21
	小計	90	107	95	114	135	120

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の  
 数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-6. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要 (MDC05 循環器疾患、全年齢)

		MDC05 循環器疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	892	1,090	1,064	1,191	1,454	1,420
	急性期	1,827	2,443	2,414	2,340	3,131	3,093
	回復期	1,034	1,429	1,410	1,149	1,587	1,568
	小計	3,753	4,962	4,888	4,680	6,172	6,081
2701:豊能	高度急性期	143	166	120	190	222	161
	急性期	262	333	275	336	426	352
	回復期	143	186	152	159	206	169
	小計	548	685	547	685	854	682
2702:三島	高度急性期	55	71	90	74	95	121
	急性期	123	177	211	157	227	270
	回復期	61	91	111	68	101	124
	小計	239	339	412	299	423	515
2703:北河内	高度急性期	89	118	132	119	157	176
	急性期	205	297	326	262	381	418
	回復期	132	205	216	147	228	240
	小計	426	620	674	528	766	834
2704:中河内	高度急性期	51	65	95	69	87	126
	急性期	126	176	228	162	226	293
	回復期	88	126	154	97	140	171
	小計	265	367	477	328	453	590
2705:南河内	高度急性期	63	76	65	85	102	87
	急性期	139	180	151	178	230	194
	回復期	74	101	93	82	112	103
	小計	276	357	309	345	444	384
2706:堺市	高度急性期	76	93	108	101	124	144
	急性期	159	215	241	204	275	308
	回復期	76	104	118	85	116	132
	小計	311	412	467	390	515	584
2707:泉州	高度急性期	76	93	101	101	123	134
	急性期	150	199	218	192	256	279
	回復期	76	107	117	84	119	130
	小計	302	399	436	377	498	543
2708:大阪市	高度急性期	339	408	353	452	544	471
	急性期	663	866	764	849	1,110	979
	回復期	384	509	449	427	565	499
	小計	1,386	1,783	1,566	1,728	2,219	1,949

表 7-7. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（成人肺炎、全年齢）

		成人肺炎					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	405	514	512	541	685	682
	急性期	1,852	2,731	2,723	2,374	3,504	3,491
	回復期	1,115	1,777	1,782	1,241	1,975	1,980
	小計	3,372	5,022	5,017	4,156	6,164	6,153
2701:豊能	高度急性期	45	57	56	60	76	75
	急性期	198	294	317	254	377	406
	回復期	112	177	194	125	197	215
	小計	355	528	567	439	650	696
2702:三島	高度急性期	36	45	49	48	60	65
	急性期	145	238	243	185	306	312
	回復期	85	145	139	95	161	154
	小計	266	428	431	328	527	531
2703:北河内	高度急性期	38	54	61	50	72	81
	急性期	217	358	377	279	460	484
	回復期	169	303	309	188	337	344
	小計	424	715	747	517	869	909
2704:中河内	高度急性期	32	41	48	43	55	64
	急性期	150	233	255	192	299	327
	回復期	114	190	208	127	211	231
	小計	296	464	511	362	565	622
2705:南河内	高度急性期	31	39	35	42	52	47
	急性期	134	190	177	172	243	227
	回復期	92	143	134	102	159	149
	小計	257	372	346	316	454	423
2706:堺市	高度急性期	34	44	48	45	59	63
	急性期	176	247	240	226	317	308
	回復期	75	113	108	83	126	120
	小計	285	404	396	354	502	491
2707:泉州	高度急性期	34	44	44	46	58	59
	急性期	160	226	240	205	290	307
	回復期	88	133	137	98	148	152
	小計	282	403	421	349	496	518
2708:大阪市	高度急性期	155	190	171	207	253	228
	急性期	672	945	874	861	1,212	1,120
	回復期	380	573	553	423	636	615
	小計	1,207	1,708	1,598	1,491	2,101	1,963

表 7-8. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（大腿骨頸部骨折、全年齢）

		大腿骨頸部骨折					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	57	154	156	76	206	208
	急性期	614	961	972	790	1,232	1,246
	回復期	471	747	757	525	829	841
	小計	1,142	1,862	1,885	1,391	2,267	2,295
2701:豊能	高度急性期	0	14	16	0	19	22
	急性期	60	95	102	77	122	131
	回復期	35	54	64	39	60	72
	小計	95	163	182	116	201	225
2702:三島	高度急性期	0	13	14	0	17	18
	急性期	42	71	77	54	91	99
	回復期	35	59	60	39	65	67
	小計	77	143	151	93	173	184
2703:北河内	高度急性期	12	21	21	16	28	28
	急性期	79	137	137	102	176	176
	回復期	77	135	132	86	151	146
	小計	168	293	290	204	355	350
2704:中河内	高度急性期	0	14	15	0	19	20
	急性期	53	85	91	68	109	117
	回復期	55	90	93	61	100	103
	小計	108	189	199	129	228	240
2705:南河内	高度急性期	0	12	11	0	15	15
	急性期	43	68	68	56	87	87
	回復期	35	55	54	39	61	60
	小計	78	135	133	95	163	162
2706:堺市	高度急性期	0	15	16	0	20	21
	急性期	62	96	98	80	123	125
	回復期	43	68	72	48	75	80
	小計	105	179	186	128	218	226
2707:泉州	高度急性期	12	17	17	16	23	23
	急性期	71	107	109	91	137	139
	回復期	40	61	61	45	67	68
	小計	123	185	187	152	227	230
2708:大阪市	高度急性期	33	48	46	44	65	61
	急性期	204	302	290	262	387	372
	回復期	151	225	221	168	250	245
	小計	388	575	557	474	702	678

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の  
 数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-9. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（周産期医療、0～4 歳および 15～59 歳）

		周産期医療					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	598	449	417	796	598	556
	急性期	1,421	1,305	1,289	1,822	1,670	1,653
	回復期						
	小計	2,019	1,754	1,706	2,618	2,268	2,209
2701:豊能	高度急性期	91	67	51	121	89	68
	急性期	214	191	172	274	245	221
	回復期						
	小計	305	258	223	395	334	289
2702:三島	高度急性期	83	62	46	110	83	61
	急性期	129	121	122	165	155	156
	回復期						
	小計	212	183	168	275	238	217
2703:北河内	高度急性期	24	18	47	32	24	63
	急性期	151	142	154	193	182	198
	回復期						
	小計	175	160	201	225	206	261
2704:中河内	高度急性期	20	15	32	27	20	42
	急性期	113	105	111	145	134	143
	回復期						
	小計	133	120	143	172	154	185
2705:南河内	高度急性期	35	26	24	46	35	32
	急性期	90	82	77	116	105	98
	回復期						
	小計	125	108	101	162	140	130
2706:堺市	高度急性期	24	19	35	32	25	47
	急性期	116	112	124	149	143	159
	回復期						
	小計	140	131	159	181	168	206
2707:泉州	高度急性期	76	58	32	101	77	43
	急性期	146	137	131	187	175	168
	回復期						
	小計	222	195	163	288	252	211
2708:大阪市	高度急性期	245	184	150	327	245	200
	急性期	462	415	398	593	531	510
	回復期						
	小計	707	599	548	920	776	710

1. 周産期医療は高度急性期、急性期と定義したため、回復期を算出されない。

表 7-10. 主要疾患別の 2013、2025 年の医療機能別医療需要（小児医療、0～14 歳）

		小児医療					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	1,062	791	735	1,412	1,055	983
	急性期	932	697	675	1,196	892	867
	回復期	113	68	80	125	74	88
	小計	2,107	1,556	1,490	2,733	2,021	1,938
2701:豊能	高度急性期	124	91	68	165	121	91
	急性期	151	111	79	194	142	102
	回復期	13	0	0	15	0	0
	小計	288	202	147	374	263	193
2702:三島	高度急性期	154	118	101	206	157	135
	急性期	48	38	48	62	48	61
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	202	156	149	268	205	196
2703:北河内	高度急性期	56	40	82	74	54	109
	急性期	106	77	95	136	99	122
	回復期	19	14	14	21	15	15
	小計	181	131	191	231	168	246
2704:中河内	高度急性期	46	32	62	61	43	83
	急性期	47	33	49	60	42	63
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	93	65	111	121	85	146
2705:南河内	高度急性期	62	45	43	82	60	58
	急性期	91	67	43	117	86	56
	回復期	10	0	0	11	0	0
	小計	163	112	86	210	146	114
2706:堺市	高度急性期	39	30	73	51	40	98
	急性期	101	79	91	129	101	116
	回復期	0	0	10	0	0	11
	小計	140	109	174	180	141	225
2707:泉州	高度急性期	161	122	53	214	163	71
	急性期	82	63	64	105	81	82
	回復期	14	11	11	15	12	12
	小計	257	196	128	334	256	165
2708:大阪市	高度急性期	420	313	253	559	417	338
	急性期	306	229	206	393	293	265
	回復期	57	43	45	63	47	50
	小計	783	585	504	1,015	757	653

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の  
 数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-11. MDC 診断群別の医療需要 (MDC01 神経系疾患)

		MDC01 神経系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	676	780	763	901	1,042	1,020
	急性期	1,863	2,374	2,344	2,388	3,044	3,004
	回復期	1,100	1,454	1,430	1,223	1,616	1,588
	小計	3,639	4,608	4,537	4,512	5,702	5,612
2701:豊能	高度急性期	93	109	92	124	146	123
	急性期	235	295	258	301	379	331
	回復期	132	169	144	147	188	160
	小計	460	573	494	572	713	614
2702:三島	高度急性期	42	51	64	56	68	86
	急性期	132	184	214	169	236	274
	回復期	68	100	115	76	112	127
	小計	242	335	393	301	416	487
2703:北河内	高度急性期	59	72	84	79	96	112
	急性期	231	314	323	297	402	413
	回復期	154	224	229	171	249	254
	小計	444	610	636	547	747	779
2704:中河内	高度急性期	37	44	67	49	59	90
	急性期	133	172	213	170	221	273
	回復期	105	143	157	117	159	175
	小計	275	359	437	336	439	538
2705:南河内	高度急性期	38	44	44	50	59	59
	急性期	144	185	168	184	237	216
	回復期	77	104	100	86	115	111
	小計	259	333	312	320	411	386
2706:堺市	高度急性期	47	55	68	62	73	90
	急性期	157	198	226	201	253	289
	回復期	77	100	111	86	111	124
	小計	281	353	405	349	437	503
2707:泉州	高度急性期	53	57	62	71	77	83
	急性期	131	165	193	168	212	248
	回復期	70	90	103	77	100	114
	小計	254	312	358	316	389	445
2708:大阪市	高度急性期	307	348	282	410	464	377
	急性期	700	861	749	898	1,104	960
	回復期	417	524	471	463	582	523
	小計	1,424	1,733	1,502	1,771	2,150	1,860

表 7-12. MDC 診断群別の医療需要 (MDC02 眼科系疾患)

		MDC02 眼科系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	275	328	319	366	439	429
	急性期	326	390	377	416	499	483
	回復期	370	436	431	411	484	478
	小計	971	1,154	1,127	1,193	1,422	1,390
2701:豊能	高度急性期	21	26	34	28	35	45
	急性期	30	36	41	38	46	53
	回復期	37	44	53	41	49	59
	小計	88	106	128	107	130	157
2702:三島	高度急性期	20	25	28	26	34	38
	急性期	31	39	39	40	50	49
	回復期	23	27	31	25	30	34
	小計	74	91	98	91	114	121
2703:北河内	高度急性期	37	47	48	50	63	65
	急性期	44	56	56	56	71	71
	回復期	61	74	72	68	82	80
	小計	142	177	176	174	216	216
2704:中河内	高度急性期	13	16	30	17	21	41
	急性期	17	21	38	21	27	49
	回復期	20	26	46	22	29	51
	小計	50	63	114	60	77	141
2705:南河内	高度急性期	19	22	26	25	29	35
	急性期	31	37	37	40	47	48
	回復期	33	39	38	37	43	42
	小計	83	98	101	102	119	125
2706:堺市	高度急性期	34	39	39	45	53	52
	急性期	40	45	42	51	58	54
	回復期	32	36	37	36	40	41
	小計	106	120	118	132	151	147
2707:泉州	高度急性期	14	15	21	19	20	28
	急性期	11	13	25	14	17	32
	回復期	0	0	24	0	0	27
	小計	25	28	70	33	37	87
2708:大阪市	高度急性期	117	138	93	156	184	125
	急性期	122	143	99	156	183	127
	回復期	164	190	130	182	211	144
	小計	403	471	322	494	578	396



表 7-13. MDC 診断群別の医療需要 (MDC03 耳鼻咽喉科系疾患)

		MDC03 耳鼻咽喉科系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	223	209	200	295	279	267
	急性期	433	428	411	556	549	529
	回復期	336	345	329	374	383	365
	小計	992	982	940	1,225	1,211	1,161
2701:豊能	高度急性期	26	24	20	34	32	27
	急性期	59	57	50	76	73	64
	回復期	38	39	35	42	43	39
	小計	123	120	105	152	148	130
2702:三島	高度急性期	17	16	19	22	21	26
	急性期	40	38	41	51	49	53
	回復期	24	24	26	27	27	28
	小計	81	78	86	100	97	107
2703:北河内	高度急性期	22	21	25	29	28	33
	急性期	55	56	58	71	72	75
	回復期	44	48	50	49	53	56
	小計	121	125	133	149	153	164
2704:中河内	高度急性期	12	10	18	16	14	24
	急性期	19	19	31	24	24	40
	回復期	19	20	31	22	22	35
	小計	50	49	80	62	60	99
2705:南河内	高度急性期	14	12	14	18	17	18
	急性期	28	27	27	36	34	35
	回復期	21	20	23	23	23	25
	小計	63	59	64	77	74	78
2706:堺市	高度急性期	19	19	21	25	25	28
	急性期	49	48	47	63	62	60
	回復期	29	30	32	32	33	36
	小計	97	97	100	120	120	124
2707:泉州	高度急性期	16	15	17	22	20	23
	急性期	25	25	36	32	32	47
	回復期	16	17	29	18	19	32
	小計	57	57	82	72	71	102
2708:大阪市	高度急性期	97	92	66	129	122	88
	急性期	158	158	121	203	203	155
	回復期	145	147	103	161	163	114
	小計	400	397	290	493	488	357

表 7-14. MDC 診断群別の医療需要 (MDC04 呼吸器系疾患)

		MDC04 呼吸器系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	863	1,017	1,001	1,150	1,355	1,333
	急性期	3,067	4,159	4,122	3,931	5,331	5,285
	回復期	1,827	2,629	2,614	2,029	2,922	2,904
	小計	5,757	7,805	7,737	7,110	9,608	9,522
2701:豊能	高度急性期	107	126	113	143	169	150
	急性期	353	474	481	452	607	616
	回復期	204	285	288	227	317	320
	小計	664	885	882	822	1,093	1,086
2702:三島	高度急性期	79	93	100	106	123	133
	急性期	244	362	379	313	464	486
	回復期	134	206	209	149	229	232
	小計	457	661	688	568	816	851
2703:北河内	高度急性期	73	95	117	98	127	156
	急性期	332	500	551	425	641	707
	回復期	240	396	420	267	440	467
	小計	645	991	1,088	790	1,208	1,330
2704:中河内	高度急性期	50	60	84	66	80	111
	急性期	203	302	371	260	387	476
	回復期	154	243	293	171	270	326
	小計	407	605	748	497	737	913
2705:南河内	高度急性期	64	74	65	85	98	87
	急性期	231	299	268	296	384	343
	回復期	150	213	194	166	237	216
	小計	445	586	527	547	719	646
2706:堺市	高度急性期	79	95	98	105	127	131
	急性期	301	389	371	386	498	476
	回復期	148	196	182	164	218	202
	小計	528	680	651	655	843	809
2707:泉州	高度急性期	74	86	91	98	114	121
	急性期	243	322	358	312	413	459
	回復期	129	183	202	143	203	224
	小計	446	591	651	553	730	804
2708:大阪市	高度急性期	337	388	333	449	517	444
	急性期	1,160	1,511	1,343	1,487	1,937	1,722
	回復期	668	907	826	742	1,008	917
	小計	2,165	2,806	2,502	2,678	3,462	3,083

表 7-15. MDC 診断群別の医療需要 (MDC05 循環器系疾患)

		MDC05 循環器系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	892	1,090	1,064	1,191	1,454	1,420
	急性期	1,827	2,443	2,414	2,340	3,131	3,093
	回復期	1,034	1,429	1,410	1,149	1,587	1,568
	小計	3,753	4,962	4,888	4,680	6,172	6,081
2701:豊能	高度急性期	143	166	120	190	222	161
	急性期	262	333	275	336	426	352
	回復期	143	186	152	159	206	169
	小計	548	685	547	685	854	682
2702:三島	高度急性期	55	71	90	74	95	121
	急性期	123	177	211	157	227	270
	回復期	61	91	111	68	101	124
	小計	239	339	412	299	423	515
2703:北河内	高度急性期	89	118	132	119	157	176
	急性期	205	297	326	262	381	418
	回復期	132	205	216	147	228	240
	小計	426	620	674	528	766	834
2704:中河内	高度急性期	51	65	95	69	87	126
	急性期	126	176	228	162	226	293
	回復期	88	126	154	97	140	171
	小計	265	367	477	328	453	590
2705:南河内	高度急性期	63	76	65	85	102	87
	急性期	139	180	151	178	230	194
	回復期	74	101	93	82	112	103
	小計	276	357	309	345	444	384
2706:堺市	高度急性期	76	93	108	101	124	144
	急性期	159	215	241	204	275	308
	回復期	76	104	118	85	116	132
	小計	311	412	467	390	515	584
2707:泉州	高度急性期	76	93	101	101	123	134
	急性期	150	199	218	192	256	279
	回復期	76	107	117	84	119	130
	小計	302	399	436	377	498	543
2708:大阪市	高度急性期	339	408	353	452	544	471
	急性期	663	866	764	849	1,110	979
	回復期	384	509	449	427	565	499
	小計	1,386	1,783	1,566	1,728	2,219	1,949

表 7-16. MDC 診断群別の医療需要 (MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・脾臓疾患)

		MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・脾臓疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	1,458	1,665	1,630	1,944	2,222	2,172
	急性期	3,616	4,319	4,246	4,638	5,540	5,444
	回復期	2,600	3,132	3,062	2,889	3,481	3,403
	小計	7,674	9,116	8,938	9,471	11,243	11,019
2701:豊能	高度急性期	159	185	189	211	246	251
	急性期	407	490	495	522	628	635
	回復期	277	329	328	308	366	364
	小計	843	1,004	1,012	1,041	1,240	1,250
2702:三島	高度急性期	113	133	144	151	178	192
	急性期	293	365	393	376	468	504
	回復期	192	244	260	213	271	289
	小計	598	742	797	740	917	985
2703:北河内	高度急性期	142	168	193	190	224	257
	急性期	380	472	528	488	606	677
	回復期	297	378	415	330	421	461
	小計	819	1,018	1,136	1,008	1,251	1,395
2704:中河内	高度急性期	84	97	137	112	130	182
	急性期	228	280	365	292	359	468
	回復期	180	224	288	200	249	320
	小計	492	601	790	604	738	970
2705:南河内	高度急性期	106	118	110	141	158	147
	急性期	272	318	291	349	408	373
	回復期	184	220	212	205	244	236
	小計	562	656	613	695	810	756
2706:堺市	高度急性期	133	153	171	177	204	228
	急性期	311	372	415	399	477	532
	回復期	202	241	270	224	268	300
	小計	646	766	856	800	949	1,060
2707:泉州	高度急性期	123	138	154	164	184	206
	急性期	281	334	386	360	429	495
	回復期	194	236	280	216	262	311
	小計	598	708	820	740	875	1,012
2708:大阪市	高度急性期	598	673	532	798	898	709
	急性期	1,444	1,688	1,373	1,852	2,165	1,760
	回復期	1,074	1,260	1,009	1,193	1,400	1,122
	小計	3,116	3,621	2,914	3,843	4,463	3,591

表 7-17. MDC 診断群別の医療需要 (MDC07 筋骨格系疾患)

		MDC07 筋骨格系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	329	361	348	439	480	465
	急性期	1,606	1,904	1,846	2,059	2,441	2,368
	回復期	1,387	1,704	1,665	1,542	1,892	1,852
	小計	3,322	3,969	3,859	4,040	4,813	4,685
2701:豊能	高度急性期	33	37	36	44	49	48
	急性期	178	214	193	229	274	248
	回復期	126	153	148	140	170	165
	小計	337	404	377	413	493	461
2702:三島	高度急性期	25	28	29	34	37	39
	急性期	135	161	168	173	206	215
	回復期	96	124	130	107	138	145
	小計	256	313	327	314	381	399
2703:北河内	高度急性期	35	40	43	46	53	57
	急性期	185	227	240	237	292	308
	回復期	180	239	248	200	265	276
	小計	400	506	531	483	610	641
2704:中河内	高度急性期	15	17	31	19	23	42
	急性期	75	93	151	96	119	194
	回復期	92	121	165	103	134	183
	小計	182	231	347	218	276	419
2705:南河内	高度急性期	31	34	27	42	45	36
	急性期	149	171	146	191	219	187
	回復期	104	122	113	115	135	126
	小計	284	327	286	348	399	349
2706:堺市	高度急性期	29	33	37	39	44	50
	急性期	140	167	183	179	214	234
	回復期	129	156	158	143	173	176
	小計	298	356	378	361	431	460
2707:泉州	高度急性期	25	27	35	33	35	46
	急性期	121	150	194	155	193	249
	回復期	96	122	161	107	136	179
	小計	242	299	390	295	364	474
2708:大阪市	高度急性期	136	145	110	182	194	147
	急性期	623	721	571	799	924	733
	回復期	564	667	542	627	741	602
	小計	1,323	1,533	1,223	1,608	1,859	1,482

表 7-18. MDC 診断群別の医療需要 (MDC08 皮膚・皮下組織の疾患)

		MDC08 皮膚・皮下組織の疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	30	31	26	40	41	34
	急性期	276	325	312	354	414	402
	回復期	224	280	270	248	310	298
	小計	530	636	608	642	765	734
2701:豊能	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	28	35	33	36	44	42
	回復期	22	28	28	24	32	31
	小計	50	63	61	60	76	73
2702:三島	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	18	23	25	24	30	32
	回復期	14	18	21	15	20	23
	小計	32	41	46	39	50	55
2703:北河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	28	36	40	36	46	51
	回復期	27	38	39	30	42	43
	小計	55	74	79	66	88	94
2704:中河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	17	21	29	21	26	38
	回復期	14	19	26	16	21	29
	小計	31	40	55	37	47	67
2705:南河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	34	36	23	43	46	30
	回復期	30	32	21	33	35	23
	小計	64	68	44	76	81	53
2706:堺市	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	22	26	31	28	33	40
	回復期	14	18	23	15	20	25
	小計	36	44	54	43	53	65
2707:泉州	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	14	17	22	18	22	29
	回復期	11	14	18	12	15	20
	小計	25	31	40	30	37	49
2708:大阪市	高度急性期	30	31	26	40	41	34
	急性期	115	131	109	148	167	140
	回復期	92	113	94	103	125	104
	小計	237	275	229	291	333	278

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-19. MDC 診断群別の医療需要 (MDC09 乳房の疾患)

		MDC09 乳房の疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	25	26	19	34	35	25
	急性期	78	83	90	100	105	115
	回復期	100	114	133	110	126	149
	小計	203	223	242	244	266	289
2701:豊能	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	16	17	14	21	21	17
	回復期	23	23	16	25	26	18
	小計	39	40	30	46	47	35
2702:三島	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	11	0	0	14
	回復期	0	0	12	0	0	14
	小計	0	0	23	0	0	28
2703:北河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	14	15	16	18	19	21
	回復期	15	16	18	16	17	20
	小計	29	31	34	34	36	41
2704:中河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	12	0	0	13
	小計	0	0	12	0	0	13
2705:南河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	10	0	0	12
	小計	0	0	10	0	0	12
2706:堺市	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	10	12	0	11	13
	小計	0	10	12	0	11	13
2707:泉州	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	10	0	0	13
	回復期	10	11	12	11	12	13
	小計	10	11	22	11	12	26
2708:大阪市	高度急性期	25	26	19	34	35	25
	急性期	48	51	39	61	65	50
	回復期	52	54	41	58	60	46
	小計	125	131	99	153	160	121

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-20. MDC 診断群別の医療需要 (MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患)

		MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	173	198	197	229	263	262
	急性期	683	810	811	875	1,040	1,040
	回復期	630	752	747	700	836	830
	小計	1,486	1,760	1,755	1,804	2,139	2,132
2701:豊能	高度急性期	24	26	24	32	34	32
	急性期	92	107	100	118	138	129
	回復期	81	93	83	90	104	92
	小計	197	226	207	240	276	253
2702:三島	高度急性期	13	14	19	17	19	25
	急性期	53	65	78	68	84	100
	回復期	40	52	65	45	58	72
	小計	106	131	162	130	161	197
2703:北河内	高度急性期	14	16	21	18	21	28
	急性期	65	82	93	83	105	119
	回復期	70	90	99	78	100	110
	小計	149	188	213	179	226	257
2704:中河内	高度急性期	0	11	17	0	15	23
	急性期	44	56	71	56	72	91
	回復期	40	53	69	44	59	76
	小計	84	120	157	100	146	190
2705:南河内	高度急性期	11	12	11	14	15	15
	急性期	48	54	49	61	69	63
	回復期	48	54	48	53	60	54
	小計	107	120	108	128	144	132
2706:堺市	高度急性期	15	17	22	20	23	29
	急性期	54	64	72	69	82	92
	回復期	45	53	63	50	59	70
	小計	114	134	157	139	164	191
2707:泉州	高度急性期	14	14	15	19	19	20
	急性期	38	45	58	49	58	75
	回復期	32	39	51	36	43	57
	小計	84	98	124	104	120	152
2708:大阪市	高度急性期	82	88	68	109	117	90
	急性期	289	337	290	371	432	371
	回復期	274	318	269	304	353	299
	小計	645	743	627	784	902	760

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。



表 7-21. MDC 診断群別の医療需要 (MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患)

		MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	488	564	552	650	752	738
	急性期	1,206	1,502	1,475	1,548	1,928	1,889
	回復期	929	1,160	1,130	1,032	1,286	1,255
	小計	2,623	3,226	3,157	3,230	3,966	3,882
2701:豊能	高度急性期	56	65	63	74	87	84
	急性期	132	166	161	169	213	206
	回復期	115	142	131	128	157	146
	小計	303	373	355	371	457	436
2702:三島	高度急性期	34	40	45	45	53	59
	急性期	86	113	122	111	145	156
	回復期	58	76	87	65	84	96
	小計	178	229	254	221	282	311
2703:北河内	高度急性期	56	68	74	75	91	99
	急性期	147	193	203	188	248	260
	回復期	120	159	167	133	177	186
	小計	323	420	444	396	516	545
2704:中河内	高度急性期	29	34	46	38	45	62
	急性期	81	104	127	104	134	162
	回復期	66	86	107	73	95	119
	小計	176	224	280	215	274	343
2705:南河内	高度急性期	31	34	36	41	46	49
	急性期	79	94	99	102	121	127
	回復期	57	72	78	64	80	86
	小計	167	200	213	207	247	262
2706:堺市	高度急性期	45	53	52	60	70	69
	急性期	116	140	133	149	179	170
	回復期	76	92	91	84	102	101
	小計	237	285	276	293	351	340
2707:泉州	高度急性期	44	50	53	59	67	71
	急性期	103	130	147	133	167	189
	回復期	67	87	101	74	96	112
	小計	214	267	301	266	330	372
2708:大阪市	高度急性期	193	220	183	258	293	245
	急性期	462	562	483	592	721	619
	回復期	370	446	368	411	495	409
	小計	1,025	1,228	1,034	1,261	1,509	1,273

表 7-22. MDC 診断群別の医療需要 (MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩)

		MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	315	266	252	419	356	335
	急性期	1,457	1,389	1,367	1,869	1,782	1,754
	回復期	529	467	447	588	519	499
	小計	2,301	2,122	2,066	2,876	2,657	2,588
2701:豊能	高度急性期	46	38	32	61	51	42
	急性期	199	189	179	256	242	230
	回復期	75	67	56	84	74	63
	小計	320	294	267	401	367	335
2702:三島	高度急性期	27	23	22	36	31	29
	急性期	142	137	133	182	175	171
	回復期	42	38	36	47	42	40
	小計	211	198	191	265	248	240
2703:北河内	高度急性期	23	20	28	31	27	38
	急性期	161	156	172	206	200	221
	回復期	48	41	53	53	46	59
	小計	232	217	253	290	273	318
2704:中河内	高度急性期	14	11	20	18	15	26
	急性期	113	107	120	145	138	154
	回復期	33	28	40	37	31	45
	小計	160	146	180	200	184	225
2705:南河内	高度急性期	20	17	16	27	23	21
	急性期	89	85	80	114	109	103
	回復期	30	28	27	33	31	30
	小計	139	130	123	174	163	154
2706:堺市	高度急性期	20	17	23	26	23	31
	急性期	120	118	130	154	152	166
	回復期	28	25	35	31	28	39
	小計	168	160	188	211	203	236
2707:泉州	高度急性期	31	26	21	41	34	28
	急性期	150	143	141	192	184	181
	回復期	52	45	44	58	50	49
	小計	233	214	206	291	268	258
2708:大阪市	高度急性期	134	114	90	179	152	120
	急性期	483	454	412	620	582	528
	回復期	221	195	156	245	217	174
	小計	838	763	658	1,044	951	822

表 7-23. MDC 診断群別の医療需要 (MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患)

		MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	572	621	601	762	826	801
	急性期	687	837	821	883	1,073	1,051
	回復期	379	479	468	423	535	521
	小計	1,638	1,937	1,890	2,068	2,434	2,373
2701:豊能	高度急性期	66	73	71	88	97	94
	急性期	84	103	106	108	132	136
	回復期	48	60	60	54	66	67
	小計	198	236	237	250	295	297
2702:三島	高度急性期	45	53	58	60	70	78
	急性期	57	76	83	74	98	107
	回復期	29	39	42	33	44	47
	小計	131	168	183	167	212	232
2703:北河内	高度急性期	47	53	66	63	71	88
	急性期	66	85	96	84	109	123
	回復期	39	56	61	44	62	68
	小計	152	194	223	191	242	279
2704:中河内	高度急性期	16	19	60	21	25	80
	急性期	30	38	78	38	48	99
	回復期	22	29	49	24	33	54
	小計	68	86	187	83	106	233
2705:南河内	高度急性期	47	49	42	63	65	56
	急性期	57	66	57	73	85	73
	回復期	32	38	31	36	43	35
	小計	136	153	130	172	193	164
2706:堺市	高度急性期	34	36	53	45	48	71
	急性期	46	55	71	60	70	91
	回復期	24	29	39	27	33	43
	小計	104	120	163	132	151	205
2707:泉州	高度急性期	50	50	57	66	66	76
	急性期	52	61	73	67	78	93
	回復期	25	32	41	28	36	46
	小計	127	143	171	161	180	215
2708:大阪市	高度急性期	267	288	194	356	384	258
	急性期	295	353	257	379	453	329
	回復期	160	196	145	177	218	161
	小計	722	837	596	912	1,055	748

表 7-24. MDC 診断群別の医療需要 (MDC14 新生児疾患、先天性奇形)

		MDC14 新生児疾患、先天性奇形					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	394	272	271	528	363	362
	急性期	170	118	142	216	151	182
	回復期	64	41	30	70	46	33
	小計	628	431	443	814	560	577
2701:豊能	高度急性期	63	46	33	85	62	43
	急性期	53	40	20	67	51	26
	回復期	17	13	0	18	15	0
	小計	133	99	53	170	128	69
2702:三島	高度急性期	66	49	34	88	65	45
	急性期	0	0	11	0	0	14
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	66	49	45	88	65	59
2703:北河内	高度急性期	12	0	33	16	0	44
	急性期	16	12	16	20	15	20
	回復期	11	0	0	12	0	0
	小計	39	12	49	48	15	64
2704:中河内	高度急性期	0	0	22	0	0	29
	急性期	0	0	11	0	0	13
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	33	0	0	42
2705:南河内	高度急性期	23	17	15	30	22	21
	急性期	19	14	10	24	18	13
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	42	31	25	54	40	34
2706:堺市	高度急性期	12	0	22	17	0	30
	急性期	0	0	12	0	0	16
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	12	0	34	17	0	46
2707:泉州	高度急性期	60	45	20	81	61	27
	急性期	13	0	10	16	0	13
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	73	45	30	97	61	40
2708:大阪市	高度急性期	158	115	92	211	153	123
	急性期	69	52	52	89	67	67
	回復期	36	28	30	40	31	33
	小計	263	195	174	340	251	223

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-25. MDC 診断群別の医療需要 (MDC15 小児疾患)

		MDC15 小児疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	44	27	35	58	36	47
	急性期	165	161	159	211	208	205
	回復期	19	23	22	21	26	24
	小計	228	211	216	290	270	276
2701:豊能	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	24	23	22	31	30	28
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	24	23	22	31	30	28
2702:三島	高度急性期	12	0	10	15	0	14
	急性期	10	11	12	13	14	16
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	22	11	22	28	14	30
2703:北河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	18	18	20	23	23	26
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	18	18	20	23	23	26
2704:中河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	11	10	11	14	13	14
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	11	10	11	14	13	14
2705:南河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	11	11	10	14	14	13
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	11	11	10	14	14	13
2706:堺市	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	21	19	19	27	25	24
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	21	19	19	27	25	24
2707:泉州	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	13	12	14	16	16	19
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	13	12	14	16	16	19
2708:大阪市	高度急性期	32	27	25	43	36	33
	急性期	57	57	51	73	73	65
	回復期	19	23	22	21	26	24
	小計	108	107	98	137	135	122

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-26. MDC 診断群別の医療需要 (MDC16 外傷・熱傷・中毒)

		MDC16 外傷・熱傷・中毒					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	423	532	537	565	708	717
	急性期	2,117	2,962	2,990	2,714	3,797	3,833
	回復期	1,783	2,538	2,569	1,981	2,821	2,854
	小計	4,323	6,032	6,096	5,260	7,326	7,404
2701:豊能	高度急性期	43	54	57	58	71	76
	急性期	193	273	294	247	350	377
	回復期	133	184	209	148	205	232
	小計	369	511	560	453	626	685
2702:三島	高度急性期	34	45	49	45	60	66
	急性期	168	254	268	216	325	344
	回復期	149	232	233	166	258	259
	小計	351	531	550	427	643	669
2703:北河内	高度急性期	51	69	71	67	92	95
	急性期	278	423	435	356	542	558
	回復期	291	457	463	323	507	515
	小計	620	949	969	746	1,141	1,168
2704:中河内	高度急性期	30	40	46	40	54	61
	急性期	162	234	256	208	300	328
	回復期	197	291	300	219	324	333
	小計	389	565	602	467	678	722
2705:南河内	高度急性期	30	38	36	41	50	48
	急性期	141	189	192	180	242	246
	回復期	109	151	158	121	168	175
	小計	280	378	386	342	460	469
2706:堺市	高度急性期	37	48	52	50	63	69
	急性期	215	305	303	276	391	388
	回復期	161	222	215	179	247	239
	小計	413	575	570	505	701	696
2707:泉州	高度急性期	42	51	53	56	69	71
	急性期	220	303	311	282	389	399
	回復期	149	208	217	165	231	241
	小計	411	562	581	503	689	711
2708:大阪市	高度急性期	156	187	173	208	249	231
	急性期	740	981	931	949	1,258	1,193
	回復期	594	793	774	660	881	860
	小計	1,490	1,961	1,878	1,817	2,388	2,284

表 7-27. MDC 診断群別の医療需要 (MDC17 精神疾患)

		MDC17 精神疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	11	11	0	12	12
	小計	0	11	11	0	12	12
2701:豊能	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2702:三島	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2703:北河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2704:中河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2705:南河内	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2706:堺市	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2707:泉州	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
2708:大阪市	高度急性期	0	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0	0
	回復期	0	11	11	0	12	12
	小計	0	11	11	0	12	12

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-28. MDC 診断群別の医療需要 (MDC18 その他の疾患)

		MDC18 その他の疾患					
		2013 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (医療機関所在地) (人/日)	2025 年度の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (医療機関所在地) (床)	2025 年度の 必要病床数 (患者住所地) (床)
大阪府	高度急性期	224	270	265	298	359	355
	急性期	495	638	624	633	817	801
	回復期	264	344	338	293	382	376
	小計	983	1,252	1,227	1,224	1,558	1,532
2701:豊能	高度急性期	25	31	28	33	41	37
	急性期	55	71	65	70	91	84
	回復期	31	40	34	34	45	38
	小計	111	142	127	137	177	159
2702:三島	高度急性期	14	17	21	19	23	29
	急性期	35	48	54	45	61	70
	回復期	19	25	29	21	28	33
	小計	68	90	104	85	112	132
2703:北河内	高度急性期	26	33	33	34	44	44
	急性期	57	79	79	73	101	102
	回復期	37	50	50	41	55	55
	小計	120	162	162	148	200	201
2704:中河内	高度急性期	12	16	25	17	21	33
	急性期	35	50	64	45	64	82
	回復期	21	30	36	23	33	40
	小計	68	96	125	85	118	155
2705:南河内	高度急性期	15	18	17	20	24	23
	急性期	30	39	35	39	50	45
	回復期	16	22	20	18	24	22
	小計	61	79	72	77	98	90
2706:堺市	高度急性期	20	25	28	26	33	38
	急性期	45	57	63	57	73	80
	回復期	19	24	27	21	27	30
	小計	84	106	118	104	133	148
2707:泉州	高度急性期	22	25	27	29	33	36
	急性期	44	55	63	56	71	81
	回復期	22	29	33	25	32	37
	小計	88	109	123	110	136	154
2708:大阪市	高度急性期	90	105	86	120	140	115
	急性期	194	239	201	248	306	257
	回復期	99	124	109	110	138	121
	小計	383	468	396	478	584	493



表 7-29. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（全がん、75 歳未満）

		全がん(75歳未満)				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	1,050	326	1,102	375	49
	急性期	2,123	607	2,228	712	105
	回復期	1,639	473	1,735	559	86
	総計	4,812	1,406	5,065	1,646	240
豊能	高度急性期	117	39	130	52	13
	急性期	243	75	270	102	27
	回復期	201	55	243	97	42
	小計	561	169	643	251	82
三島	高度急性期	89	30	77	18	-12
	急性期	197	62	188	53	-9
	回復期	133	52	116	35	-17
	小計	419	144	381	106	-38
北河内	高度急性期	123	44	95	17	-27
	急性期	267	85	220	38	-47
	回復期	208	67	168	28	-39
	小計	598	196	483	83	-113
中河内	高度急性期	94	66	33	0	-66
	急性期	186	107	96	17	-90
	回復期	157	86	89	18	-68
	小計	437	259	218	35	-224
南河内	高度急性期	67	22	78	33	11
	急性期	133	44	159	70	26
	回復期	105	40	113	47	7
	小計	305	106	350	150	44
堺市	高度急性期	104	43	79	18	-25
	急性期	198	72	163	37	-35
	回復期	144	50	122	27	-23
	小計	446	165	364	82	-83
泉州	高度急性期	109	38	94	23	-15
	急性期	197	69	151	23	-46
	回復期	145	55	99	0	-55
	小計	451	162	344	46	-116
大阪市	高度急性期	347	44	516	214	170
	急性期	702	93	981	372	279
	回復期	546	68	785	307	239
	小計	1,595	205	2,282	893	688

※   部分（マスクング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスクングが含まれている場合はマスクング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスクングしている。

表 7-30. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値 (全がん、75 歳以上)

		全がん(75歳以上)				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	780	167	794	156	-11
	急性期	2,073	419	2,113	449	30
	回復期	1,627	326	1,668	365	39
	小計	4,480	912	4,575	970	58
豊能	高度急性期	105	24	105	25	1
	急性期	251	61	254	64	3
	回復期	188	46	199	57	11
	小計	544	131	558	146	15
三島	高度急性期	72	14	66	0	-14
	急性期	209	41	194	25	-16
	回復期	147	35	133	21	-14
	小計	428	90	393	46	-44
北河内	高度急性期	95	22	83	0	-22
	急性期	279	58	251	30	-28
	回復期	227	45	205	23	-22
	小計	601	125	539	53	-72
中河内	高度急性期	65	34	36	0	-34
	急性期	191	80	127	16	-64
	回復期	164	63	116	16	-47
	小計	420	177	279	32	-145
南河内	高度急性期	56	15	60	19	4
	急性期	149	34	161	47	13
	回復期	117	27	124	34	7
	小計	322	76	345	100	24
堺市	高度急性期	82	18	76	13	-5
	急性期	197	47	178	27	-20
	回復期	150	36	134	21	-15
	小計	429	101	388	61	-40
泉州	高度急性期	74	17	61	0	-17
	急性期	183	39	152	0	-39
	回復期	141	31	114	0	-31
	小計	398	87	327	0	-87
大阪市	高度急性期	231	23	307	99	76
	急性期	614	59	796	240	181
	回復期	493	43	643	193	150
	小計	1,338	125	1,746	532	407

※   部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマスキング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-31. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値 (全がん、全年齢)

		全がん(全年齢)				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	1,830	495	1,898	563	68
	急性期	4,197	1,027	4,340	1,168	141
	回復期	3,265	800	3,404	938	138
	小計	9,292	2,322	9,642	2,669	347
豊能	高度急性期	221	63	235	77	14
	急性期	494	137	524	166	29
	回復期	389	101	442	154	53
	小計	1,104	301	1,201	397	96
三島	高度急性期	162	44	143	26	-18
	急性期	406	103	381	78	-25
	回復期	280	87	249	56	-31
	小計	848	234	773	160	-74
北河内	高度急性期	218	66	178	26	-40
	急性期	546	142	471	67	-75
	回復期	434	112	373	51	-61
	小計	1,198	320	1,022	144	-176
中河内	高度急性期	159	101	69	11	-90
	急性期	377	187	223	33	-154
	回復期	320	149	205	34	-115
	小計	856	437	497	78	-359
南河内	高度急性期	124	38	139	53	15
	急性期	282	79	320	117	38
	回復期	222	67	237	81	14
	小計	628	184	696	251	67
堺市	高度急性期	186	61	155	30	-31
	急性期	395	119	341	64	-55
	回復期	295	86	256	48	-38
	小計	876	266	752	142	-124
泉州	高度急性期	183	55	156	27	-28
	急性期	380	108	303	30	-78
	回復期	286	87	214	14	-73
	小計	849	250	673	71	-179
大阪市	高度急性期	577	67	823	313	246
	急性期	1,317	152	1,777	613	461
	回復期	1,039	111	1,428	500	389
	小計	2,933	330	4,028	1,426	1,096

表 7-32. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（脳卒中、全年齢）

		脳卒中				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	500	80	506	72	-8
	急性期	1,553	253	1,563	248	-5
	回復期	914	148	923	137	-11
	小計	2,967	481	2,992	457	-24
豊能	高度急性期	63	11	78	26	15
	急性期	170	29	194	53	24
	回復期	89	16	102	29	13
	小計	322	56	374	108	52
三島	高度急性期	40	14	28	0	-14
	急性期	140	31	117	0	-31
	回復期	76	15	66	0	-15
	小計	256	60	211	0	-60
北河内	高度急性期	53	10	50	0	-10
	急性期	213	25	214	26	1
	回復期	153	17	153	18	1
	小計	419	52	417	44	-8
中河内	高度急性期	43	16	33	0	-16
	急性期	143	38	126	22	-16
	回復期	103	25	100	22	-3
	小計	289	79	259	44	-35
南河内	高度急性期	28	0	27	0	0
	急性期	114	19	127	33	14
	回復期	63	12	66	14	2
	小計	205	31	220	47	16
堺市	高度急性期	42	11	37	0	-11
	急性期	149	39	132	21	-18
	回復期	64	16	58	0	-16
	小計	255	66	227	21	-45
泉州	高度急性期	39	0	33	0	0
	急性期	131	21	118	0	-21
	回復期	66	10	61	0	-10
	小計	236	31	212	0	-31
大阪市	高度急性期	192	18	220	46	28
	急性期	493	51	535	93	42
	回復期	300	37	317	54	17
	小計	985	106	1,072	193	87

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-33. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（急性心筋梗塞、全年齢）

		急性心筋梗塞				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	62	0	55	0	0
	急性期	163	0	153	13	13
	回復期	19	0	21	0	0
	小計	244	0	229	13	13
豊能	高度急性期	11	0	12	0	0
	急性期	21	0	19	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	32	0	31	0	0
三島	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	12	0	0	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	12	0	0	0	0
北河内	高度急性期	12	0	13	0	0
	急性期	22	0	23	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	34	0	36	0	0
中河内	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	14	0	10	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	14	0	10	0	0
南河内	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	11	0	13	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	11	0	13	0	0
堺市	高度急性期	11	0	0	0	0
	急性期	18	0	17	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	29	0	17	0	0
泉州	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	17	0	15	0	0
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	17	0	15	0	0
大阪市	高度急性期	28	0	30	0	0
	急性期	48	0	56	13	13
	回復期	19	0	21	0	0
	小計	95	0	107	13	13

※   部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-34. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値 (MDC05 循環器疾患、全年齢)

		MDC05 循環器疾患				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	1,064	251	1,090	266	15
	急性期	2,414	498	2,443	527	29
	回復期	1,410	282	1,429	290	8
	小計	4,888	1,031	4,962	1,083	52
豊能	高度急性期	120	31	166	77	46
	急性期	275	72	333	130	58
	回復期	152	42	186	75	33
	小計	547	145	685	282	137
三島	高度急性期	90	29	71	0	-29
	急性期	211	54	177	20	-34
	回復期	111	31	91	10	-21
	小計	412	114	339	30	-84
北河内	高度急性期	132	35	118	20	-15
	急性期	326	70	297	42	-28
	回復期	216	38	205	27	-11
	小計	674	143	620	89	-54
中河内	高度急性期	95	42	65	12	-30
	急性期	228	83	176	31	-52
	回復期	154	48	126	20	-28
	小計	477	173	367	63	-110
南河内	高度急性期	65	17	76	28	11
	急性期	151	30	180	58	28
	回復期	93	19	101	27	8
	小計	309	66	357	113	47
堺市	高度急性期	108	29	93	14	-15
	急性期	241	57	215	31	-26
	回復期	118	30	104	16	-14
	小計	467	116	412	61	-55
泉州	高度急性期	101	18	93	10	-8
	急性期	218	36	199	17	-19
	回復期	117	20	107	0	-20
	小計	436	74	399	27	-47
大阪市	高度急性期	353	50	408	105	55
	急性期	764	96	866	198	102
	回復期	449	54	509	115	61
	小計	1,566	200	1,783	418	218

※   部分 (マスクング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスクングが含まれている場合はマスクング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスクングしている。

表 7-35. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値 (成人肺炎、全年齢)

		成人肺炎				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	512	63	514	58	-5
	急性期	2,723	388	2,731	397	9
	回復期	1,782	252	1,777	247	-5
	小計	5,017	703	5,022	702	-1
豊能	高度急性期	56	12	57	13	1
	急性期	317	66	294	44	-22
	回復期	194	43	177	27	-16
	小計	567	121	528	84	-37
三島	高度急性期	49	0	45	0	0
	急性期	243	28	238	23	-5
	回復期	139	15	145	20	5
	小計	431	43	428	43	0
北河内	高度急性期	61	12	54	0	-12
	急性期	377	54	358	35	-19
	回復期	309	37	303	31	-6
	小計	747	103	715	66	-37
中河内	高度急性期	48	13	41	0	-13
	急性期	255	60	233	38	-22
	回復期	208	42	190	24	-18
	小計	511	115	464	62	-53
南河内	高度急性期	35	0	39	10	10
	急性期	177	31	190	43	12
	回復期	134	18	143	27	9
	小計	346	49	372	80	31
堺市	高度急性期	48	10	44	0	-10
	急性期	240	34	247	41	7
	回復期	108	18	113	23	5
	小計	396	62	404	64	2
泉州	高度急性期	44	0	44	0	0
	急性期	240	28	226	15	-13
	回復期	137	14	133	10	-4
	小計	421	42	403	25	-17
大阪市	高度急性期	171	16	190	35	19
	急性期	874	87	945	158	71
	回復期	553	65	573	85	20
	小計	1,598	168	1,708	278	110

※   部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 7-36. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（大腿骨頸部骨折、全年齢）

		大腿骨頸部骨折				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	156	0	154	0	0
	急性期	972	131	961	116	-15
	回復期	757	93	747	65	-28
	小計	1,885	224	1,862	181	-43
豊能	高度急性期	16	0	14	0	0
	急性期	102	22	95	15	-7
	回復期	64	18	54	0	-18
	小計	182	40	163	15	-25
三島	高度急性期	14	0	13	0	0
	急性期	77	12	71	0	-12
	回復期	60	0	59	0	0
	小計	151	12	143	0	-12
北河内	高度急性期	21	0	21	0	0
	急性期	137	17	137	18	1
	回復期	132	14	135	17	3
	小計	290	31	293	35	4
中河内	高度急性期	15	0	14	0	0
	急性期	91	21	85	14	-7
	回復期	93	19	90	15	-4
	小計	199	40	189	29	-11
南河内	高度急性期	11	0	12	0	0
	急性期	68	12	68	12	0
	回復期	54	0	55	0	0
	小計	133	12	135	12	0
堺市	高度急性期	16	0	15	0	0
	急性期	98	15	96	14	-1
	回復期	72	13	68	0	-13
	小計	186	28	179	14	-14
泉州	高度急性期	17	0	17	0	0
	急性期	109	0	107	0	0
	回復期	61	0	61	0	0
	小計	187	0	185	0	0
大阪市	高度急性期	46	0	48	0	0
	急性期	290	32	302	43	11
	回復期	221	29	225	33	4
	小計	557	61	575	76	15

※   部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。



表 7-37. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値 (周産期医療、0~4 歳および 15~59 歳)

		周産期医療				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	417	151	449	174	23
	急性期	1,289	111	1,305	120	9
	回復期					
	小計	1,706	262	1,754	294	32
豊能	高度急性期	51	19	67	35	16
	急性期	172	15	191	33	18
	回復期					
	小計	223	34	258	68	34
三島	高度急性期	46	13	62	29	16
	急性期	122	12	121	10	-2
	回復期					
	小計	168	25	183	39	14
北河内	高度急性期	47	33	18	0	-33
	急性期	154	18	142	0	-18
	回復期					
	小計	201	51	160	0	-51
中河内	高度急性期	32	21	15	0	-21
	急性期	111	14	105	0	-14
	回復期					
	小計	143	35	120	0	-35
南河内	高度急性期	24	11	26	13	2
	急性期	77	0	82	13	13
	回復期					
	小計	101	11	108	26	15
堺市	高度急性期	35	21	19	0	-21
	急性期	124	17	112	0	-17
	回復期					
	小計	159	38	131	0	-38
泉州	高度急性期	32	0	58	31	31
	急性期	131	0	137	12	12
	回復期					
	小計	163	0	195	43	43
大阪市	高度急性期	150	33	184	66	33
	急性期	398	35	415	52	17
	回復期					
	小計	548	68	599	118	50

※   部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

1. 周産期医療は高度急性期、急性期と定義したため、回復期を算出されない。

表 7-38. 主要疾患別の 2025 年の医療機能別医療需要および流出入推計値（小児医療、0～14 歳）

		小児医療				
		①在住者 (患者住所地) の医療需要 (人/日)	②流出者数 (人/日)	③医療機関 (医療機関所在地) の医療需要 (人/日)	④流入者数 (人/日)	流入超過 (④-②) (人/日)
大阪府	高度急性期	735	251	791	296	45
	急性期	675	161	697	179	18
	回復期	80	12	68	0	-12
	小計	1,490	424	1,556	475	51
豊能	高度急性期	68	28	91	50	22
	急性期	79	13	111	44	31
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	147	41	202	94	53
三島	高度急性期	101	24	118	40	16
	急性期	48	16	38	0	-16
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	149	40	156	40	0
北河内	高度急性期	82	47	40	0	-47
	急性期	95	31	77	13	-18
	回復期	14	0	14	0	0
	小計	191	78	131	13	-65
中河内	高度急性期	62	36	32	0	-36
	急性期	49	23	33	0	-23
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	111	59	65	0	-59
南河内	高度急性期	43	20	45	21	1
	急性期	43	0	67	33	33
	回復期	0	0	0	0	0
	小計	86	20	112	54	34
堺市	高度急性期	73	49	30	0	-49
	急性期	91	22	79	10	-12
	回復期	10	0	0	0	0
	小計	174	71	109	10	-61
泉州	高度急性期	53	0	122	79	79
	急性期	64	13	63	13	0
	回復期	11	0	11	0	0
	小計	128	13	196	92	79
大阪市	高度急性期	253	47	313	106	59
	急性期	206	43	229	66	23
	回復期	45	12	43	0	-12
	小計	504	102	585	172	70

※   部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。  
 なお、大阪府の値および小計・総計、流入超過は、計算に必要な数値にマスキングが含まれている場合はマス  
 キング以外の数字の合計を示しており、実際の値よりも小さい値であるため、マスキングしている。

表 8-1. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流入（全がん、75 歳未満、高度急性期～回復期）

		医療機関所在地											
		自県								他県			
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2604:京都・乙訓	2803:阪神南	3001:和歌山	
患者住所地	自県	2701:豊能	391	21	0	0	0	0	0	116	0	0	0
		2702:三島	80	276	0	0	0	0	0	39	0	0	0
		2703:北河内	11	20	401	0	0	0	0	121	17	0	0
		2704:中河内	0	0	0	177	0	0	0	214	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	0	199	19	0	68	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	71	282	19	56	0	0	0
		2707:泉州	0	0	0	0	33	35	289	51	0	0	26
		2708:大阪市	42	14	36	21	12	18	0	1,390	0	19	0
	他県	2604:京都・乙訓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2605:山城北	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0
		2801:神戸	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0
		2802:阪神南	13	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0
		2803:阪神北	61	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0
		2904:中和	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0
		3003:橋本	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 8-2. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流出入（全がん、75 歳以上、高度急性期～回復期）

		医療機関所在地											
		自県								他県			
		2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	2802 阪神南	2803 阪神北	3001 和歌山	
患者 住所地	自県	2701:豊能	412	15	0	0	0	0	0	90	0	12	0
		2702:三島	58	338	0	0	0	0	0	21	0	0	0
		2703:北河内	0	14	477	0	0	0	0	79	0	0	0
		2704:中河内	0	0	0	242	11	0	0	149	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	0	246	16	0	47	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	54	328	0	32	0	0	0
		2707:泉州	0	0	0	0	16	29	312	14	0	0	22
		2708:大阪市	26	0	26	19	0	11	0	1,213	14	0	0
	他県	2605:山城北	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0
		2802:阪神南	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0
		2803:阪神北	38	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0
		2901:奈良	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0
		2903:西和	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 8-3. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流入（脳卒中、全年齢、高度急性期～回復期）

		医療機関所在地								
		自県								
		2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	
患者 住所 地	自 県	2701:豊能	265	0	0	0	0	0	0	30
		2702:三島	34	196	0	0	0	0	0	10
		2703:北河内	0	0	367	0	0	0	0	24
		2704:中河内	0	0	10	210	0	0	0	50
		2705:南河内	0	0	0	10	174	0	0	13
		2706:堺市	0	0	0	0	29	190	0	23
		2707:泉州	0	0	0	0	0	17	205	0
		2708:大阪市	26	0	17	25	0	0	0	880
	他 県	2803:阪神北	20	0	0	0	0	0	0	0

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 8-4. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流入 (MDC05 循環器疾患、全年齢、高度急性期～回復期)

		医療機関所在地												
		自県								他県				
		2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	2604 京都・之訓	2802 阪神南	2803 阪神北	3001 和歌山	
患者 住所地	自県	2701:豊能	402	10	0	0	0	0	0	91	0	0	26	0
		2702:三島	69	299	10	0	0	0	0	21	0	0	0	0
		2703:北河内	24	13	531	14	0	0	0	59	10	0	0	0
		2704:中河内	12	0	20	304	17	0	0	107	0	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	0	244	15	0	27	0	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	52	351	22	27	0	0	0	0
		2707:泉州	0	0	0	0	11	25	362	14	0	0	0	12
		2708:大阪市	52	0	28	30	22	16	0	1,365	0	13	0	0
	他県	2605:山城北	0	0	16	0	0	0	0	0				
		2802:阪神南	14	0	0	0	0	0	0	18				
		2803:阪神北	33	0	0	0	0	0	0	12				

※ 部分 (マスキング) は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地 (左) を固定して、各医療機関所在地 (右方向) を見ると、患者住所地 (左) からの患者流出がわかる。

医療機関所在地 (上) を固定して、各患者住所地 (下方) を見ると、医療機関所在地 (上) への患者流入がわかる。

表 8-5. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流入（成人肺炎、全年齢、高度急性期～回復期）

		医療機関所在地											
		自県								他県			
		2701:豊能	2702:三島	2703:北河内	2704:中河内	2705:南河内	2706:堺市	2707:泉州	2708:大阪市	2805:山城北	2802:阪神南	2803:阪神北	
患者住所地	自県	2701:豊能	445	21	0	0	0	0	0	71	0	0	18
		2702:三島	25	388	0	0	0	0	0	11	0	0	0
		2703:北河内	0	0	644	0	0	0	0	55	18	0	0
		2704:中河内	0	0	15	396	18	0	0	70	0	0	0
		2705:南河内	0	0	0	16	297	18	0	13	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	29	334	14	11	0	0	0
		2707:泉州	0	0	0	0	0	24	378	0	0	0	0
		2708:大阪市	26	0	27	36	20	23	0	1,429	0	15	0
	他県	2802:阪神南	0	0	0	0	0	0	0	16			
		2803:阪神北	16	0	0	0	0	0	0	0			

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

148 表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 8-6. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流出入（大腿骨頸部骨折、全年齢、高度急性期～回復期）

		医療機関所在地									
		自県								他県	
		2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	2803 阪神北	
患者 住所 地	自県	2701:豊能	143	0	0	0	0	0	0	11	11
	2702:三島	0	139	0	0	0	0	0	0	0	
	2703:北河内	0	0	259	0	0	0	0	13	0	
	2704:中河内	0	0	0	160	0	0	0	26	0	
	2705:南河内	0	0	0	0	121	0	0	0	0	
	2706:堺市	0	0	0	0	12	157	0	0	0	
	2707:泉州	0	0	0	0	0	0	187	0	0	
	2708:大阪市	0	0	12	16	0	0	0	496	0	

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。



表 8-7. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流出入（周産期医療相当<sup>1</sup>）

		医療機関所在地								
		自県								
		2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	
患者住所地	自県	2701:豊能	189	0	0	0	0	0	0	16
		2702:三島	12	143	0	0	0	0	0	0
		2703:北河内	0	16	151	0	0	0	0	17
		2704:中河内	0	0	0	108	0	0	0	20
		2705:南河内	0	0	0	0	90	0	0	0
		2706:堺市	0	0	0	0	11	121	15	0
		2707:泉州	0	0	0	0	0	0	163	0
		2708:大阪市	15	0	0	0	0	0	0	480

※ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

1. MDC12、14（がんを除く）について、0～4 歳、15～59 歳の高度急性期・急性期に限定している。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

表 8-8. 主要疾患別の 2025 年の医療需要の流出入（小児医療）

		医療機関所在地								
		自県								
		2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	
患者 住所地	自県	2701:豊能	106	0	0	0	0	0	0	21
		2702:三島	24	110	0	0	0	0	0	15
		2703:北河内	0	18	113	0	0	0	0	41
		2704:中河内	0	0	0	52	0	0	0	35
		2705:南河内	0	0	0	0	67	0	12	0
		2706:堺市	0	0	0	0	23	103	36	10
		2707:泉州	0	0	0	0	0	0	114	0
		2708:大阪市	20	0	14	22	10	0	13	403
	他県	2802:阪神南	0	0	0	0	0	0	0	14
		2803:阪神北	13	0	0	0	0	0	0	0

151

※ ■■■■■ 部分（マスキング）は NDB データ利用上の制約により、表記上「0」であるが、「10 未満」を意味する。

表の読み方

患者住所地（左）を固定して、各医療機関所在地（右方向）を見ると、患者住所地（左）からの患者流出がわかる。

医療機関所在地（上）を固定して、各患者住所地（下方向）を見ると、医療機関所在地（上）への患者流入がわかる。

### 3. NDB データ、DPC 公開データに基づく医療需要、医療提供体制等の見える化

#### ○図 3-1～3-7 疾病別アクセスマップと人口カバー率

出典：データブック Disk2 厚生労働省

tableau public 公開資料 (<https://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)

石川ベンジャミン光一（国立がんセンター）作成

以下の条件に基づいて算出した各基準地域から最寄りの施設までの運転時間およびその運転時間別の人口カバー率を図示している。なお、図を一部改変し、人口カバー率の全国値も掲載している。

条件：

- ①基準地域は、総務省の定めた「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」における第3次地域区画（約1km四方の区画）とし、各基準地域の中心点をそれぞれの基準点としている。
- ②運転時間は、有料道路等を使用せずに最も時間が短くなる経路を道路種別に応じた運転速度で移動した時間（各交差点は通過時間6秒として加算）として算出している。
- ③「DPC 導入の影響評価に関する調査」に基づく年間10症例以上扱っている施設を各傷病の治療施設と定義している。

ここでは、緊急性の高い疾患、つまり、救急搬送により迅速に医療につなげる必要のある疾患として、「脳梗塞」、「脳出血」、「くも膜下出血、破裂脳動脈瘤」、「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞」および「狭心症、慢性虚血性心疾患」を示し、また、地域差なく診療を行える必要がある疾患として、「肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎」および「股関節大腿近位骨折」を示している。

#### ○図 4-1～4-8 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計

出典：tableau public 公開資料 (<https://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)

石川ベンジャミン光一（国立がんセンター）作成

人口推計値は、国立社会保障・人口問題研究所による『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）（市区町村編）』に示された「男女・5歳年齢階級別の推計結果」を使用し、2014年時点の市区町村・2次医療圏に基づいて再集計したものを折れ線グラフにより図示している。

外来・入院患者数推計値は、2011(平成23)年患者調査に示された全国の性・年齢階級別外来受療率および入院受療率を使用し、各地域の人口推計に乗じることで算出したものを図示している。

なお、本資料は tableau public にて「地域別人口・外来患者数推計/簡易版」および「地域別人口・入院患者数推計/簡易版」を各二次医療圏で1枚の図になるように加工したものである。

#### ○表 9-1～9-8-2 NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数

出典：データブック Disk1 厚生労働省

NDB データにおいて、二次救急（全年齢、0～14歳、15～64歳、65～74歳、75歳以上）、急性心筋梗塞（主傷病）、精神科治療に関連したレセプト項目条件を満たす年間入院件数を算出し、各二次医療圏間の流出（または流入）の実数および各圏域内での割合を図示している。下表は各二次医療圏間の流出（または流入）の実数を示している。なお、年間10件未満の実数についてはNDB データ利用における制約により表示していない。

精神科治療による入院件数については、2013年値(表9-8-1)を基に、2025年推計値を算出した(表9-8-2)。算出方法については後述の通りである。

図 3-1. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（脳梗塞）

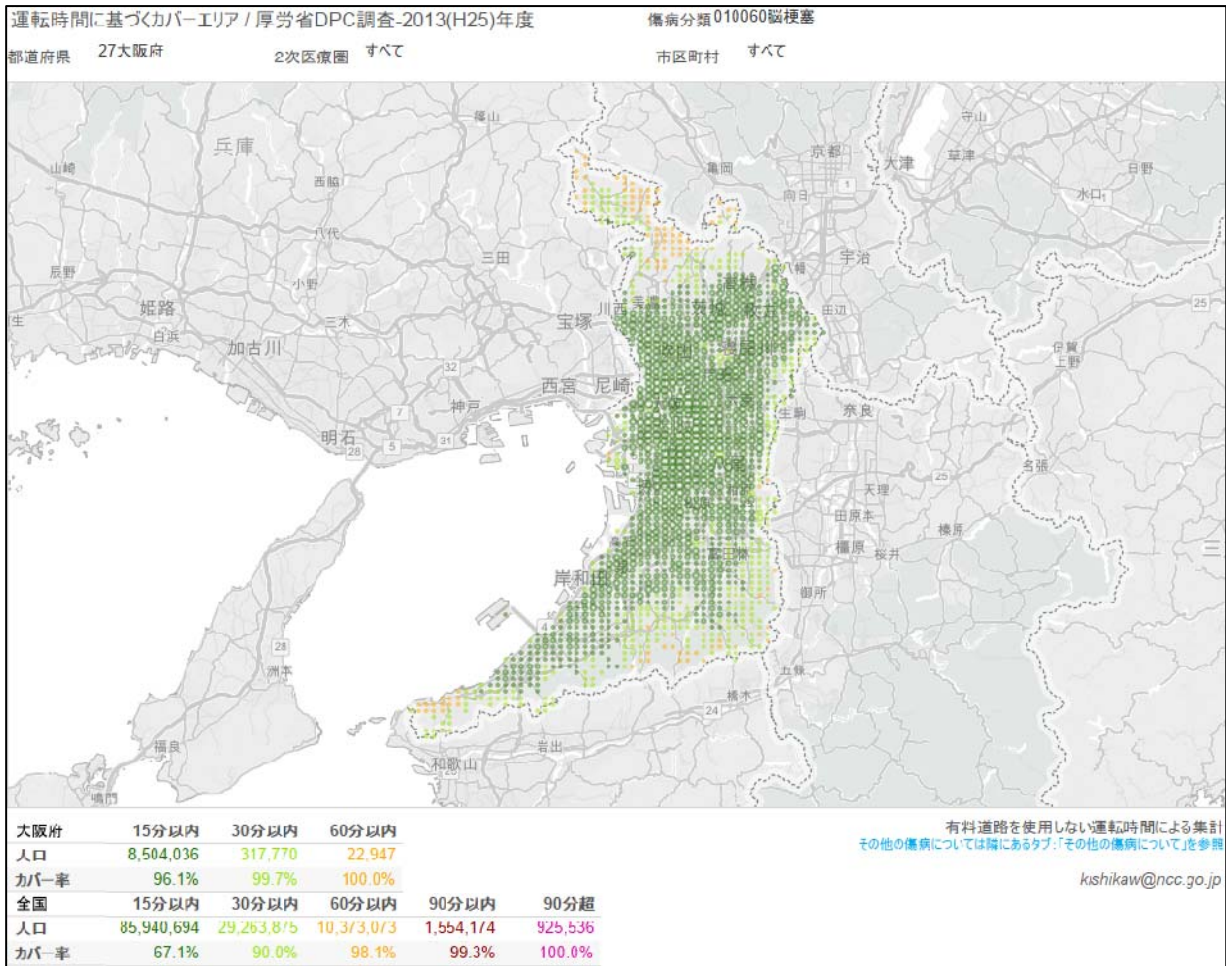


図 3-2. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（脳出血）

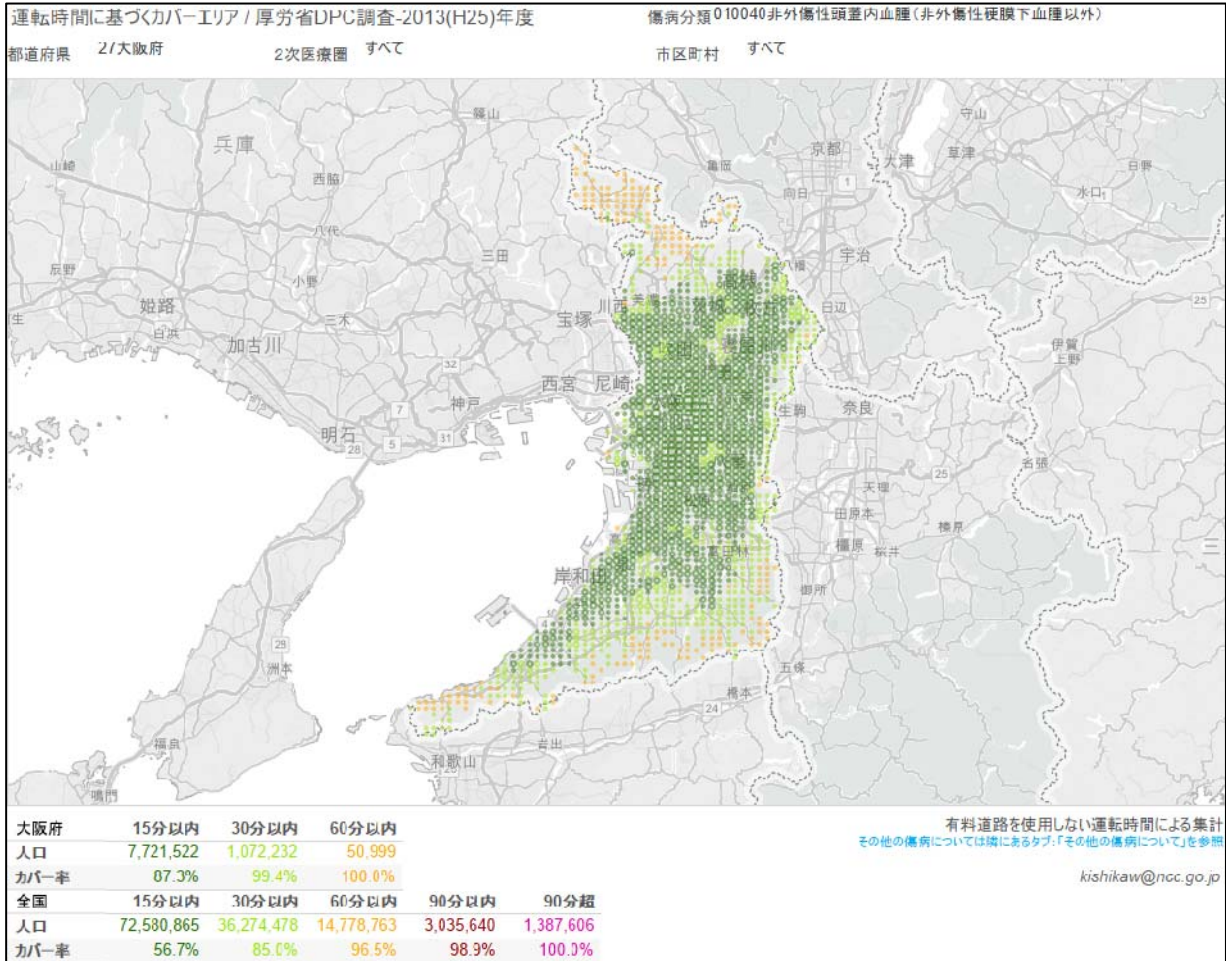


図 3-3. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（くも膜下出血、破裂脳動脈瘤）

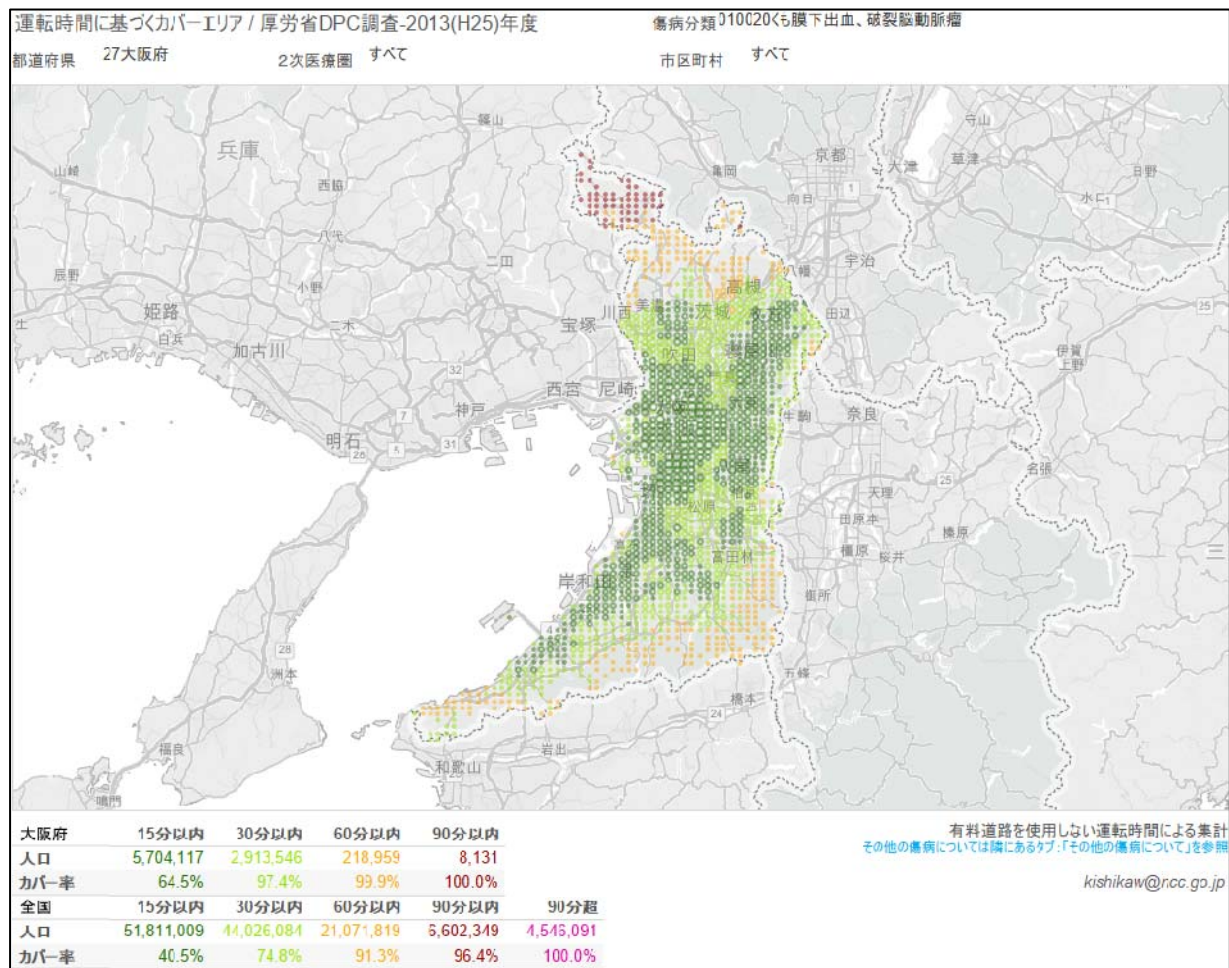


図 3-4. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞）

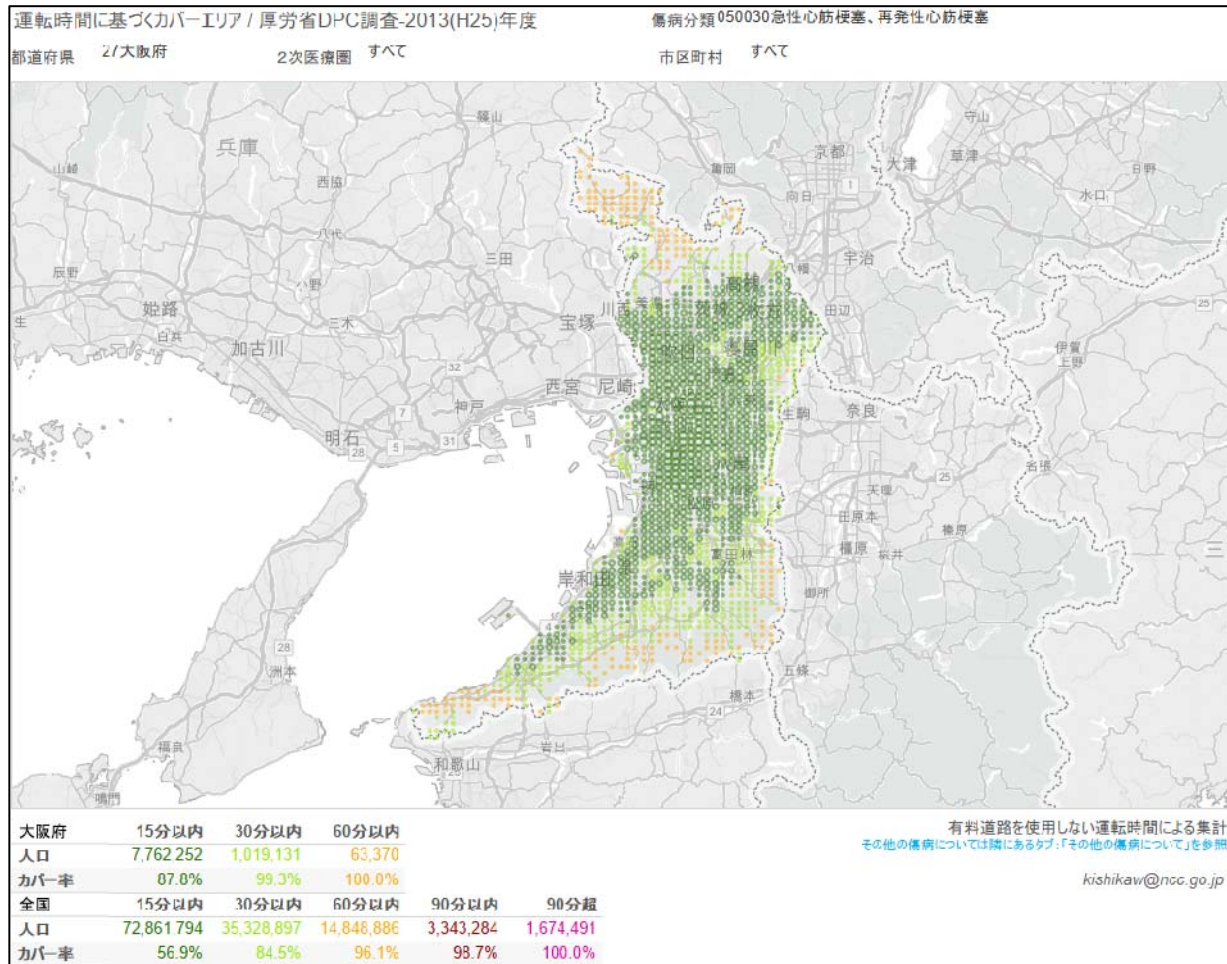


図 3-5. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（狭心症、慢性虚血性心疾患）

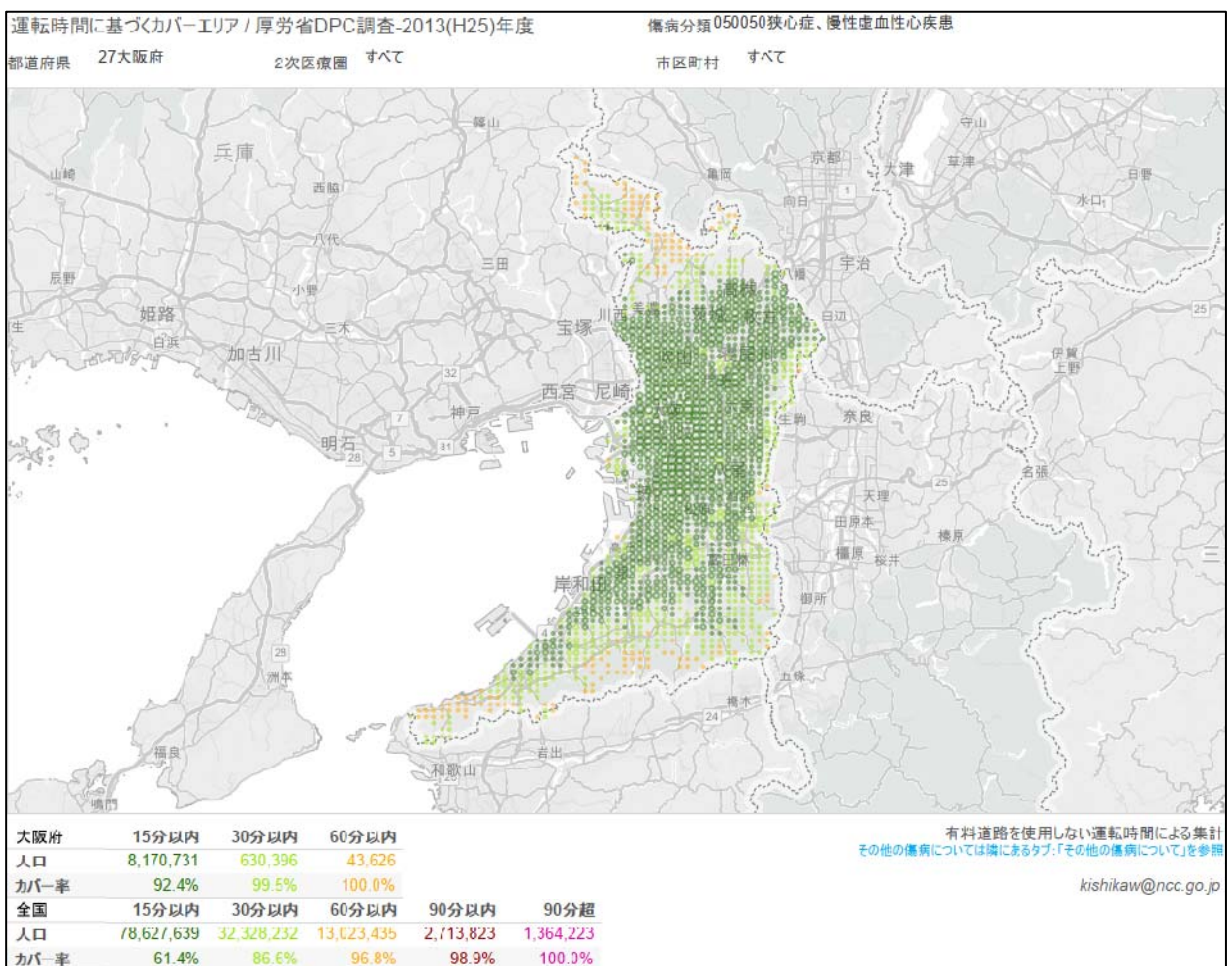


図 3-6. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）

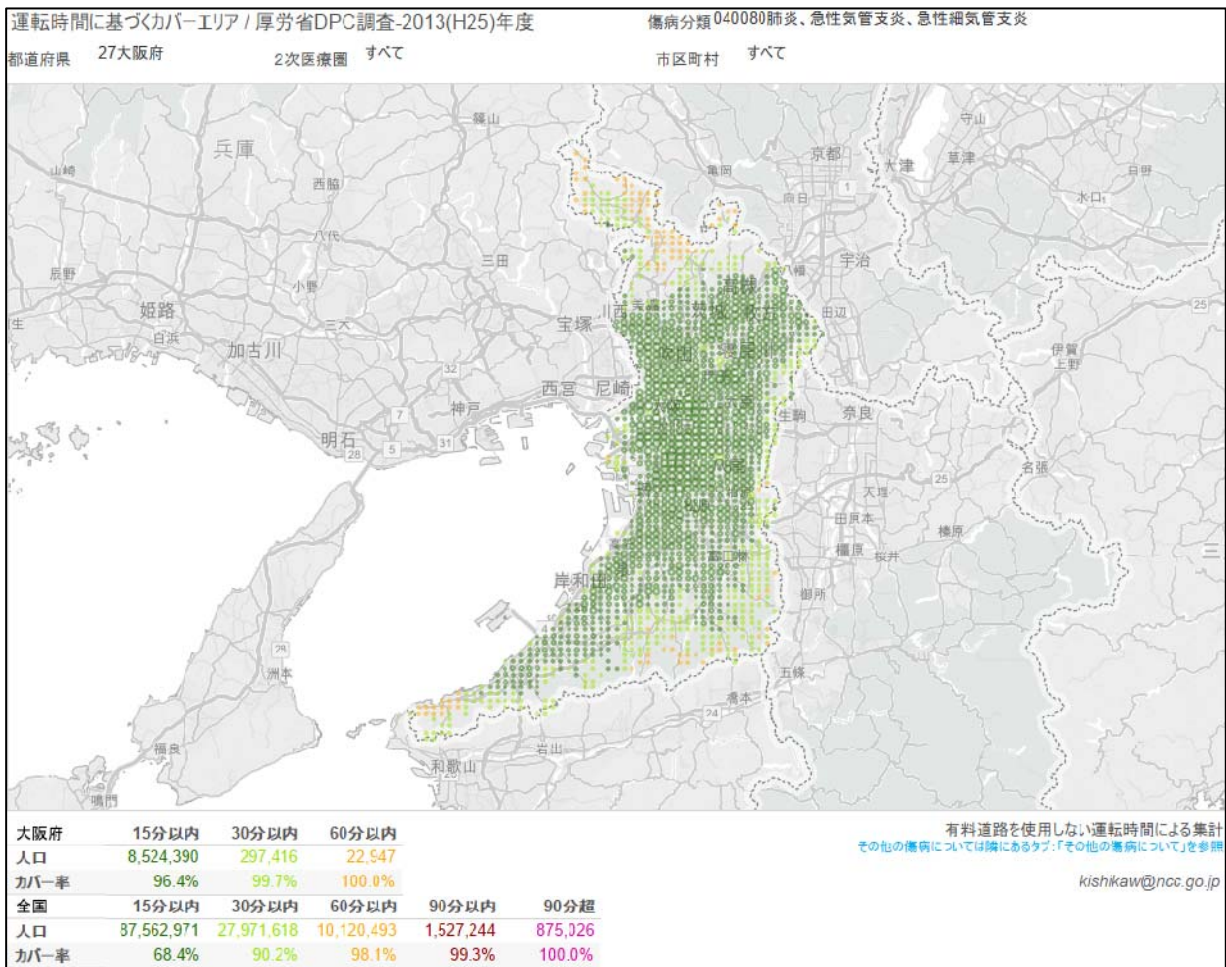


図 3-7. 疾病別アクセスマップと人口カバー率（股関節大腿近位骨折）

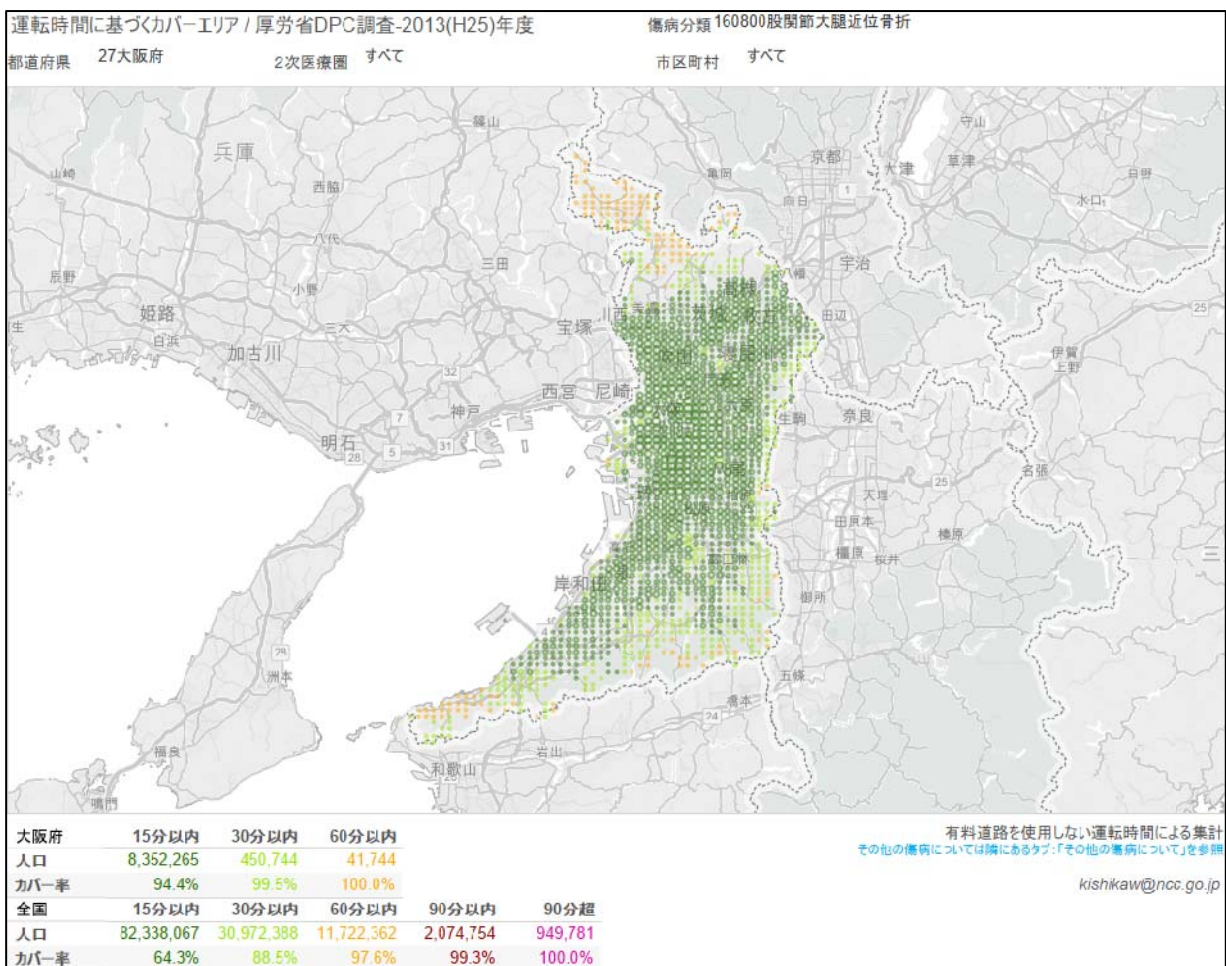


図 4-1. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（豊能）

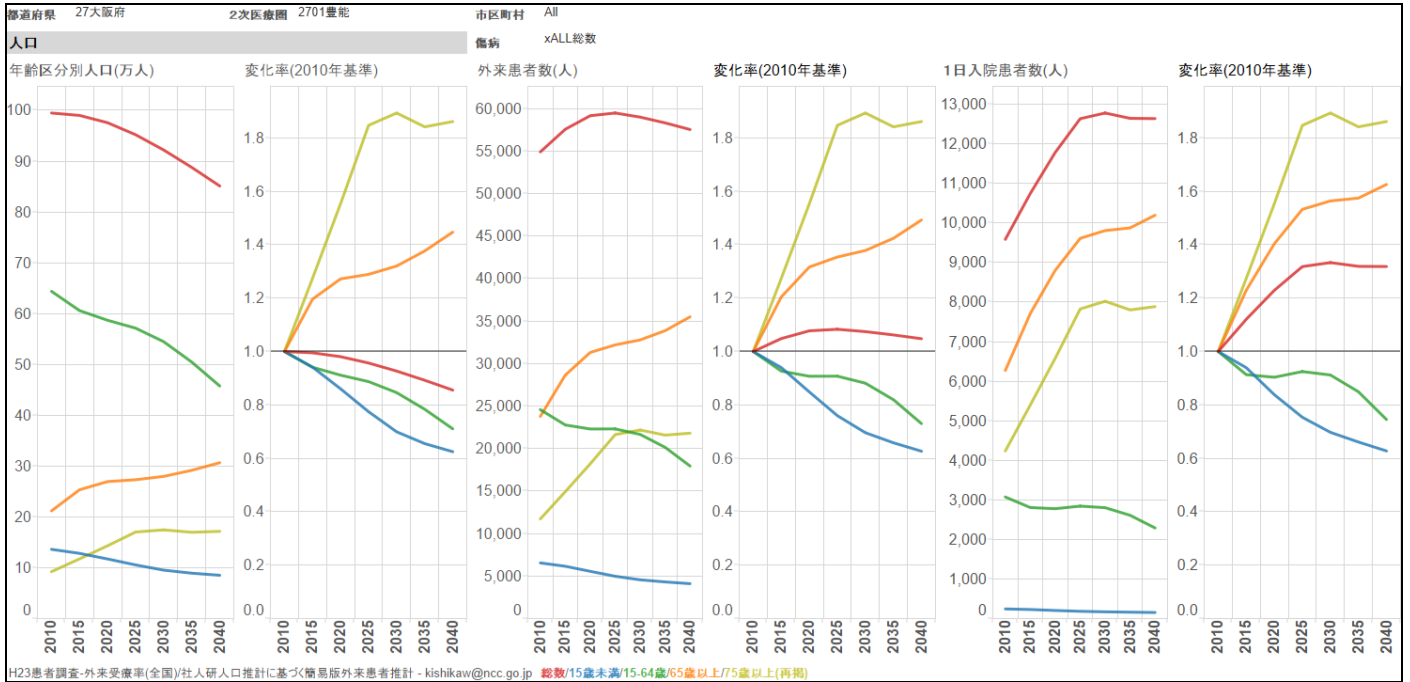


図 4-2. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（三島）

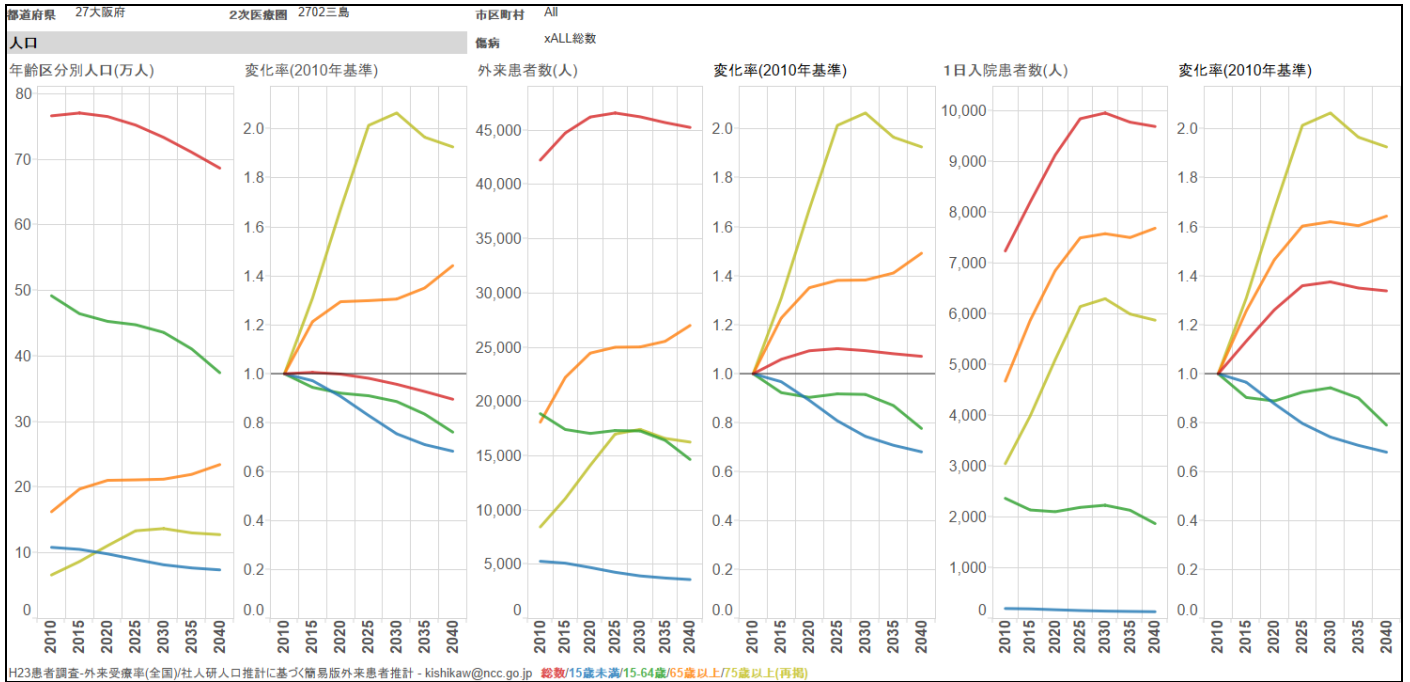




図 4-3. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（北河内）

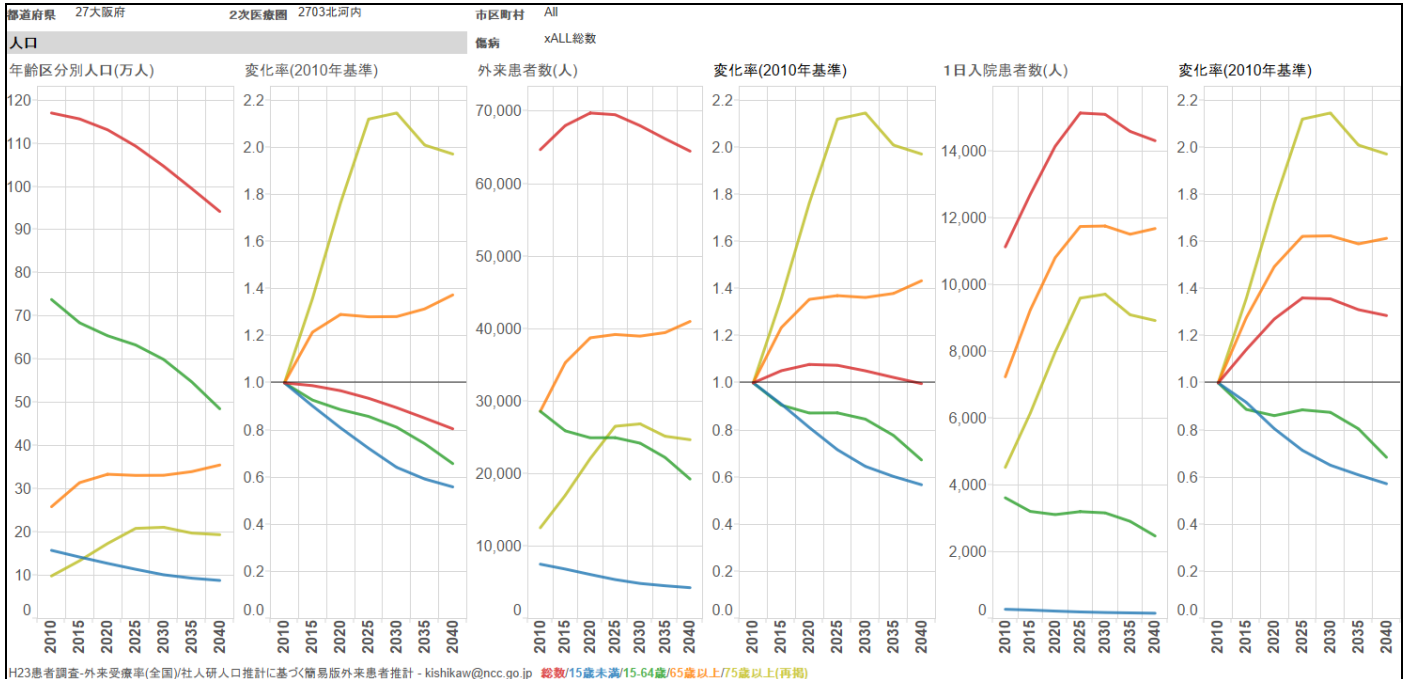


図 4-4. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（中河内）

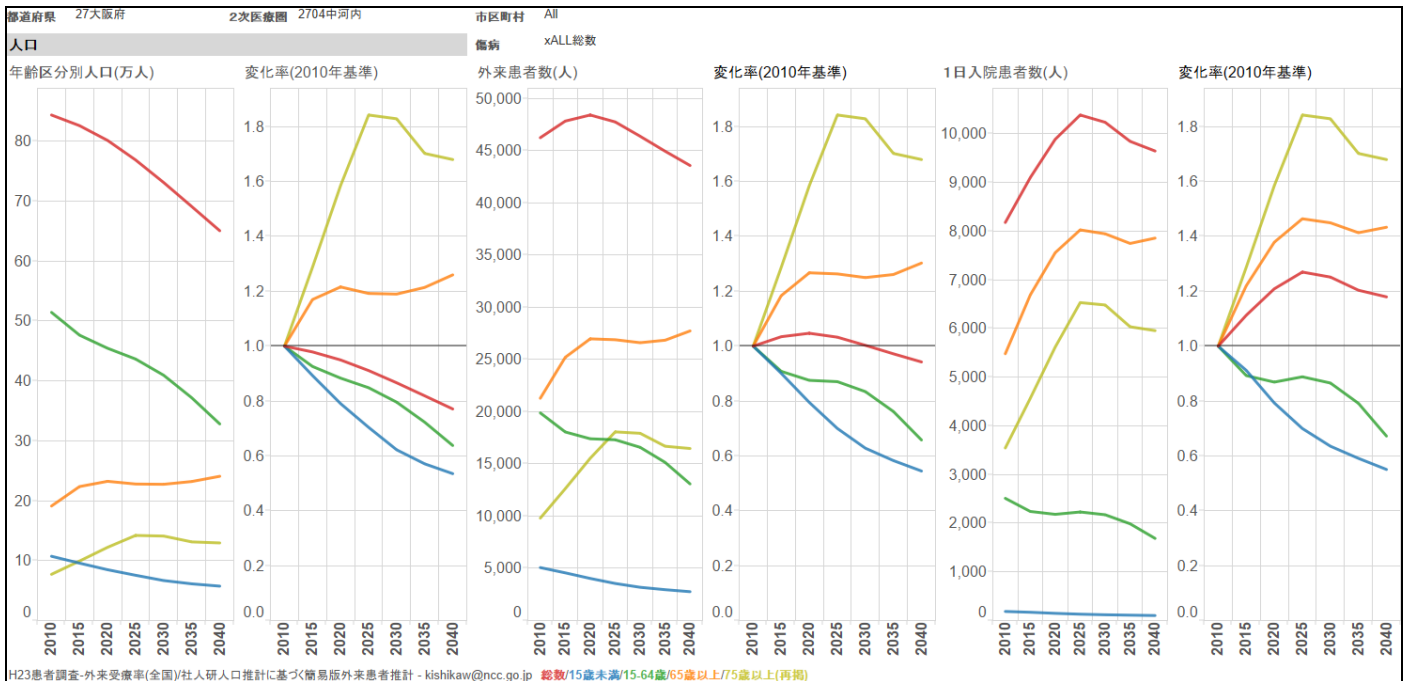


図 4-5. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（南河内）

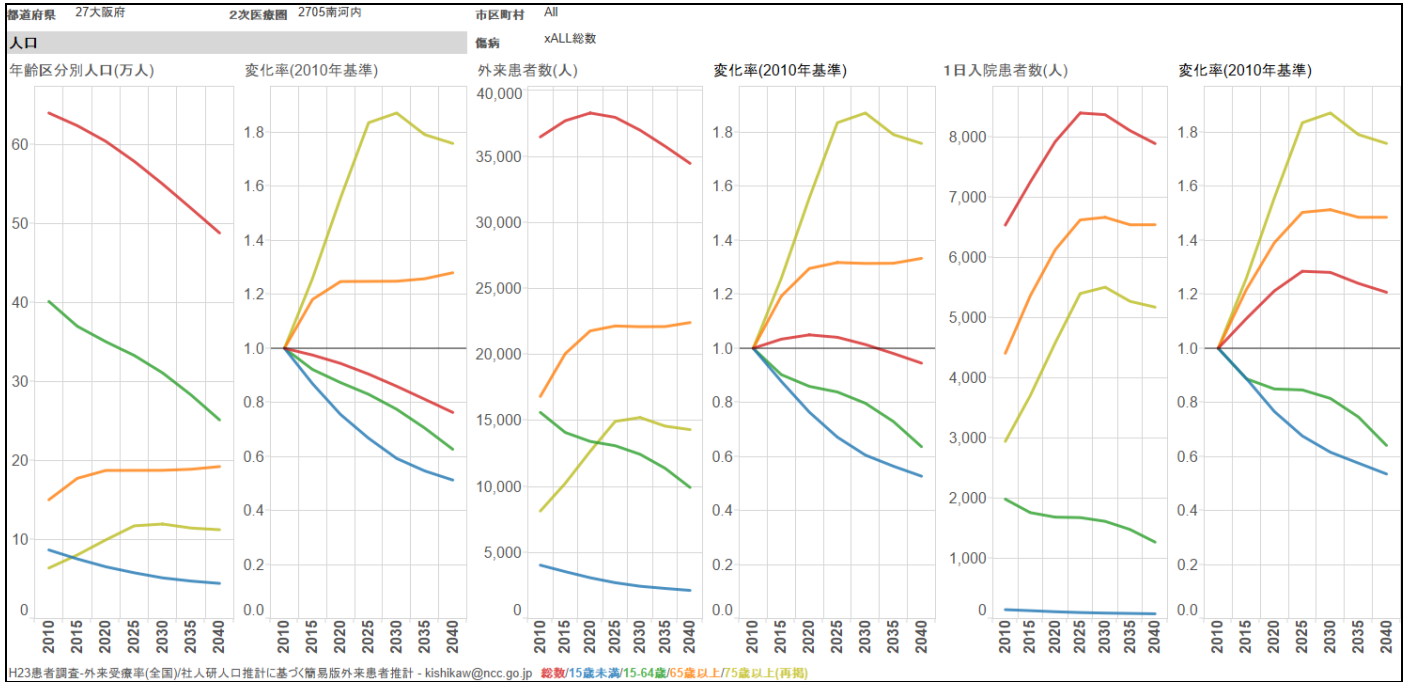


図 4-6. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（堺市）

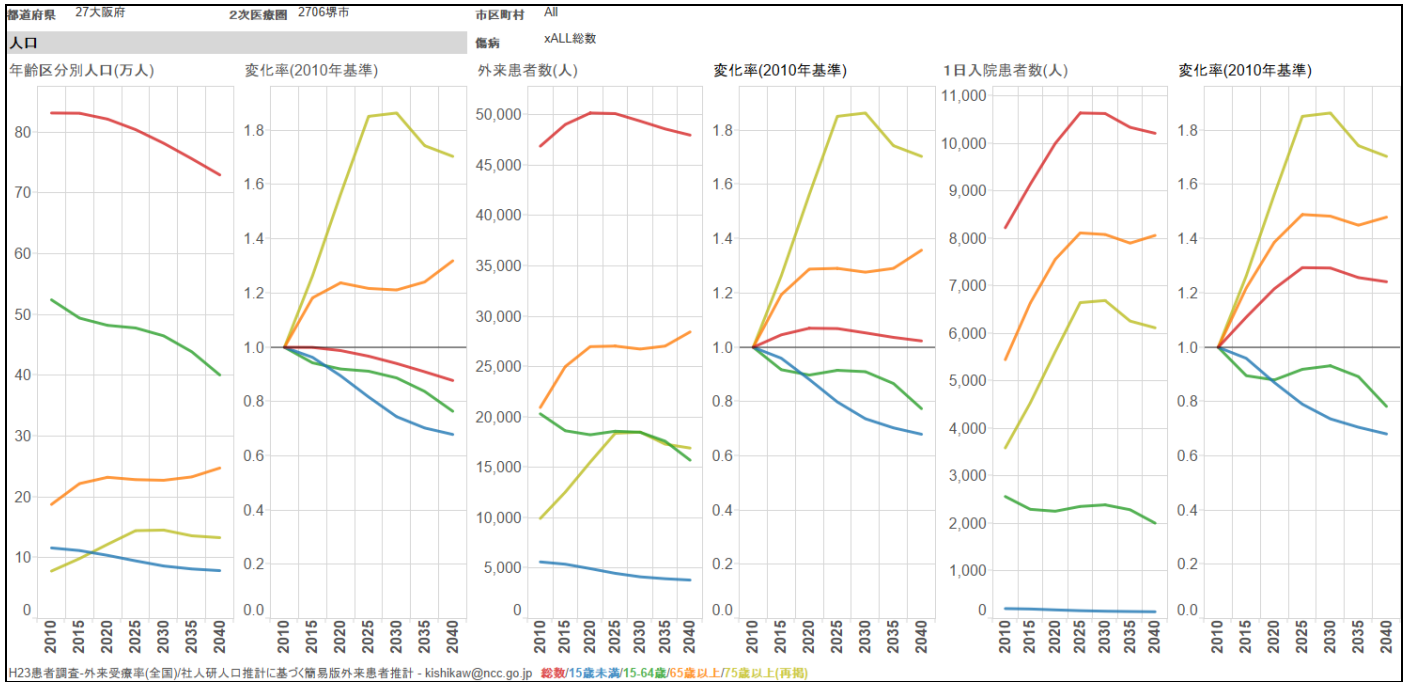


図 4-7. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（泉州）

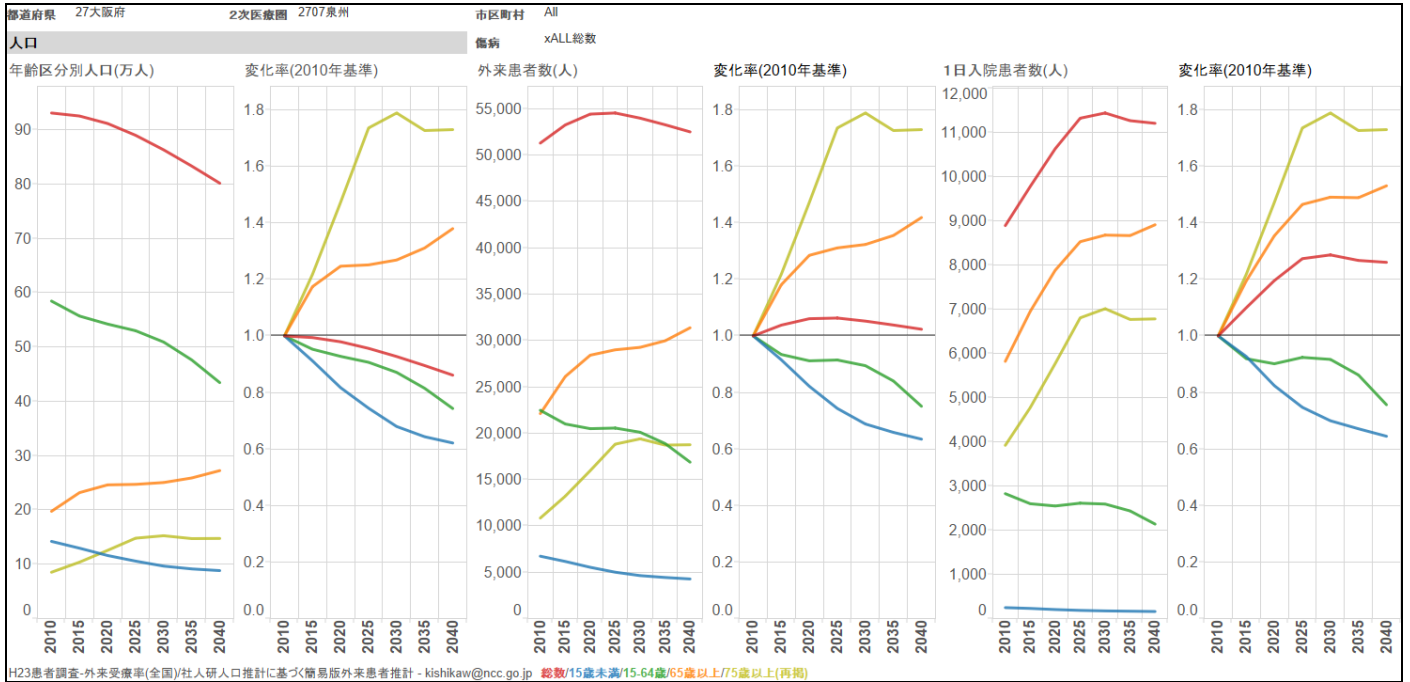


図 4-8. 将来推計人口および患者調査に基づく医療需要推計（大阪市）

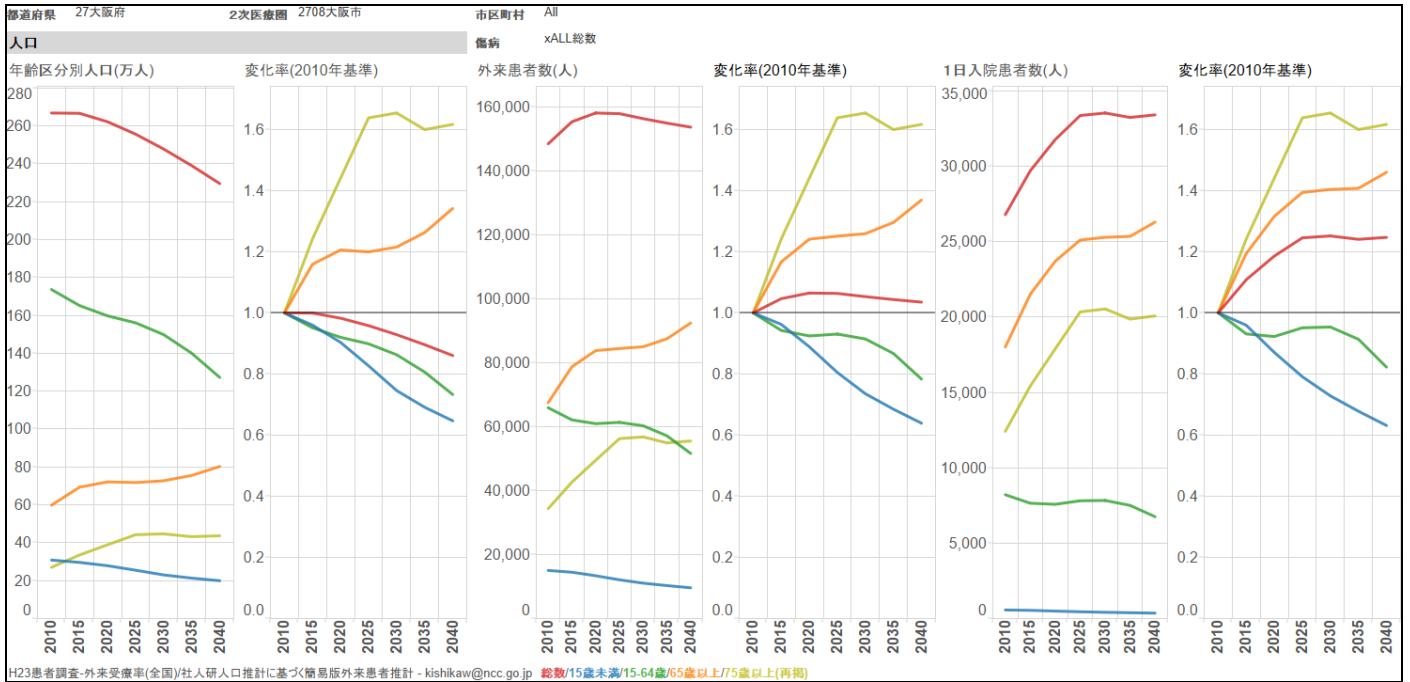


表 9-1. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（二次救急、全年齢、流出）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名												総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県	
2701 豊能	14,822	380	82	28	19	27		2,678	51	1,012	23		19,122
2702 三島	1,194	12,131	239	14	11	14		667	118	83	15	10	14,496
2703 北河内	160	226	16,903	267	24	35	27	1,622	513	92	180		20,049
2704 中河内	70	29	511	11,118	347	51	42	3,040	22	64	132		15,426
2705 南河内	23	11	21	618	8,887	927	84	590	12	53	62	24	11,312
2706 堺市	36	14	21	33	1,529	16,416	554	658	13	81	22	12	19,389
2707 泉州	34		13	11	280	1,219	14,357	327	13	30	25	503	16,812
2708 大阪市	914	127	920	1,482	573	643	148	51,428	97	580	197	37	57,146
総計	17,253	12,918	18,710	13,571	11,670	19,332	15,212	61,010	839	1,995	656	586	173,752

表 9-2. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（二次救急、全年齢、流入）

医療機関 二次医療圏名	負担者二次医療圏名														総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG25 滋賀県	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県		
2701 豊能	14,822	1,194	160	70	23	36	34	914	13	50	1,156	53	22	18,547	
2702 三島	380	12,131	226	29	11	14		127	13	158	99	23	12	13,223	
2703 北河内	82	239	16,903	511	21	21	13	920	22	459	73	78	17	19,359	
2704 中河内	28	14	267	11,118	618	33	11	1,482		14	38	124		13,747	
2705 南河内	19	11	24	347	8,887	1,529	280	573		11	43	71	131	11,926	
2706 堺市	27	14	35	51	927	16,416	1,219	643		22	68	43	54	19,519	
2707 泉州			27	42	84	554	14,357	148			42	11	83	15,348	
2708 大阪市	2,678	667	1,622	3,040	590	658	327	51,428	35	173	1,156	518	72	62,964	
総計	18,036	14,270	19,264	15,208	11,161	19,261	16,241	56,235	83	887	2,675	921	391	174,633	

表 9-3. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（二次救急、0～14 歳、流出）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名								総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	
2701 豊能	39							12	51
2702 三島		37							37
2703 北河内			38						38
2704 中河内				15					15
2705 南河内					26				26
2706 堺市						98			98
2707 泉州							194		194
2708 大阪市								344	344
総計	39	37	38	15	26	98	194	356	803

表 9-4. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（二次救急、15～64 歳、流出）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名												総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県	
2701 豊能	1,654	44	19					402		97			2,216
2702 三島	199	1,278	40					113	28	13			1,671
2703 北河内	48	50	2,169	52	12	18	15	308	81	21	14		2,788
2704 中河内	20		68	1,321	57		12	513		14	21		2,026
2705 南河内				78	953	143	20	129		14	16		1,353
2706 堺市					234	1,977	98	117		21	10		2,457
2707 泉州	11				68	209	1,949	86			10	78	2,411
2708 大阪市	175	31	174	182	92	125	61	6,922	37	140	32		7,971
総計	2,107	1,403	2,470	1,633	1,416	2,472	2,155	8,590	146	320	103	78	22,893

表 9-5. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（二次救急、65～74 歳、流出）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名												総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県	
2701 豊能	3,185	70	10					623		186			4,074
2702 三島	321	2,506	52					174	33	16			3,102
2703 北河内	46	55	4,124	59				432	110	22	45		4,893
2704 中河内	20		101	2,400	93	16	10	765		11	32		3,448
2705 南河内				133	1,915	163	19	171			10		2,411
2706 堺市					403	3,758	102	150		11			4,424
2707 泉州					96	323	2,960	83				147	3,609
2708 大阪市	180	20	194	292	118	110	32	9,786	11	93	22		10,858
総計	3,752	2,651	4,481	2,884	2,625	4,370	3,123	12,184	154	339	109	147	36,819

表 9-6. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（二次救急、75 歳以上、流出）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名												総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県	
2701 豊能	9,944	265	52	13		19		1,641	38	727	17		12,716
2702 三島	673	8,310	146					377	57	53	10		9,626
2703 北河内	66	116	10,572	152		12	10	874	320	49	121		12,292
2704 中河内	30	14	342	7,382	196	26	20	1,755	11	37	79		9,892
2705 南河内	16		14	405	5,993	618	45	289		31	36	15	7,462
2706 堺市	31		10	16	887	10,583	353	391		48			12,319
2707 泉州	16				116	685	9,254	154		18	12	277	10,532
2708 大阪市	559	75	551	1,008	362	403	53	34,376	47	343	143	23	37,943
総計	11,335	8,780	11,687	8,976	7,554	12,346	9,735	39,857	473	1,306	418	315	112,782

表 9-7. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（急性心筋梗塞（主傷病）、全年齢、流出）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名									総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG28 兵庫県	
2701 豊能	476	41						87	46	650
2702 三島	55	408	28					15		506
2703 北河内	16		693	23				35		767
2704 中河内			38	347	25			116		526
2705 南河内				14	292	31		27		364
2706 堺市		12			42	526		23		603
2707 泉州						27	742	12		781
2708 大阪市	18	24	37	25	30	18	70	1,716	18	1,956
総計	565	485	796	409	389	602	812	2,031	64	6,153

表 9-8-1. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（精神科治療、全年齢、流出、2013 年）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名												総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県	
2701 豊能	1,632	469	52	101	18	91	129	16	14	101	45		2,668
2702 三島	102	2,199	83		41	39	48		47	31	34		2,624
2703 北河内	101	343	1,636	177	85	44	374	10	17	85	23		2,895
2704 中河内	17	64	96	1,650	217	67	276			28	37		2,452
2705 南河内	12	24		129	1,311	216	249			24	21		1,986
2706 堺市	24	32	13	11	613	1,726	534			24			2,977
2707 泉州	15	28	15	20	122	207	4,396					37	4,840
2708 大阪市	790	794	422	871	920	1,055	1,861	419		77	106	20	7,335
総計	2,693	3,953	2,317	2,959	3,327	3,445	7,867	445	78	370	266	57	27,777

○2025 年における精神疾患入院件数の推計（表 9-8-2）

表 9-8-1、2013 年人口および 2025 年推計人口を用いて、以下の推計計算式により 2025 年における精神疾患入院件数を推計した、

推計計算式

$$\begin{aligned}
 & \text{各患者住所地の精神疾患入院件数（2013）} \\
 & \times \text{ 2025 年推計人口} / \text{ 2013 年人口} \\
 & \times \text{ 各患者住所地から各医療機関所在地への精神疾患入院件数（2013）} \\
 & / \text{ 各患者住所地の精神疾患入院件数（2013）}
 \end{aligned}$$

表 9-8-2. NDB データに基づく疾病別等の年間入院件数（精神科治療、全年齢、流出、2025 年）

負担者 二次医療圏名	医療機関二次医療圏名												総計
	2701 豊能	2702 三島	2703 北河内	2704 中河内	2705 南河内	2706 堺市	2707 泉州	2708 大阪市	KG26 京都府	KG28 兵庫県	KG29 奈良県	KG30 和歌山県	
2701 豊能	1,763	482	54	118	10	108	125	0	10	104	48	0	2,821
2702 三島	99	2,290	82	0	27	49	54	0	40	27	39	0	2,707
2703 北河内	82	339	1,697	162	85	34	346	0	0	84	20	0	2,849
2704 中河内	22	49	110	1,603	222	52	216	0	0	24	25	0	2,325
2705 南河内	10	20	0	102	1,329	186	230	0	0	30	9	0	1,915
2706 堺市	20	30	8	10	578	1,758	507	0	0	19	0	0	2,930
2707 泉州	10	33	14	18	117	211	4,540	0	0	0	0	32	4,974
2708 大阪市	785	787	416	839	908	1,008	1,868	430	0	56	102	18	7,217
総計	2,791	4,029	2,380	2,853	3,275	3,406	7,886	430	50	344	243	50	27,737

## 4. NDB データの独自分析結果

出典；NDB データ 厚生労働省保険局 （分析：大阪がん循環器病予防センター）

### ○図 5-1～5-9 疾病・事業別の入院患者の流出入イメージ

2025 年における医療機能別（高度急性期～回復期相当、慢性期相当）、主傷病別（がん、脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病）、周産期医療（傷病大分類 15、16 群）および小児医療（0～14 歳における全疾病）の一日当たり入院件数を NDB データにより推計し、各患者住所地から二次医療圏および市町村への流出の割合を濃淡図により図示した。

NDB データ利用の制約上、二次医療圏単位で 10 未満、市町村単位で 100 未満についてはマスキングの必要があり、多くの数値を表記できないことへの対応として、濃淡図による表示のみに限定している。

注：濃淡図の濃淡は均等な割合とはなっていない。

また、横方向の相対値を図示したものであり、横方向の合計が 100%となる。絶対値を図示したものではないため、縦方向での比較はできない。

図 5-1. 疾病・事業別の入院患者の流出入イメージ（圏域別）

NDBデータ利用（がん、脳卒中・虚血性心疾患（急性心筋梗塞）、糖尿病、周産期、小児）



がん入院	医療機関所在地											豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀																																												東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
患者住所地	豊能																																																						三島																																																							北河内																																																							中河内																																																							南河内																																																							堺市																																																							泉州																																																							大阪市																																																					
	三島																																																							北河内																																																							中河内																																																							南河内																																																							堺市																																																							泉州																																																							大阪市																																																																																																											
	北河内																																																							中河内																																																							南河内																																																							堺市																																																							泉州																																																							大阪市																																																																																																																																																																		
	中河内																																																							南河内																																																							堺市																																																							泉州																																																							大阪市																																																																																																																																																																																																																									
	南河内																																																							堺市																																																							泉州																																																							大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																
	堺市																																																							泉州																																																							大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	泉州																																																							大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

脳卒中入院	医療機関所在地											豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀																																												東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
患者住所地	豊能																																																									三島																																																										北河内																																																										中河内																																																									南河内																																																									堺市																																																									泉州																																																									大阪市																																																							
	三島																																																										北河内																																																										中河内																																																									南河内																																																									堺市																																																									泉州																																																									大阪市																																																																																																																
	北河内																																																										中河内																																																									南河内																																																									堺市																																																									泉州																																																									大阪市																																																																																																																																																																										
	中河内																																																									南河内																																																									堺市																																																									泉州																																																									大阪市																																																																																																																																																																																																																																				
	南河内																																																									堺市																																																									泉州																																																									大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	堺市																																																									泉州																																																									大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	泉州																																																									大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

虚血性心疾患入院	医療機関所在地											豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀																																												東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
患者住所地	豊能																																																											三島																																																												北河内																																																											中河内																																																											南河内																																																										堺市																																																										泉州																																																										大阪市																																																								
	三島																																																												北河内																																																											中河内																																																											南河内																																																										堺市																																																										泉州																																																										大阪市																																																																																																																			
	北河内																																																											中河内																																																											南河内																																																										堺市																																																										泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																															
	中河内																																																											南河内																																																										堺市																																																										泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																										
	南河内																																																										堺市																																																										泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	堺市																																																										泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

糖尿病入院	医療機関所在地											豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀																																												東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
患者住所地	豊能																																																											三島																																																												北河内																																																												中河内																																																												南河内																																																											堺市																																																											泉州																																																										大阪市																																																								
	三島																																																												北河内																																																												中河内																																																												南河内																																																											堺市																																																											泉州																																																										大阪市																																																																																																																			
	北河内																																																												中河内																																																												南河内																																																											堺市																																																											泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																															
	中河内																																																												南河内																																																											堺市																																																											泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																											
	南河内																																																											堺市																																																											泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	堺市																																																											泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	泉州																																																										大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	大阪市																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

周産期入院	医療機関所在地											豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀	東近江	湖東	湖北	湖西	丹後	中丹	南丹	京都・之類	山城北	山城南	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	奈良	東和	西和	中和	南和	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	大津	湖南	甲賀																																											





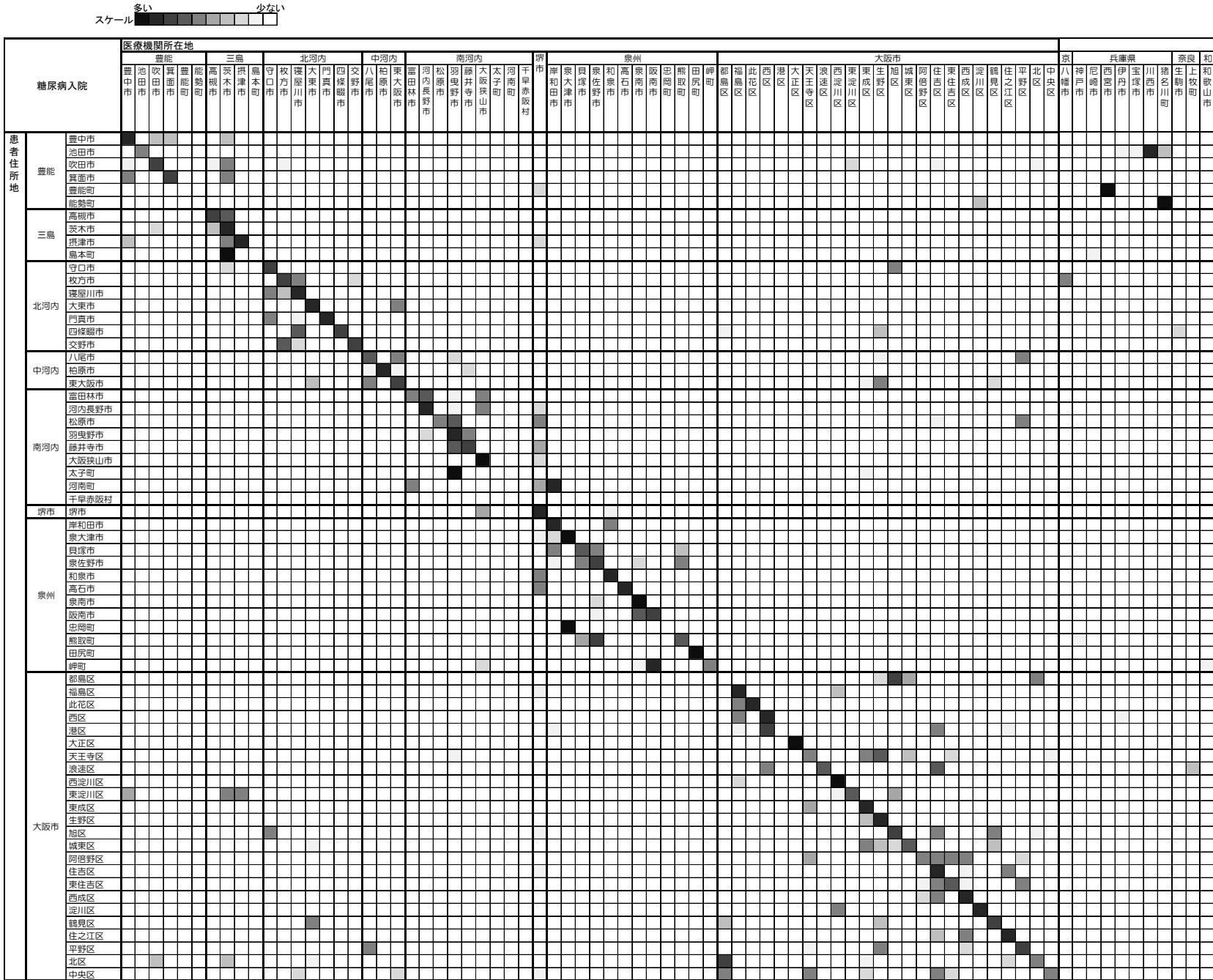








図 5-7. 疾病・事業別の入院患者の流出入イメージ (糖尿病、市区町村別)









# 二次医療圏別人口データ

2次医療圏	人口総数						うち65歳以上人口						うち75歳以上人口					
	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		2040年(平成52年)		2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		2040年(平成52年)		2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		2040年(平成52年)	
	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)	人口 (単位:人)	(対2013年)
豊能	1,023,866	100%	968,191	94.6%	864,684	84.5%	232,019	100%	277,862	119.8%	311,437	134.2%	105,567	100%	172,959	163.8%	174,113	164.9%
三島	748,006	100%	730,980	97.7%	666,959	89.2%	171,820	100%	207,374	120.7%	229,935	133.8%	73,282	100%	131,051	178.8%	125,155	170.8%
北河内	1,185,387	100%	1,108,862	93.5%	955,657	80.6%	282,028	100%	341,621	121.1%	366,599	130.0%	115,325	100%	215,325	186.7%	201,001	174.3%
中河内	844,962	100%	779,398	92.2%	659,383	78.0%	206,837	100%	240,073	116.1%	253,555	122.6%	89,789	100%	149,768	166.8%	136,543	152.1%
南河内	631,512	100%	574,652	91.0%	484,010	76.6%	160,217	100%	185,578	115.8%	189,832	118.5%	70,781	100%	115,745	163.5%	110,596	156.3%
堺市	849,348	100%	814,289	95.9%	738,923	87.0%	204,140	100%	231,357	113.3%	250,924	122.9%	88,727	100%	146,298	164.9%	134,768	151.9%
泉州	927,150	100%	880,500	95.0%	792,196	85.4%	209,003	100%	247,064	118.2%	272,061	130.2%	93,517	100%	148,297	158.6%	147,533	157.8%
大阪市	2,663,467	100%	2,553,167	95.9%	2,291,714	86.0%	623,805	100%	726,306	116.4%	810,394	129.9%	298,947	100%	448,358	150.0%	442,134	147.9%
大阪府	8,873,698	100%	8,410,039	94.8%	7,453,526	84.0%	2,089,869	100%	2,457,235	117.6%	2,684,737	128.5%	935,935	100%	1,527,801	163.2%	1,471,843	157.3%

174

参考資料: 基礎データ 1

(出典) 2013年人口: 総務省「平成25年3月31日住民基本台帳年齢別人口」、2025年・2040年人口: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年(2013年)3月中位推計)」

二次医療圏別(市町村別)医療機関数・病床数等

参考資料:基礎データ 2

【平成 27 年 6 月 30 日現在】

二次医療圏	市町村	病院数			有床 診療所数	基準 病床数 (床)	既存 病床数 (床)	有床 診療所 病床数 (床)
			公的	民間				
豊能	箕面市	10	1	9	2	7,456	8,989	249
	池田市	3	1	2	1			
	豊中市	20	2	18	15			
	吹田市	15	7	8	3			
	能勢町	0	0	0	0			
	豊能町	0	0	0	1			
小計		48	11	37	22			
三島	摂津市	4	0	4	3	5,554	6,431	264
	茨木市	15	1	14	8			
	高槻市	19	1	18	10			
	島本町	1	0	1	2			
小計		39	2	37	23			
北河内	守口市	7	0	7	6	9,390	10,021	490
	門真市	5	0	5	8			
	寝屋川市	14	0	14	7			
	枚方市	25	3	22	15			
	交野市	2	0	2	3			
	四條畷市	3	0	3	1			
	大東市	5	0	5	4			
小計		61	3	58	44			
中河内	東大阪市	23	2	21	10	5,799	5,708	208
	八尾市	12	1	11	14			
	柏原市	4	1	3	1			
小計		39	4	35	25			
南河内	羽曳野市	7	1	6	0	5,174	6,641	150
	藤井寺市	3	1	2	2			
	松原市	7	0	7	4			
	大阪狭山市	7	0	7	1			
	富田林市	7	1	6	3			
	河内長野市	8	1	7	2			
	太子町	0	0	0	0			
	河南町	0	0	0	0			
	千早赤阪村	0	0	0	0			
小計		39	4	35	12			
堺市	堺市	45	5	40	28	8,039	9,465	216
泉州	高石市	5	0	5	2	8,385	8,641	295
	和泉市	14	2	12	5			
	泉大津市	4	1	3	1			
	忠岡町	1	0	1	2			
	岸和田市	17	1	16	2			
	貝塚市	9	1	8	4			
	熊取町	2	0	2	1			
	泉佐野市	12	1	11	3			
	田尻町	1	0	1	0			
	泉南市	7	1	6	2			
	阪南市	3	1	2	5			
	岬町	1	0	1	0			
小計		76	8	68	27			
大阪市	大阪市	184	13	171	86	17,476	32,290	774
合計		531	50	481	267	67,273	88,186	2,646